

貧困プロフィール タジキスタン 報告書

平成 26 年 3 月
(2014)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社

基盤
JR
14-007

貧困プロフィール

タジキスタン

2013 年度版

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社

当資料は、JICA が三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社に委託し、政府・国際機関の報告書・統計・資料からの抜粋を邦訳し、執務参考資料として取り纏めたものであり、JICA の見解を示すものではありません。転載・引用に際しては、直接、出典元から行い、当資料からの転載・引用は行わないでください。

目次

I. 貧困状況の概観	1
II. 貧困削減のための政策枠組み	2
1. 貧困削減戦略・目標と現状	2
2. 政府による指定貧困地域・集団	8
III. 所得貧困による分析	11
1. 貧困ラインとデータ	11
2. 貧困状況・貧困率・貧困ギャップ率・ジニ分析	12
IV. 所得貧困以外による分析	15
1. 人間開発指数のトレンド、地域・国際比較	15
2. MDGs の達成状況（現状と目標値の比較）	19
3. 食糧安全保障・脆弱性による分析	34
V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析	39
1. 社会的排除グループの存在と貧困指標の関係性	39
2. その他の要因と貧困との関連	47
VI. 貧困に影響を与えている短期的・長期的要因・リスク等	48
1. 短期的・長期的要因、リスクとショック（経済、社会、環境、紛争等）	48
VII. 重点支援分野と貧困の関わり	50
1. 地方開発	50
添付 2. 主要な情報源リスト	70
JICA 研究所	70

図表・地図目次

図表 1 タジキスタン主要指標一覧（2001-2011 年）	v
図表 2 タジキスタンの歳入・歳出、ODA 実績等	vi
図表 3 貧困率・ジニ係数・貧困ギャップ率の推移（2002-2009 年）	vii
図表 4 HDI 指標（2012 年）	vii
図表 5 タジキスタンにおける HDI の推移（1980-2012 年）	viii
図表 6 MDGs 指標達成状況	ix
図表 7 GDP・GDP 成長率（2000-2012）	1
図表 8 NDS の長期的目標	2
図表 9 NDS におけるマクロ経済指標の具体的目標	3
図表 10 NDS における社会・経済指標の具体的目標（MDGs 評価）	4
図表 11 貧困率のトレンド（1999-2011）	5

図表 12	PRS2010-2012 の分野別実施状況	6
図表 13	LSIS の 3 つの軸と内容	7
図表 14	タジキスタンの五分位階級に見る富の配分（地域別）	8
図表 15	タジキスタンの五分位階層別に見る第 5 五分位の富の配分	9
図表 16	地域別水道水へのアクセス可能率	10
図表 17	貧困ライン及び貧困率（%）	11
図表 18	地域別貧困状況・貧困ライン以下の極度の貧困率	12
図表 19	絶対貧困率の推移（2003-2009 年）	13
図表 20	地域別貧困率の推移（2003, 2007, 2009）（単位：%）	13
図表 21	貧困率・ジニ係数・貧困ギャップ率の推移（2002-2009 年）（再掲）	14
図表 22	ジニ係数・人口・平均寿命の推移（2002-2011 年）	14
図表 23	タジキスタンにおける HDI の推移（1980-2012 年）	15
図表 24	2012 年の中人間開発国（medium human development）の HDI	16
図表 25	タジキスタンの HDI の各指標の推移（2012 年）	17
図表 26	タジキスタンの HDI の地域・国際比較	17
図表 27	タジキスタンの多次元貧困率と他国の比較	18
図表 28	MDGs 指標達成状況	20
図表 29	貧困削減のトレンド	21
図表 30	男女・居住地域別貧困率	21
図表 31	初等教育普及率（2007-2008 年）	22
図表 32	15-24 歳の識字率（2007）	22
図表 33	地域別の教育水準（2007）	23
図表 34	女子の教育レベル比率	24
図表 35	15 歳以上の女子の教育レベル	25
図表 36	被雇用者の教育水準	25
図表 37	5 歳未満児死亡率及び乳幼児死亡率の推移（2000-2008 年）	26
図表 38	地域別乳幼児死亡率（1,000 出生中）（1988-2007 年）	27
図表 39	妊産婦の死亡率の推移（10 万件中）	28
図表 40	HIV/AIDS と結核の罹患率の推移（10 万人中）	29
図表 41	タジキスタン国内の再生可能な燃料資源（mln.t/年）	30
図表 42	破壊された森林面積と森林保護対象地帯（1000 ヘクタール当り）	31
図表 43	塩分を含む土地の面積（千ヘクタール）	32
図表 44	対外債務の構造（USD ベース）（1995-2008）	33
図表 45	世界飢餓マップ（2013 年）	34
図表 46	タジキスタン食糧安全保障の概観（2013 年 6 月）	35
図表 47	食糧安全保障の年間カレンダー及びモニタリング結果	36

図表 48	世帯の家計消費における食糧消費の割合（2012 年上期-2013 年上期）	37
図表 49	5 主要食糧平均価格の推移（2007-2013 年）	38
図表 50	タジキスタン全土地図（再掲）	39
図表 51	地域別の絶対貧困率（2009 年）	40
図表 52	地域別に見る極度の貧困率（2009 年）	40
図表 55	世帯別平均月間消費支出額（2009 年世帯調査）（単位：TJS）	42
図表 56	世帯別月間平均食糧支出額（2009 年世帯調査）（単位：TJS）	43
図表 57	食糧を除く世帯別平均月間支出額（2009 年世帯調査）（単位：TJS）	43
図表 58	消費支出割合指数（2009 年世帯調査）（単位：TJS）	44
図表 59	就労者の教育水準（%）	45
図表 60	世代別に見る貧困ライン以下の人口	46
図表 61	5 主要食糧平均価格の推移（2007-2013 年）（再掲）	47
図表 62	水質汚染と関連分野の活動マップ	49
図表 63	移住労働者の主な移住国	51
図表 65	移住労働者及びそうでない者の教育水準（%）	52
図表 66	仕送りの使途	53
図表 67	仕送りの頻度（2009 年）	53
図表 68	15 歳以上の世帯内の労働移住者の有無別の平均収入（TJS）及び割合（%） （2009 年）	54
図表 69	「見捨てられた妻たち(Abandoned Wives)」の経済的支援の財源	55
図表 70	農業従事者数（2008-2012 年）	57
図表 71	個人農場（Dekhkan Farm）の所有数（2008-2013 年）	58
図表 72	個人農場（Dekhkan Farm）管理者の男女比率	59
図表 73	女性管理者による個人農場（Dekhkan Farm）の穀物生産高（2008-2012）	60
図表 74	産前ケアの受診状況（地域・教育水準・所得階層別）	62
図表 75	出生率比較表（地域・教育水準・所得階層別）	63
図表 76	出産間隔（地域・教育水準・所得階層別）	64
図表 77	乳幼児等死亡率（地域・教育水準・所得階層別）	65
図表 78	女性の保健医療へのアクセスが困難な理由（地域・教育水準・所得階層別）	66
地図 1	タジキスタン全土地図	x

貧困関連用語解説¹

(1) 貧困指標

用語	解説
絶対的貧困 Absolute Poverty	ある最低必要条件の基準が満たされていない状態を示す。一般的には、人間として生存するために最低限必要とされる食糧と食糧以外のものが購入できるだけの所得または支出水準(=貧困線)に達していない状態を絶対的貧困と定義する。
相対的貧困 Relative Poverty	ある地域社会の大多数よりも貧しい状態を示す。例えば所得が地域内の下位10%に属する人は、衣食住が満たされていても相対的貧困者となる。また中所得国以上では、人間の生存の為に最低限必要な食糧と食糧以外の日常品ではなく、その社会で一般的な生活を送るために必要な収入・支出水準を元に相対的貧困線を設定する国もある。OECD などでは中位可処分所得の50%の水準を高所得国の相対的貧困線と定義している。
貧困線 Poverty Line	所得または支出水準が最低限の必要を満たす水準が貧困線であり、それに達しない層(=貧困者)が全人口に占める割合を貧困率・または指数として示す。これにより表される貧困を経済的貧困、所得貧困とも言う。
国際貧困線 International Poverty Line	MDGs を機に、国際的な絶対的貧困線として「一日1ドル未満」が設定された。国際貧困線以下の人口が世界の絶対的貧困者の数であり、その割合が国際貧困率として算出される。 1993年購買力平価での最貧15か国の貧困線の平均が月32.74米ドル(一日1.08米ドル)であったことから、MDGs 指標として一日1ドルの指標が採用された。最貧国の国別貧困線の各国の物価は異なり、同じ1ドルで購入できるものには大差があるため、購買力平価(Purchasing Power Parity: PPP)を用いて、米国での1ドルの購買力に相当するように調整されている。2005年以降の貧困線は物価上昇などを加味し、2008年購買力平価における最貧15か国の貧困線の平均から、一日1.25ドルが国際比較のための絶対貧困線とされている ² 。
国別貧困線 National Poverty Line	国ごとの実情を反映し、各国政府が家計調査のデータなどに基づいて独自に設定したのが国別貧困線である。国内における物価の差異に対応するため、都市、地方、あるいは地域ごとに設定された異なる貧困線を元に、統計的に国家貧困線を算出する場合もある。多くの発展途上国では、下記のベーシックニーズ貧困線が国別貧困線とされている ³ 。下記の食糧貧困線とベーシックニーズ貧困線は、国により Upper/Lower Poverty Line や、Poverty Line/Extreme Poverty Line など様々な表現があるため、定義によっていずれであるかを判断する必要がある。
食糧貧困線 Food Poverty Line	人間が生存していく上で、最低限必要なエネルギーを摂取できる支出レベルを算出したもの。摂取エネルギーは、FAO が提唱する成人の一日に必要なカロリー(2100カロリー)を基準に、国ごとに設定される場合が多い。そのカロリーを摂取するための基本的な食糧の種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合がある。
ベーシックニーズ貧困線 CBN/Basic Needs	ベーシックニーズ費用手法(The Cost of Basic Needs Method: CBN)を用い、食糧貧困線に非食糧、すなわち衣類、住居、医療などのための最低限の支出金額を足して算出される。

¹ 主に国際協力総合研修所 2008年3月『指標から国を見る～マクロ経済指標、貧困指標、ガバナンス指標の見方～』(http://jica-ri.jica.go.jp/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/pdf/200803_aid02.pdf)、世界銀行(2009) Measuring Poverty and Inequality (<http://go.worldbank.org/4WJH9JQ350>) を元に作成。

² World Bank (2008), Dollar a Day Revisited (<http://go.worldbank.org/SMQ2FCW4J0>)

³ World Bank (2012), Poverty Measurement Methodology by Country (<http://go.worldbank.org/OP02MEZ880>)

用語	解説
Poverty Line	
非食糧貧困線	非食糧ニーズの種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合も多い。また、所得貧困 (Income Poverty) という表現がされることが多いが、途上国での貧困率の算出に使用されるのはほとんどの場合支出に関するデータである。
Non Food Poverty Line	
貧困ギャップ率・指数	貧困率が貧困の発生頻度を表すのに対し、貧困ギャップ率は貧困の平均的「深さ (depth)」を表すために用いられる。通常、国別貧困率を元に算出される。
Poverty Gap Ratio・Index、P₁	貧困ギャップ率は、国民の収入または支出が貧困線に対して何パーセント下回っているか(乖離しているか)を、貧困線以上の人々の乖離率をゼロとして計算した数値である ⁴ 。貧困ギャップ率に貧困線と人口を乗じた数字が、貧困削減のための最低限の必要な費用であるとされ、政策上の目安となる。
二乗貧困ギャップ率・指数	貧困の極端な「深刻さ (severity)」を表すために用いられる。通常国別貧困率を元に算出される。二乗貧困ギャップ率は、貧困線からの乖離率を二乗したもので、乖離率(貧困の深刻度)が高ければ、より大きく数値に反映される。
Squared Poverty Gap Ratio・Index / Poverty Severity Ratio・Index、P₂	

(2) 不平等指数

用語	解説
ジニ係数・指数	国や地域の所得(または消費)の平等・不平等度を示す指標。完全に平等な社会では0になり、完全に不平等な社会では1となる。なお、世界銀行の統計などではパーセンテージ表示のジニ指数 (Gini Index) を用いており、完全に不平等な社会を 100 で表す。通常 30 から 50 の範囲になることが多く、40 を超えると社会が不安定になると一般的に言われている。
Gini Coefficient, Gini Index	
所得階層別の所得シェア	ジニ係数を算出する基礎となるもの。人口を所得水準で階層分類し(五分位または十分位)、国全体の所得のうちそれぞれの階層が占める割合を%で表示。一般的に、五分位の最下層 20%が全体の 6-10%の消費を行い、最上位 20%が全体の 35-50%の消費を行っている場合が多い。
Percentage Share of Income or Consumption	

(3) 開発指数

用語	解説
人間開発指数	人間開発の 3 つの基本的側面(①寿命、②知識、③生活水準)を総合して、各国の達成度を測定、比較するための指数。経済指標のみでは表せない国の開発の度合いを表す尺度として、UNDP が 1990 年に刊行した『人間開発報告 (Human Development Report)』の中で用い、各国のランキングを行ったことに始まる。算出方法は、①平均寿命指数、②教育指数(成人識字率と初等・中等・高等教育総就学率)、③GDP 指数(1人当たり実質 GDP (PPP))について、それぞれの最大値を 1、最小値を 0 として算出し、3 つの平均値をとる。
Human Development Index: HDI⁵	2010年より HDI の派生指標として不平等調整済み HDI (IHDI) が導入されている。また、それまで発表されていたジェンダー開発指数 (GDI) とジェンダーエンパワメント

⁴ World Bank (2009), Handbook on poverty and inequality, <http://issuu.com/world.bank.publications/docs/9780821376133>

⁵ HDI の詳細については UNDP HDI 公式ウェブサイト参照。 <http://hdr.undp.org/en/data/about/> なお、UNDP 東京事務所から日本語でも入手可能。 http://www.undp.org/content/tokyo/ja/home/library/human_development/human_development1.html

用語	解説
	ント指数(GEM)に代わってジェンダー不平等指数(GII)が、人間貧困指数(HPI)に代わって多次元貧困指数(MPI)が導入された。

(4) 他

用語	解説
ミレニアム開発目標 Millennium Development Goals: MDGs ⁶	2000年9月、ニューヨークの国連本部で開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の国連加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択した。この宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットでの開発目標をまとめたものがMDGsである。MDGsは国際社会の課題に対して、2015年までの達成を目指す期限付きの8つの目標、21のターゲット、60の指標を掲げている。貧困に関する様々な経済的・非経済的指標が取り上げられているが、その第1目標が、「一日1.0ドルの未満(2005年以降は1.25ドル)の絶対的貧困線以下の人口を半減する」という目標である。
脆弱度分析と地図化 Vulnerability Analysis and Mapping: VAM ⁷	食糧安全保障の観点から、「人々が最低限の厚生水準を維持できないほど、食糧へのアクセスや食糧消費が急速に低下する可能性」を「脆弱性」と定義し、地域別の脆弱度を地図化したものがVAMである。WFPが緊急食糧援助を行う際、援助を最も必要とする人々や地域を選定し、効果的な支援を行うために開発した。VAMは、包括的食糧安全保障・脆弱度分析(CFSVA)、食糧安全保障モニタリング・システム、GISデータを用いた空間分析と地図化の3つの活動からなる。CFSVAでは、社会政治環境、地理・気象条件、マクロ経済、教育・保健水準、農業、環境などの観点から食糧安全保障と脆弱性に影響を与える要素を包括的に分析する。既存のデータに加え、家計調査や市場価格調査などを組み合わせ、「どのような社会グループ(生計活動や食糧入手手段)が影響を受けやすいか」などの分析も行う。

⁶ MDGについては国連MDG公式ウェブサイト。<http://unstats.un.org/unsd/mdg/default.aspx>

⁷ VAMに関してはWFP VAMウェブサイト <http://www.wfp.org/food-security>

略語表

略語	正式名称	日本語名
AIDS	Acquired Immune Deficiency Syndrome	後天性免疫不全症候群
CASA1000	Central Asia-South Asia 1000 Project	中央アジア、南アジアプロジェクト
EU	European Union	欧州連合
GBAO	Gorno-Badakhshan Autonomous Region	ゴルノ・バダフシャン自治州
GDP	Gross Domestic Products	国内総生産
GPI	Gender Parity Index	男女差の指標
DRS	District of Republic Subordination	政府直轄州
HIV	Human Immunodeficiency Virus	ヒト免疫不全ウイルス
HDI	Human Development Index	人間開発指標
IOM	International Organization for Migration	国際移住機関
MDGs	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
PPP	Purchasing Power Parity	購買力平価
TAJSTAT	Statistical Agency under the President of the Republic of Tajikistan	タジキスタン統計局
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
UNHCR	Office of the United Nations High Commissioner for Human Rights	国連人権高等弁務官事務所
WDI	World Development Indicators	世界開発指標
WFP	United Nations World Food Programme	国連世界食糧計画

図表 1 タジキスタン主要指標一覧 (2001-2011年)⁸

主要指標一覧 【タジキスタン】		2013年11月版				
	指標項目	2001年	2009年	2010年	2011年	2011年の地域平均値
社会指標等	地表面積(1000km ²)	143	143	143	143	n.a.
	人口(百万人)	6.3	7.4	7.6	7.8	895.6
	人口増加率(%)	1.7	2.3	2.4	2.4	0.4
	出生時平均余命(歳)	64	67	67	67	76
	妊産婦死亡率(出生10万人当たり)	n.a.	n.a.	65	n.a.	n.a.
	乳児死亡率(出生1000人当たり)	69.9	53.5	52.1	50.6	10.5
	栄養不足人口(%)	40.5	36.4	34.6	31.7	5.4
	一人当たりカロリー摂取量(kcal/1日) ^{*1}	1,892	2,106	n.a.	n.a.	n.a.
	初等教育総就学率(男)(%)	100.2	103.9	103.7	102.4	102.8
	初等教育総就学率(女)(%)	93.1	99.9	100.0	98.4	102.0
	初等教育修了率(%)	97.8	101.3	104.0	103.9	98.5
	中等教育総就学率(男)(%)	83.4	91.7	93.4	94.4	99.8
	中等教育総就学率(女)(%)	69.1	80.9	80.9	82.4	97.5
	高等教育総就学率(%)	17.7	24.2	24.2	23.4	60.3
	男性成人識字率(15歳以上の男性人口の内:%)	n.a.	n.a.	99.8	n.a.	99.3
	女性成人識字率(15歳以上の女性人口の内:%)	n.a.	n.a.	99.6	n.a.	98.4
	女性の国会議員比率(%)	12.7	17.5	19.0	19.0	22.7
	絶対的貧困水準(1日1.25\$以下の人口比:%)	n.a.	6.6	n.a.	n.a.	n.a.
	失業率(%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	8.8
	軍事費(対GDP比:%)	1.2	n.a.	n.a.	n.a.	1.9
	携帯電話契約者数(100人当たり)	0.0	72.2	86.4	90.6	128.9
	人間開発指数 ^{*2} (2011年ランキング:127位/187カ国)	0.677	n.a.	0.612	0.618	0.769
	経済指標	GDP(百万USDドル)	1,081	4,978	5,642	6,522
一人当たりGNI(USDドル)		160	650	730	780	23,731
実質GDP成長率(%)		10.2	3.9	6.5	7.4	2.1
産業構造(対GDP比:%)						
農業		26.2	21.1	21.2	26.7	n.a.
工業		40.1	24.5	23.4	22.1	n.a.
サービス業		33.8	54.4	55.4	51.3	n.a.
産業別成長率(%)						
農業		6.6	10.5	6.8	-2.3	n.a.
工業		14.7	-7.1	9.7	58.5	n.a.
サービス業		7.9	7.0	4.5	-16.4	n.a.
総資本形成率(対GDP比:%)		9.7	21.7	22.8	22.1	19.5
貯蓄率(対GDP比:%)		-0.7	-17.6	-12.1	-17.0	21.0
消費者物価上昇率(インフレ:%)		38.6	6.4	6.4	12.4	3.8
財政収支(対GDP比:%)		-0.2	n.a.	n.a.	n.a.	-3.1
中央政府債務残高(対GDP比:%)		79.8	n.a.	n.a.	n.a.	46.8
貿易収支(対GDP比:%)		-10.4	-39.3	-34.9	-39.1	1.5
経常収支(対GDP比:%)		n.a.	-3.6	-15.9	-12.1	n.a.
外国直接投資純流入額(百万ドル)		9	16	-15	11	550,464
対外債務残高(対GNI比:%)		112.8	54.3	55.3	51.6	n.a.
DSR(対外債務返済比率:%)	n.a.	38.0	44.9	n.a.	n.a.	
総外貨準備高(百万ドル)	94	255	403	519	n.a.	
(輸入支払い可能月数)	n.a.	1.0	1.2	1.3	5.5	
名目対ドル為替レート ^{*3}	2.37	4.14	4.38	4.61	n.a.	
(Somoni per US Dollar: Period Average)						
政治指標	政治体制:共和制。大統領に実権					
	憲法:1994年11月6日新憲法発効					
	元首:大統領。エモマリ・S・ラフモン(Emomali S. RAHMON)。直接選挙制。任期7年。1994年11月16日就任、2006年11月18日3期目。13年11月7日四選					
	議会:二院制。上院(33議席以上)と下院(63議席)。ともに任期5年 内閣:大統領が首相を任命。首相 アキル・アキロフ(Akil AKILOV)					

出典 World Development Indicators Online (September 2013) World Bank

*1 FAO Food Balance Sheets (June 2012) FAOSTAT Homepage

*2 Human Development Report (2003/2011) UNDP

*3 International Financial Statistics Online (October 2013) IMF

*4 世界年鑑 2013 共同通信社、毎日jp 2013年11月7日

注 ●地域平均値は欧州・中央アジアの数値(地域分類は別添参照)

●「人口」、「GDP」、「外国直接投資純流入額」及び「総外貨準備高(百万ドル)」の「2011年の地域平均値」においては、地域の総数を示す

●総就学率は、学齢人口に占める就学者総数(年齢を問わない)の割合であるため、数値が100を超えることがある

⁸ JICA 研究所にて年3回改定。

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/Index/CentralAsiaCaucasus/Tajikistan.pdf> (2014年2月17日アクセス)

図表 2 タジキスタンの歳入・歳出、ODA 実績等⁹

Tajikistan Page2

一般政府歳入・歳出【タジキスタン】

	2008年 (百万円)	2009年 (百万円)	2010年 (百万円)	2010年 (百万US\$)*	2010年 対GDP比	
歳入+贈与受取額	3,895	4,828	5,722	1,306	23.2%	対ドルレート 4.38
歳入	3,610	4,120	5,153	1,176	20.9%	
租税収入	3,289	3,635	4,436	1,013	18.0%	
非税収入	320	485	718	164	2.9%	
贈与受取額	286	709	568	130	2.3%	
歳出+純貸付額	4,786	5,906	6,457	1,474	26.1%	GDP(現地通貨) 24,705
歳出	4,624	5,753	6,391	1,459	25.9%	
経常歳出	2,223	3,017	3,698	844	15.0%	
財・サービス	1,525	2,009	2,414	551	9.8%	
利払い	54	104	121	28	0.5%	
補助金・移転	643	904	1,162	265	4.7%	
資本歳出	2,401	2,736	2,693	615	10.9%	
純貸付額	163	154	67	15	0.3%	
収支調整	79	43	185	42	0.7%	
財政収支	-970	-1,121	-921	-210	-3.7%	

歳入内訳(目的別分類)【タジキスタン】

	2008年 (百万円)	2009年 (百万円)	2010年 (百万円)	2010年 内訳	2010年 (百万US\$)*	2010年 対GDP比
歳入	4,624	5,753	6,391	100.0%	1,459	25.9%
一般サービス	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
国防	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
公安	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
経済関連	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
環境保全	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
住宅・生活関連施設	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
保健・医療	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
レクリエーション・文化	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
教育	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
社会保障・福祉	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.

会計年度は1月～12月
*: 対ドル換算レートはAverage
出典 IMF, Country Report No.11/130, June 2011

対タジキスタン JICA 事業実績

(単位: 億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	累計
円借款(承諾額)	-	-	-	-	-	-
(実行額)	-	-	-	-	-	-
無償資金協力	17.74	8.26	2.97	29.68	20.29	
技術協力	3.56	4.03	3.91	3.39	4.72	48.87
(うち機材供与)	0.50	0.69	0.70	0.12	0.54	4.66

対タジキスタン JICA 技術協力人数実績

(単位: 人)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	累計
研修員受入	93	103	109	383	70	1,754
専門家派遣	5	5	9	11	18	69
調査団派遣	62	24	14	6	30	321
協力隊派遣	0	0	0	0	0	0
その他ボランティア	0	0	2	1	0	3

注: 年の区切りは日本の会計年度(4月～3月)。無償は当年度供与限度額(JICA実施管理案件)
出典: JICA事業実績

対タジキスタン ODA 実績

《我が国》

(支出総額、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等	無償資金協力	技術協力	合計
2007年	-	4.78	4.65	9.43
2008年	-	3.39	4.66	8.06
2009年	-	22.45	3.79	26.24
2010年	-	39.03	4.39	43.42
2011年	-	31.00	4.28	35.28
累計	-	144.40	44.48	188.91

《DAC 諸国・国際機関》

(支出総額、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2009年	米国 40.54	日本 26.24	ドイツ 26.12	スイス 12.86	スウェーデン 9.13	26.24	140.26
2010年	米国 45.89	日本 43.42	ドイツ 34.68	スイス 13.80	英国 12.52	43.42	164.51
2011年	ドイツ 39.69	日本 35.28	米国 34.10	英国 16.50	スイス 14.53	35.28	152.39

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2009年	ADB 107.55	IDA 46.42	EU Ins. 37.32	IMF 25.14	Isl.Dev Bank 15.27	25.31	257.01
2010年	IDA 61.36	IMF 59.75	ADB 45.18	EU Ins. 36.64	GFATM 22.63	39.73	265.29
2011年	ADB 66.99	IDA 26.90	IMF 20.60	EU Ins. 18.98	GFATM 15.29	41.29	190.05

注: 年の区切りは1月～12月の暦年。国際機関の略語は別添参照
出典: OECD/DAC

JICA 研究所にて年 3 回改定。

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/Index/CentralAsiaCaucasus/Tajikistan.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁹ JICA 研究所にて年 3 回改定。

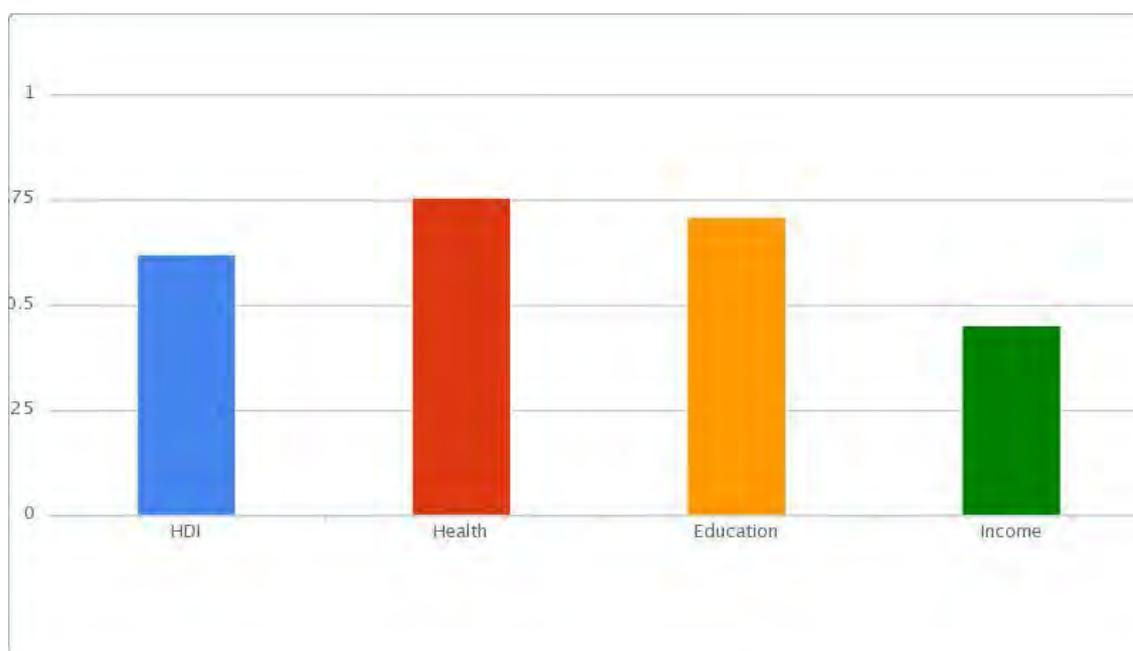
<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/Index/CentralAsiaCaucasus/Tajikistan.pdf> (2014年2月17日アクセス)

図表 3 貧困率・ジニ係数・貧困ギャップ率の推移（2002-2009年）

Indicator Name	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
Poverty headcount ratio at \$1.25 a day (PPP) (% of population)	35.43	20.77			14.66		6.56
Poverty headcount ratio at \$2 a day (PPP) (% of population)	68.05	49.88			36.95		27.69
Poverty headcount ratio at national poverty line (% of population)	72.4				53.5		46.7
Poverty headcount ratio at rural poverty line (% of rural population)	73.8				55		
Poverty headcount ratio at urban poverty line (% of urban population)	68.8				49.4		
Power outages in firms in a typical month (number)	0		0			3.6	
GINI index	32.62	33.61			32.55		30.83
Poverty gap at \$1.25 a day (PPP) (%)	10	4.83			4.42		1.16
Poverty gap at \$2 a day (PPP) (%)	26.17	16.29			12.2		6.97

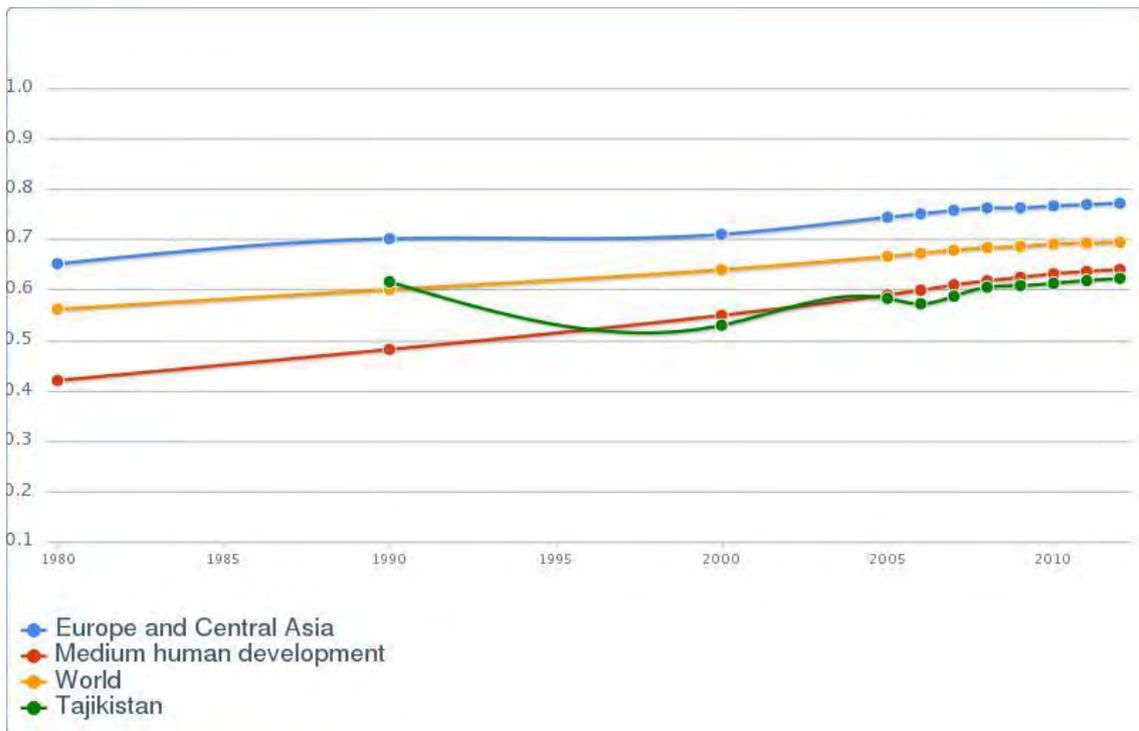
(出所) World Development Indicators

図表 4 HDI 指標（2012年）



(出所) UNDP website. <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/TJK.html> (2013年11月29日アクセス)

図表 5 タジキスタンにおける HDI の推移 (1980-2012 年)



(出所) UNDP website. <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/TJK.html> (2013年11月29日アクセス)

図表 6 MDGs 指標達成状況

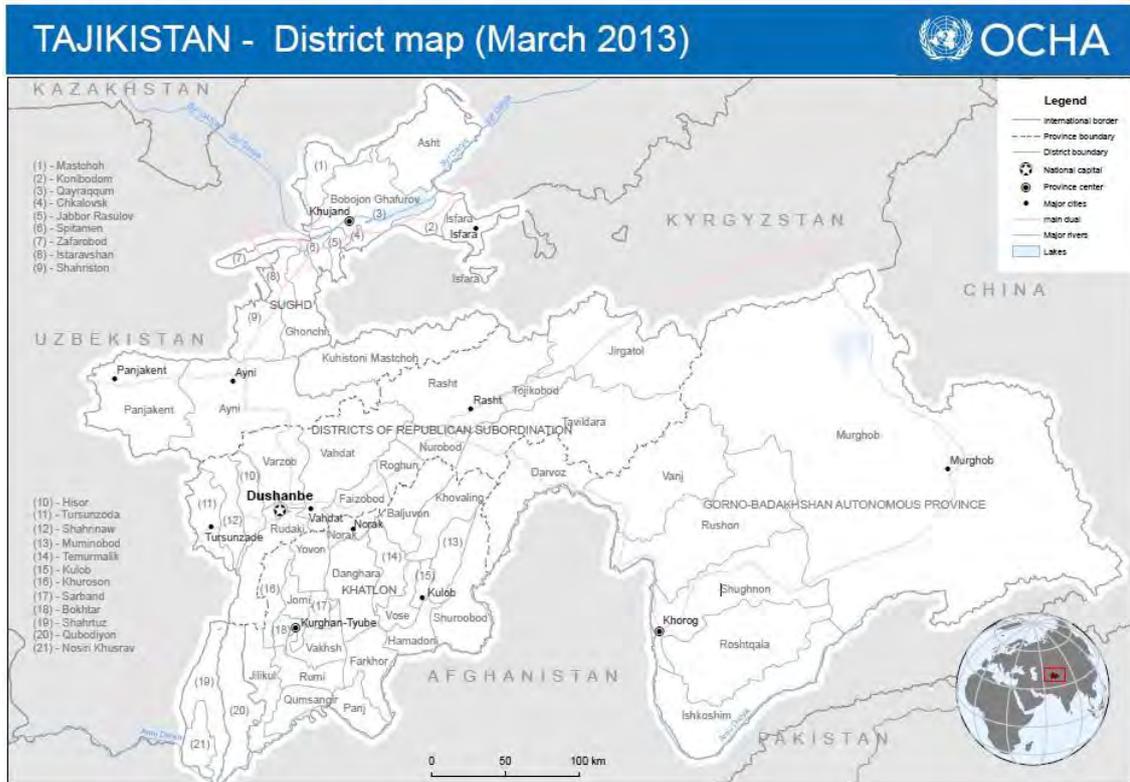
Millennium Development Goals	Indicators	Target indicator by 2015	Forecast on achievement of MDG		
			Likely	Potentially	Unlikely
Goal 1. Eradicate extreme poverty and hunger.					
Target 1.A: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than one dollar a day	1.1 Proportion of population below \$1 (PPP) per day	41,5	✓		
Target 1.B: Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people	1.2 Share of poorest quintile in national consumption		✓		
Target 1.C: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of People who suffer from hunger	1.3 Employment-to-population ratio				✓
	1.4 Prevalence of underweight children under-five years of age		✓		
Goal 2. Achieve universal primary education.					
Target 2.A: Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a full course of primary schooling	Net enrolment ratio in primary education	100,0		✓	
	Proportion of pupils starting grade 1 who reach last grade of primary	100,0		✓	
	2.3 Literacy rate of 15-24 year-olds, women and men	100,0		✓	
Goal 3. Promote gender equality and empower women.					
Target 3.A: Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005, and in all levels of education no later than 2015	Ratios of girls to boys in				
	- primary (%)	52,0/48,0	✓		
	- secondary (%)	53,0/47,0		✓	
	- and tertiary education (%)	53,1/46,9			✓
	Share of women in wage employment in the non-agricultural sector	50			✓
	3.3 Proportion of seats held by women in national parliament	30			✓
Goal 4. Reduce the child mortality rate.					
Target 4.A: Reduce by two-thirds, between 1990 and 2015, the under-five mortality rate	Under-five mortality rate	39,3	✓		
	Infant mortality rate	29,6	✓		
	4.3 Proportion of 1 year-old children immunised against measles	100,0	✓		
Goal 5. Improve maternal health.					
Target 5.A: Reduce by three quarters, between 1990 and 2015, the maternal mortality ratio	5.1 Maternal mortality ratio	30			✓
	5.2 Proportion of births attended by skilled health personnel	90		✓	
Goal 6. Combat HIV/AIDS, tuberculosis, malaria and other major diseases.					
Target 6.A: Have halted by 2015 and begun to reverse the spread of HIV/AIDS	HIV prevalence among population aged 15	not more 2500		✓	
Target 6.B: Achieve, by 2010, universal access to treatment for HIV/AIDS for all those who need it	Condom use at last high	100		✓	
	Proportion of population aged 15-24 years with comprehensive correct knowledge of HIV/AIDS	100		✓	
	Incidence and death rates associated with malaria	not more 15		✓	
	Proportion of children under 5 sleeping under insecticide-treated bed nets	100		✓	
	Incidence, prevalence and death rates associated with tuberculosis	not more 125		✓	
	Proportion of tuberculosis cases detected and cured under directly observed treatment short course	100		✓	
Goal 7. Ensure environmental sustainability.					
Target 7.A: Integrate the principles of sustainable development into country policies and programmes and reverse the loss of environmental resources	Proportion of land area covered by forest	...*			
	CO2 emissions, total, per capita and per \$1 GDP (PPP)				
	Consumption of ozone-depleting substances				
Target 7.B: Reduce biodiversity loss, achieving, by 2010, a significant reduction in the rate of loss	Proportion of population using an improved drinking water source	97	✓		
Target 7.C: Halve, by 2015, the proportion of people without sustainable access to safe drinking water and basic sanitation	Proportion of population using an improved sanitation facility	74	✓		
Goal 8. Develop a global partnership for development					
Target 8.A: Develop further an open, rule-based, predictable, non-discriminatory trading and financial system	8.1 The unemployment rate among youth				✓
Target 8.B: Address the special needs of the least developed countries	8.2 The volume of external debt		✓		
Target 8.C: Achieve debt sustainability in the long term	8.3 Debt service as a percentage of exports of goods and services		✓		
Target 8.D: In cooperation with the private sector, make available the benefits of new technologies, especially information and communications	Access to computers per 1000 population			✓	
	Telephone and cellular subscribers per 1000 population		✓		

*No indicators in the National Development Strategy (NDS) for the period until 2015.

(出所) UNDP (2010), Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report, pp.6-7.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

地図 1 タジキスタン全土地図



(出所) UNOCHA <http://reliefweb.int/map/tajikistan/tajikistan-reference-map-district-map-march-2013>

(2014年2月17日アクセス)

I. 貧困状況の概観

CIS 諸国の中で最貧国の位置づけにあるタジキスタンは、内陸のへき地に位置し、所得が低く、食糧安全保障上の問題も抱えている。近年では主にロシア共和国における出稼ぎ労働者からの仕送りがタジキスタンの GDP の約 50%の割合を占めており、その仕送りは農村部の約 55%の世帯の主要な収入源となっている。出稼ぎ労働は国の経済成長に大きく貢献するのみならず、同時に、貧しい農村世帯の貴重な収入源ともなっている¹⁰。

1990 年代初頭のソ連崩壊後、タジキスタンは深刻な経済困難に直面した。独立に伴うソ連政府からの補助金の途絶により、社会・経済情勢は悪化した。内戦によりタジキスタンの経済は、生産性の低下、マクロ経済の不安定化、急激な貧困の広がりなど、70 億 USD¹¹以上の経済的損失を被った。1992 年から 1997 年にかけてのソ連時代以後の開発における重点項目は、政治の安定を図り基本的な市場メカニズムを構築することであった。1992 年から 1996 年にかけて GDP が低下するとともに、インフレ率が数千%の水準へと上昇するなど、経済は低迷し極めて深刻な状態に陥った¹²。

そのような状況下、様々な経済改革への取り組みがなされ、新しい市場経済の構築が図られた。その結果、経済発展の基礎が形成され、わずかではあるが 1997 年には経済成長が見られた。社会政治状況の安定化は、内戦後の復興、経済改革実施の拡大、経済プログラムと各種取り組みの全面的な実施を促す環境を生み出し、1997 年から 1999 年にかけてタジキスタン経済は上向いた。その後、経済改革の進展に伴い徐々に成果が現れ、2000 年から 2005 年の年平均 GDP 成長率は 9.3%、インフレ率は 6~7%にまで低下し、2000 年には GDP の 108%であった対外債務は、その後 38.9%にまで減少した。こうした 5 年間のマクロ経済の安定化により、貧困率は 1999 年の 81%から 2003 年には 64%にまで改善した¹³。

世界市場に隔絶されているために、世界金融危機の直接的な影響は限定的であったが、主要輸出品であったアルミニウムと綿の需要も減少したことから、間接的には深刻な損失を被った¹⁴。

図表 7 GDP・GDP 成長率 (2000-2012)

Indicator Name	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
GDP (current US\$) (in millions)	1,554	2,076	2,312	2,830	3,719	5,161	4,979	5,642	6,523	6,972
GDP growth (annual %)	11.0	10.3	6.7	7.0	8.0	8.0	3.5	6.5	7.4	7.5

(出所) World Development Indicators.

¹⁰ WFP website, World Food Programme, Fighting Hunger Worldwide: Tajikistan, <http://www.wfp.org/countries/tajikistan/overview> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

¹¹ 1USD= 102.46 円 (平成 25 年度 JICA 精算レート 2 月参照)。

¹² Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* p.4. <http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

¹³ Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* pp.4-5. <http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

¹⁴ WFP website, World Food Programme, Fighting Hunger Worldwide: Tajikistan, <http://www.wfp.org/countries/tajikistan/overview> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

II. 貧困削減のための政策枠組み

1. 貧困削減戦略・目標と現状

(1) 国家開発戦略（2007－2015）

2005年にタジキスタン政府は国家開発戦略 2015（NDS:National Development Strategy 2015）を策定した。NDSでは、ミレニアム開発目標（MDGs）と併せて、国家の社会経済開発における長期的な開発プロセスが規定され、持続可能な経済成長、国民への基本的な社会福祉の保証、及び貧困削減を軸にした優先事項について定めている¹⁵。

NDSは、ソ連崩壊後の社会政治経済移行期にタジキスタンが直面した様々な課題を踏まえた開発のための新しい取り組みであった。タジキスタン政府における、セクター・地域の枠組みや、開発のための各種戦略、プログラム、プラン等は、このNDSを基盤としている¹⁶。

図表 8 NDSの長期的目標

軸	内容
機能面 (Functional Block)	透明性の向上や行政機関の効率化による行政機能の改善、マクロ経済開発の実施、投資環境及び民間セクターの改善、自由経済特区やサイエンスパークなどの経済ゾーンの開発、世界経済への統合（WTO、観光開発、クロスボーダー貿易等）
生産に係る面 (Production Block)	エネルギー、産業及びその他のセクターの開発、輸送や通信などのインフラ整備、農業開発、水道供給や土地利用などを通じた食糧安全保障の強化
社会面 (Social Block)	社会的保護や雇用創出、科学及び教育セクターの開発、教育分野におけるキャパシティビルディング、医療の発展及び医療分野における改善、安全な水道をはじめとするユーティリティの供給、ジェンダーの平等

NDSは、政府による長期的な開発と取り組みについて定めた戦略的かつ基礎的な文書である。全てのタジキスタンの開発パートナー（産業界、市民社会、ドナー及び国際機関）には、NDSの優先事項を踏まえることが求められている¹⁷。

¹⁵ Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* pp.5-9.

<http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014年2月17日アクセス)

¹⁶ Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* pp.5-9.

<http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014年2月17日アクセス)

¹⁷ Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* p.8.

<http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014年2月17日アクセス)

NDS は、以下の 3 つのシナリオに基づく目標を設定している。シナリオ 1 は、現在既に取り組まれているインフラ開発プロジェクトの実施を前提として設定されており、2015 年の段階で 1 人当たり GDP は約 1,734TJS¹⁸と予測されている。シナリオ 2 は、現行のプロジェクトに加え、ログンやサングトゥーダ (Sangtuda) における発電所などエネルギー分野の開発や、ハترون州におけるアルミニウム精錬所やセメント関連のプラントなど、非鉄金属等の分野の整備を前提としている。シナリオ 2 において、2015 年の 1 人当たり GDP は、約 2,066TJS と予測されている。シナリオ 3 はシナリオ 2 に加えて、さらにイノベーションや企業による投資という要素を加味されている。シナリオ 3 において、2015 年の 1 人当たり GDP は約 2,427TJS と予測されている¹⁹。

図表 9 NDS におけるマクロ経済指標の具体的目標

Key Target Macroeconomic Indicators of the NDS

	Unit of measure	2006	Scenario 1		Scenario 2		Scenario 3	
			2010	2015	2010	2015	2010	2015
Real GDP in 2006 prices	million somoni	9272.2	11270.4	14384.2	12222.2	17142.2	13088.5	20138.2
GDP per capita in 2006 prices	somoni	1311.3	1477.7	1733.5	1602.5	2065.9	1716.1	2426.9
Average growth rate of real GDP	%	107	105	105	107	107	109	109
Average inflation ratio	%	12.5	6	5	6	4	5.5	3
Exported goods and services as a percentage of GDP	%	49.8	48.1	52.4	56.3	58.6	58.9	62.7
Imported goods and services as a percentage of GDP	%	61.3	65.5	69.7	64.9	62.3	58.1	55.8
Monetary supply as a percentage of GDP (M2)	%	11	15	16	15	16	15	16
Internal investments in principal capital as a percentage of GDP	%	9.5	12	11	12	11	12	11
Budget revenue as a percentage of GDP	%	17.8	20.0	21.5	20.0	21.5	20.0	21.5
Budget expenditures (excluding external PIP financing) as a percentage of GDP	%	17.5	20.5	22.0	20.5	22.0	20.5	22.0
Budget surplus and deficit (excluding PIP)	%	0.3	-0.5	-0.5	-0.5	-0.5	-0.5	-0.5
Public debt as a percentage of GDP	%	31.0	64.3	53.3	57.9	38.8	49.2	36.9
Public debt servicing as a percentage of budget revenue	%	2.6	3.3	4.0	2.9	2.7	2.6	2.3

(出所) Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* p.48.

<http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

¹⁸ タジキスタンの通貨はソモニ (Somon: TJS) 1TJS= 21.463 円 (平成 25 年度 JICA 精算レート 2 月参照)。

¹⁹ Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* pp.18-19. <http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

図表 10 NDS における社会・経済指標の具体的目標 (MDGs 評価)

Key Target Socio-Economic Indicators of the NDS
(Assuming achievement of the MDGs)

Millennium Development Goals	NDS Indicator	2003	2010	2015
1. Eradicate extreme poverty and hunger	Poverty in Purchasing Power Parity indicators \$2.15 per day (%)	64	48	32
	Malnutrition (children under 5, %):			
	- acute	7.6 (2004)	5.5	3.8
	- chronic	31.4 (2004)	26.0	20.9
	Iodine deficiency (incidence of goitre, %):			
	- children under 5	64.0	45.1	32.0
- women of child-bearing age	60.0	42.5	30.0	
Incidence of anaemia (%):				
- children under 5	37.0	26.5	18.5	
- women of child-bearing age	48.0	34.0	24.0	
Incidence of vitamin A deficiency among children under 5, %	51.8 (2002)	36.4	25.9	
2. Achieve universal primary education	Overall indicator of school attendance by children (%)	88.0 (2004)	91.0	99.0
	Literacy rate among the population aged 15-24 (%)	88.4 (2004)	95.0	99.1
3. Promote gender equality and empower women	Ratio of boys to girls in schools (%):			
	in primary grades (1- 4)	52.0/48.0	52.0/48.0	52.0/48.0
	in intermediate grades (5-9)	54.4/45.6	53.4/46.6	53.0/47.0
	in grades 10-11	53.5/46.5	53.4/46.6	53.1/46.9
	Ratio of literate men and women aged 15-24 (%)	98/100	99.0/100	100/100
4. Reduce child mortality	Infant mortality (per 1,000 live births)	89	68	29.6
Millennium Development Goals	NDS Indicator	2003	2010	2015
	Mortality among children under 5 (per 1,000 live births)	118	80	39.3
5. Improve maternal health	Maternal mortality (per 100,000 live births)	120	70	30
6. Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases	HIV/AIDS (total number of cases)	506* (2005)	2500	Not more than 6,800
	Incidence of malaria (per 100,000 people)	29.1 (2005)	50.0	20.0
	Incidence of tuberculosis (per 100,000 people)	60 (2005)	146	125
	Incidence of parasitic diseases (per 100,000 people)	292.9 (2004)	Not more than 292.9	198
	Immunisation coverage of children under 1 year (%)	95	98	98
	Incidence of measles (per 100,000 people)	0 (2005)	0	0
7. Ensure environmental sustainability	Proportion of the population using solid types of fuel (%)	32.2 (2002)		
	Access of the urban population to safe water (%)	93 (2004)	96	97
	Access of the rural population to safe water (%)	47 (2004)	64	74
	Access to basic sanitation in urban areas (%)	23 (2004)	47	50
	Access to basic sanitation in rural areas (%)	5 (2004)	37	65

* According data from the Ministry of Health and UNAIDS estimates, the figure is 6,800 people.

(出所) Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015* pp.49-50.

<http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf> (2014年2月

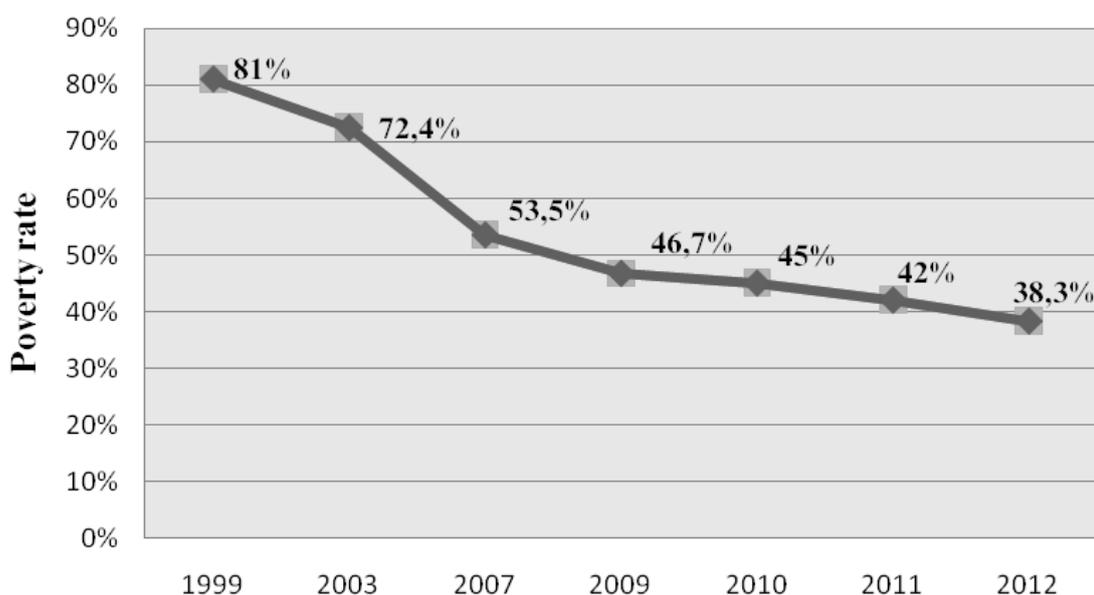
17日アクセス)

(2) PRS (2010-2012) から LSIS (2013-2015) へ

貧困削減に関して、タジキスタン政府の優先事項について定めた長期計画である NDS を踏まえ、中期計画である「貧困削減戦略 2010-2012」(Poverty Reduction Strategy : PRS) は策定された。その後 PRS の終了に伴い、2013 年に最新の中期計画である「生活水準向上戦略 2013-2015」(Living Standard Improvement Strategy : LSIS) が策定された²⁰。

LSIS においては、PRS の計画期間である 2010 年から 2012 年の取り組みについて、PRS の効果的な実施が経済発展につながったとして評価している。1999 年から 2009 年にかけて行われた調査によると、1999 年の 81% から 2009 年の 46.7% にまで低下した。なお、その後の貧困率のトレンドについて、2010 年に 45% にまで低下した貧困率は、2011 年には 42% に、2012 年には約 38% にまで低下している²¹。

図表 11 貧困率のトレンド (1999-2011)



(出所) Republic of Tajikistan (2012), *Living Standards Improvement Strategy of Tajikistan for 2013-2015*, p.13 http://www.undp.tj/files/reports/LIS_2013-2015_ENG.pdf (2014 年 2 月 17 日アクセス)

²⁰ Republic of Tajikistan (2012), *Living Standards Improvement Strategy of Tajikistan for 2013-2015*, p.12 http://www.undp.tj/files/reports/LIS_2013-2015_ENG.pdf (2014 年 2 月 17 日アクセス)

²¹ Republic of Tajikistan (2012), *Living Standards Improvement Strategy of Tajikistan for 2013-2015*, pp.12-13. http://www.undp.tj/files/reports/LIS_2013-2015_ENG.pdf (2014 年 2 月 17 日アクセス)

以下は、PRS の実施期間中に実施された貧困削減に係る事業の進捗を示す指標である。

図表 12 PRS2010-2012 の分野別実施状況

PRS sections	Total no. of actions	Total no. of indicators	No. of actions being implemented	No. of indicators being met	Percentage of implementation of actions
ESTABLISHMENT OF THE GENERAL CONDITION FOR DEVELOPMENT (THE FUNCTIONAL SECTION)					
Public administration reform	103	-	48	n/a	47
Macro-economic development	46	9	34	9	74
Improvement of investment climate, development of private sector and entrepreneur-ship	37	7	34	4	92
Development of regional cooperation and integration into the global economy	43	10	37	7	86
Total	229	26	153	20	67
PROMOTION OF SUSTAINABLE ECONOMIC GROWTH (THE PRODUCTION SECTION)					
Food security and development of the agriculture sector	45	13	34	12	76
Development of infrastructure, energy and industry	88	26	44	23	50
Total	133	39	78	35	59
DEVELOPMENT OF HUMAN POTENTIAL (THE SOCIAL SECTION)					
development of the educational system and science	64	16	57	15	89
Development of the healthcare system	43	13	37	13	86
Improvement of social welfare	54	14	52	10	96
Increase of access to water supply, sanitation, and housing and municipal services	13	2	13	2	100
Promotion of environmental sustainability	19	11	19	9	100
Promotion of gender equality	14	8	14	3	100
Subtotal	207	64	192	52	93
Total in PRS	569	129	423	107	74

(出所) Republic of Tajikistan (2012), *Living Standards Improvement Strategy of Tajikistan for 2013-2015*, pp.14-15. http://www.undp.tj/files/reports/LIS_2013-2015_ENG.pdf (2014年2月17日アクセス)

LSIS の 3 つの軸とその内容は以下の通りであり、NDS を踏襲したものとなっている。

図表 13 LSIS の 3 つの軸と内容

軸	内容
機能面 (Functional Section)	透明性の向上や行政機関の効率化による行政機能の改善、マクロ経済開発の実施、投資環境及び民間セクターの改善、自由経済特区やサイエンスパークなどの経済ゾーンの開発、世界経済への統合（WTO、観光開発、クロスボーダー貿易等）
生産に係る面 (Production Section)	エネルギー、産業及びその他のセクターの開発、輸送や通信などのインフラ整備、農業開発、水道供給や土地利用などを通じた食糧安全保障の強化
社会面 (Social Section)	社会的保護や雇用創出、科学及び教育セクターの開発、教育分野におけるキャパシティビルディング、医療の発展及び医療分野における改善、安全な水道をはじめとするユーティリティの供給、ジェンダーの平等

（出所） Republic of Tajikistan（2012） *Living Standards Improvement Strategy of Tajikistan for 2013-2015*, pp.12-80 http://www.undp.tj/files/reports/LIS_2013-2015_ENG.pdf（2014年2月17日アクセス）

2. 政府による指定貧困地域・集団

(1) 貧困地域

タジキスタンでは、地域間で富の不均衡が見られる。都市部の60%が、最も富裕な第5五分位に属しているのに対し、農村部人口の50%は、最も貧しい第1及び第2五分位に属している。地域別に見ると、ドゥシャンベの人口の80%が、最も富裕な第5五分位に属しているのに対し、ゴルノ・バタフシャン自治州とハトロン州が最も貧しい地域であり、ハトロン州の3分の2及びゴルノ・バタフシャン自治州の半数以上の人口が、最も貧しい第1及び第2五分位に属している²²。

図表 14 タジキスタンの五分位階級に見る富の配分（地域別）

Table 2.5 Wealth quintiles								
Percent distribution of the de jure population by wealth quintiles and the Gini Coefficient, according to residence and region, Tajikistan 2012								
Residence/region	Wealth quintile					Total	Number of persons	Gini coefficient
	Lowest	Second	Middle	Fourth	Highest			
Residence								
Urban	2.4	5.0	10.9	20.7	61.1	100.0	9,715	0.27
Rural	25.6	24.8	22.9	19.8	6.9	100.0	30,753	0.19
Region								
Dushanbe	0.6	0.7	3.4	15.2	80.1	100.0	3,526	0.24
GBAO	33.0	21.4	19.0	15.9	10.7	100.0	894	0.28
Sughd	17.1	13.3	19.7	29.3	20.5	100.0	11,790	0.29
DRS	11.2	18.6	29.7	24.3	16.3	100.0	9,966	0.28
Khatlon	32.5	31.3	17.7	10.8	7.7	100.0	14,291	0.30
Total	20.0	20.0	20.0	20.0	19.9	100.0	40,468	0.33

（出所）TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.21. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf（2014年2月17日アクセス）

※Tajikistan Demographic and Health Survey 2012は、富の配分に係る指標であるが、その指標は必ずしも所得のみに基づいて算定されているものではなく、電力供給の有無や資産の保有なども含めた諸条件を勘案して分析を行ったうえで、五分位階層別に示された指標である²³。

²² TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.21. http://www.stat.tj/en/img/e7604507b29876e47b1dd85df4640df4_1385546959.pdf（2014年2月17日アクセス）

²³ TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012 Atlas of Key Indicators*, pp.2-3. http://www.stat.tj/en/img/e7604507b29876e47b1dd85df4640df4_1385546959.pdf（2014年2月17日アクセス）

図表 15 タジキスタンの五分位階層別に見る第 5 五分位の富の配分

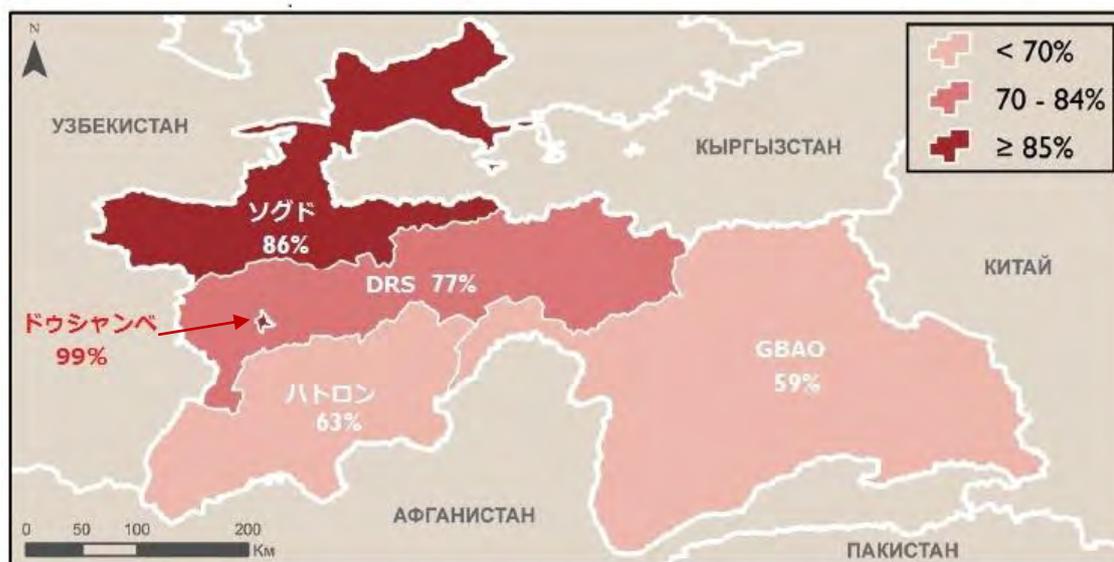


Household Wealth

(出所) TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012 Atlas of Key Indicators*, p.3. http://www.stat.tj/en/img/e7604507b29876e47b1dd85df4640df4_1385546959.pdf (2014年2月17日アクセス)

水道供給へのアクセスも地域によって格差がある。都市部のドゥシャンベでは 99%がアクセス可能であるのに対し、ゴルノ・バタフシヤン自治州では 59%、ハトロン州では 63%に留まる²⁴。

図表 16 地域別水道水へのアクセス可能率



Access to an Improved Water Source:

(出所) TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012 Atlas of Key Indicators*, p.2. http://www.stat.tj/en/img/e7604507b29876e47b1dd85df4640df4_1385546959.pdf (2014年2月17日アクセス)

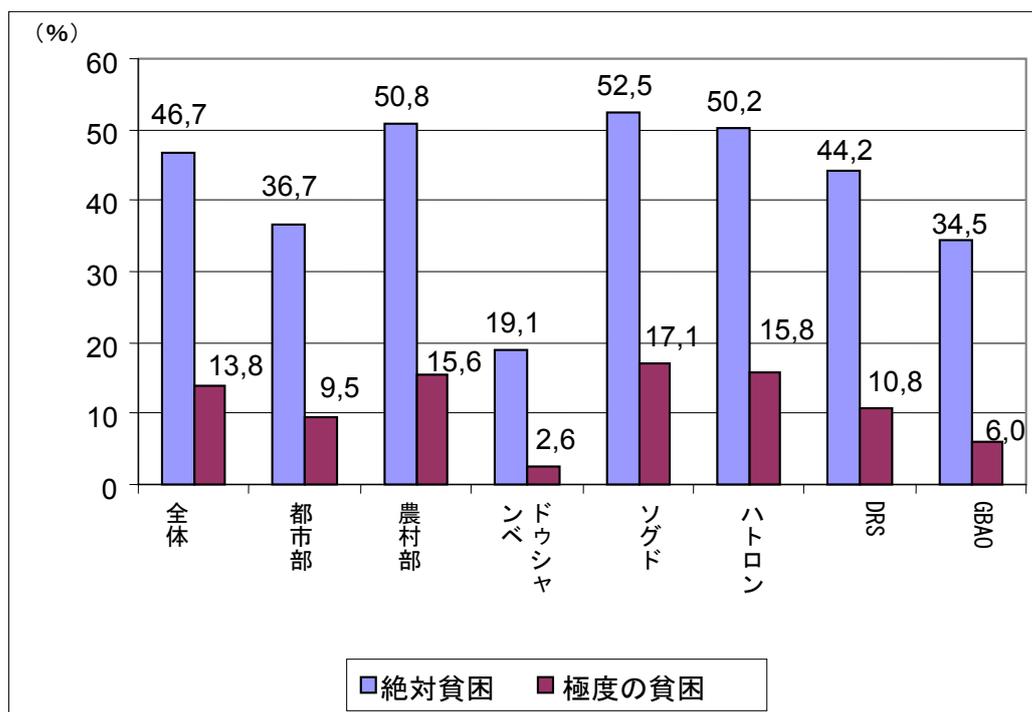
²⁴ TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012 Atlas of Key Indicators*, pp.2-3. http://www.stat.tj/en/img/e7604507b29876e47b1dd85df4640df4_1385546959.pdf (2014年2月17日アクセス)

III. 所得貧困による分析

1. 貧困ラインとデータ

2009年のタジキスタン統計局によると、絶対貧困ラインは1人当たり月額195TJS、極度の貧困ラインは、月額124TJS²⁵と設定されている。絶対貧困ラインとは、USD2.15(PPP)に基づく値²⁶であり、極度の貧困ラインとは、食糧貧困ラインを基準とし、1人が一日当たり2,250カロリーを必要とする前提の消費バスケットに基づいて算出した値²⁷である。

図表 17 貧困ライン及び貧困率 (%)



(出所) TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), p.3.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

²⁵ TAJSTAT(2009), *Анализ бедности в Республике Таджикиста (на основе проведенного обследования уровня жизни 2009 года)* [Статистика бедности в Таджикистане \(по результатам обследования уровня жизни в Таджикистане в 2009 году\)](#) (Скачать DOC, 0.2Mb) p.5. (2014年2月17日アクセス)

²⁶ TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009)p.1 http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

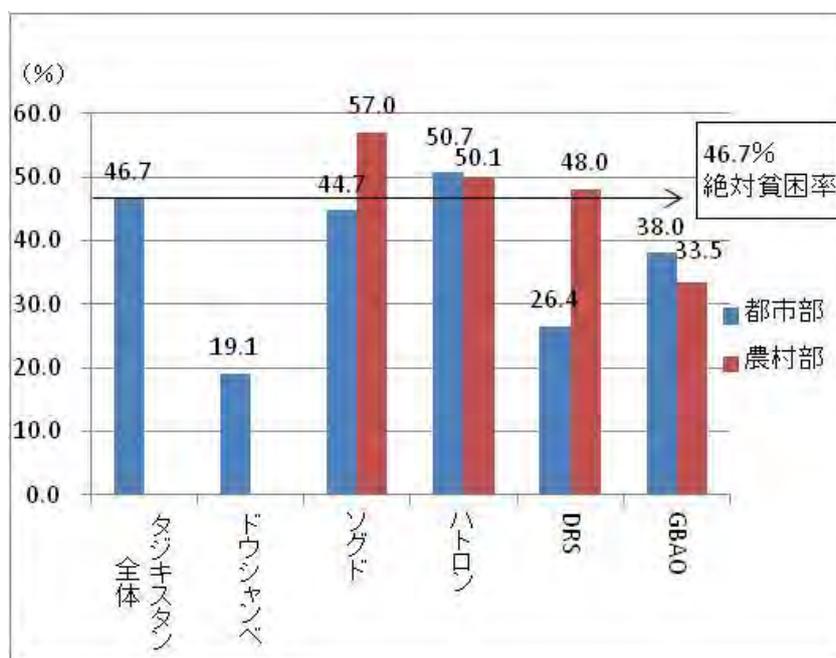
²⁷ TAJSTAT(2009), *Анализ бедности в Республике Таджикиста (на основе проведенного обследования уровня жизни 2009 года)* [Статистика бедности в Таджикистане \(по результатам обследования уровня жизни в Таджикистане в 2009 году\)](#) (Скачать DOC, 0.2Mb) p.6. (2014年2月17日アクセス)

2. 貧困状況・貧困率・貧困ギャップ率・ジニ分析

2003年から2009年にかけてタジキスタンの経済は大きく成長し、GDPが上昇したにも拘わらず、2009年の調査においてタジキスタン政府は、国民の46.7%が貧困状態(poverty)にあり、13.8%が極度の貧困(extreme poverty)²⁸状態にあると発表している。つまり、貧困状態にある層の3人に1人が極度の貧困状態に置かれているということになる²⁹。

また、都市部と地方都市で比較すると、その貧困率の差は大きい。

図表 18 地域別貧困状況・貧困ライン以下の極度の貧困率



(出所) TAJSTAT (2009), *Poverty statistics in Tajikistan(based on research conducted in 2009)*p.3.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

国内貧困ラインに基づく貧困率の推移を見ると、タジキスタン全体で2003年は72.4%、2009年に46.7%となり、また農村部でも2003年は73.8%、2009年には50.8%と減少傾向にはある。しかしながら、タジキスタン政府はこの貧困問題を非常に深刻かつ緊急に解決すべき問題としている³⁰。

²⁸ TAJSTAT, *Poverty statistics in Tajikistan(based on research conducted in 2009)*の英文レポートでは「極度の貧困」を critical poverty としているが、翻訳元の露文レポートの文脈及びその他同国の関連文献に合わせて、本章では極度の貧困 (extreme poverty) としている。

²⁹ TAJSTAT (2009), *Poverty statistics in Tajikistan(based on research conducted in 2009)* p.2. http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

³⁰ TAJSTAT (2009), *Poverty statistics in Tajikistan(based on research conducted in 2009)* p.3. http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

図表 19 絶対貧困率の推移 (2003-2009 年)

	合計	都市部	農村部
2003	72.4	68.8	73.8
2007	53.5	49.4	55.0
2009	46.7	36.7	50.8

(出所) TAJSTAT(2009), *Poverty statistics in Tajikistan(based on research conducted in 2009)*,p.6.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

タジキスタン全体での貧困率は 46.7%であるが、農村部では貧困率が高くなっている。なお、貧困率の差は 2007 年以降拡大傾向にあり、極度の貧困率は都市部が 9.5%、農村部が 15.6%となっている³¹。

図表 20 地域別貧困率の推移 (2003, 2007, 2009) (単位 : %)

区分	2003	2007	2009	増減	
				2003 から 2007 の値	2007 から 2009 の値
絶対貧困ライン : 195TJS					
都市部	68.8	49.4	36.7	-19.4	-12.7
農村部	73.8	55.0	50.8	-18.8	-4.2
全体	72.4	53.5	46.7	18.9	-6.8
極度の貧困ライン : 124TJS				増減	
				2003 から 2007 の値	2007 から 2009 の値
都市部	39.4	18.9	9.5	-20.5	-9.4
農村部	42.3	16.4	15.6	-25.9	-0.8
全体	41.5	17.1	13.8	-24.4	-3.3

(出所) TAJSTAT (2009), *Poverty statistics in Tajikistan(based on research conducted in 2009)*,p.6.

http://stat.tj/ru/img/2120319ae55295cdb0738831fc587e0f_1293262109.doc (2014年2月17日アクセス)

注) 同調査においては、英文及び露文のレポートが存在する。英文は露文からの翻訳であるが、誤訳、文章の脱落などが見られることから、英文からの引用にあたっては、露文レポートと比較して参照されたい。

(英文リンク先: http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf)

³¹ TAJSTAT (2009), *Poverty statistics in Tajikistan(based on research conducted in 2009)* p.3. http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

図表 21 貧困率・ジニ係数・貧困ギャップ率の推移（2002-2009年）（再掲）

Indicator Name	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
Poverty headcount ratio at \$1.25 a day (PPP) (% of population)	35.43	20.77			14.66		6.56
Poverty headcount ratio at \$2 a day (PPP) (% of population)	68.05	49.88			36.95		27.69
Poverty headcount ratio at national poverty line (% of population)	72.4				53.5		46.7
Poverty headcount ratio at rural poverty line (% of rural population)	73.8				55		
Poverty headcount ratio at urban poverty line (% of urban population)	68.8				49.4		
Power outages in firms in a typical month (number)	0		0			3.6	
GINI index	32.62	33.61			32.55		30.83
Poverty gap at \$1.25 a day (PPP) (%)	10	4.83			4.42		1.16
Poverty gap at \$2 a day (PPP) (%)	26.17	16.29			12.2		6.97

（出所）World Development Indicators

図表 22 ジニ係数・人口・平均寿命の推移（2002-2011年）

Title	2003	2004	2011	2012
GNI per capita PPP (current international \$)	1,120	1,270	2,040	2,180
Population (Total) (in millions)	6.5	6.7	7.8	8.0
GDP (current US\$) (in millions)	1,554	2,076	6,523	6,972
GDP growth (annual %)	11.0	10.3	7.4	7.5
Life expectancy at birth total (years)	64.9	65.3	67.1	

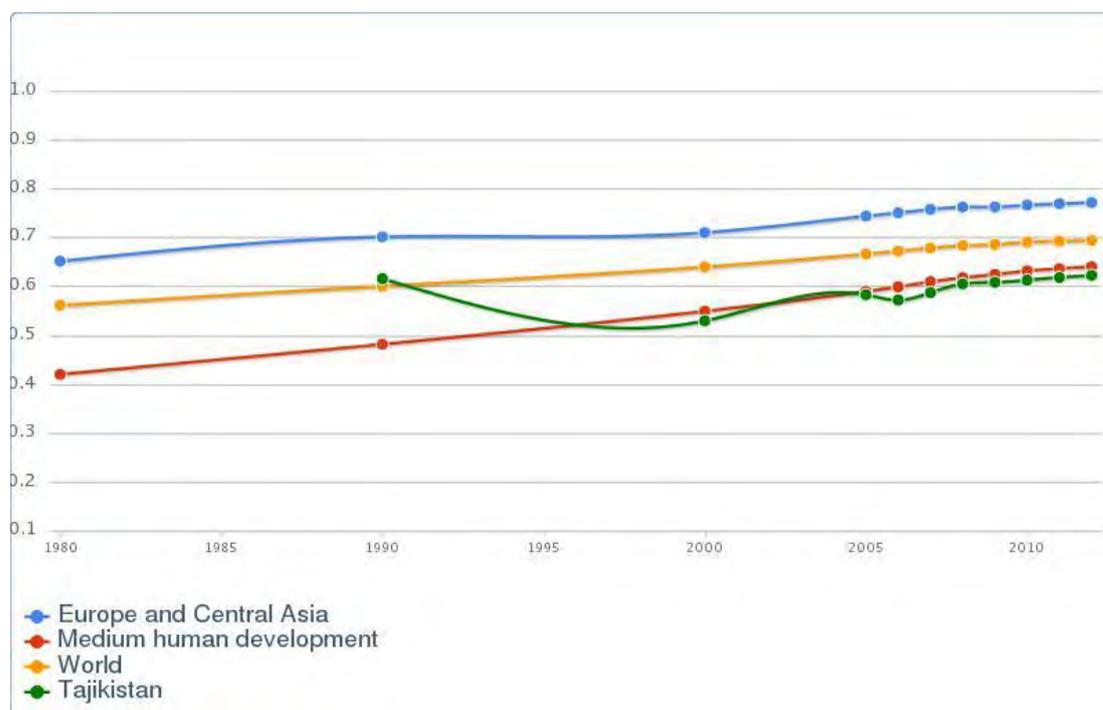
（出所）World Bank search, <http://search.worldbank.org/all?qterm=tajikistan>（2014年2月17日アクセス）

IV. 所得貧困以外による分析

1. 人間開発指数のトレンド、地域・国際比較

2012年のタジキスタンのHDIは0.622（全世界のHDIは0.694）で、全世界で第125位となっており、人間開発中位国（medium human development）に位置している。欧州・中央アジア地域の平均は0.771、中人間開発国の平均が0.640であり、いずれの平均よりも下回っている。

図表 23 タジキスタンにおけるHDIの推移（1980-2012年）



(出所) UNDP website. <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/TJK.html> (2013年11月29日アクセス)

図表 24 2012 年の中間開発国 (medium human development) の HDI

HDI rank	Human Development Index	Inequality-adjusted HDI		Gender Inequality Index		Multidimensional Poverty Index	
	Value	Value	Rank	Value	Rank	Value	Year
Medium human development							
95	Tonga	0.710	0.462	90	..
96	Belize	0.702	0.435	79	0.024 2006
96	Dominican Republic	0.702	0.510	80	0.508	109	0.018 2007
96	Fiji	0.702
96	Samoa	0.702
100	Jordan	0.700	0.568	60	0.482	99	0.008 2009
101	China	0.699	0.543	67	0.213	35	0.056 2002
102	Turkmenistan	0.698
103	Thailand	0.690	0.543	67	0.360	66	0.006 2005/2006
104	Maldives	0.688	0.515	76	0.357	64	0.018 2009
105	Suriname	0.684	0.526	72	0.467	94	0.039 2006
106	Gabon	0.683	0.550	65	0.492	105	..
107	El Salvador	0.680	0.499	83	0.441	82	..
108	Bolivia, Plurinational State of	0.675	0.444	95	0.474	97	0.089 2008
108	Mongolia	0.675	0.568	60	0.328	56	0.065 2005
110	Palestine, State of	0.670	0.005 2006/2007
111	Paraguay	0.669	0.472	95	0.064 2002/2003
112	Egypt	0.662	0.503	82	0.590	126	0.024 2008
113	Moldova, Republic of	0.660	0.584	58	0.303	49	0.007 2005
114	Philippines	0.654	0.524	73	0.418	77	0.064 2008
114	Uzbekistan	0.654	0.551	64	0.008 2006
116	Syrian Arab Republic	0.648	0.515	76	0.551	118	0.021 2006
117	Micronesia, Federated States of	0.645
118	Guyana	0.636	0.514	78	0.490	104	0.030 2009
119	Botswana	0.634	0.485	102	..
120	Honduras	0.632	0.458	84	0.483	100	0.159 2005/2006
121	Indonesia	0.629	0.514	78	0.494	106	0.095 2007
121	Kiribati	0.629
121	South Africa	0.629	0.462	90	0.057 2008
124	Vanuatu	0.626	0.129 2007
125	Kyrgyzstan	0.622	0.516	75	0.357	64	0.019 2005/2006
125	Tajikistan	0.622	0.507	81	0.338	57	0.068 2005
127	Viet Nam	0.617	0.531	70	0.299	48	0.017 2010/2011
128	Namibia	0.608	0.344	101	0.455	86	0.187 2006/2007
129	Nicaragua	0.599	0.434	86	0.461	89	0.128 2006/2007
130	Morocco	0.591	0.415	88	0.444	84	0.048 2007
131	Iraq	0.590	0.557	120	0.059 2006
132	Cape Verde	0.586
133	Guatemala	0.581	0.389	92	0.539	114	0.127 2003
134	Timor-Leste	0.576	0.386	93	0.360 2009/2010
135	Ghana	0.558	0.379	94	0.565	121	0.144 2008
136	Equatorial Guinea	0.554
136	India	0.554	0.392	91	0.610	132	0.283 2005/2006
138	Cambodia	0.543	0.402	90	0.473	96	0.212 2010
138	Lao People's Democratic Republic	0.543	0.409	89	0.483	100	0.267 2006
140	Bhutan	0.538	0.430	87	0.464	92	0.119 2010
141	Swaziland	0.536	0.346	99	0.525	112	0.086 2010

(出所) UNDP (2013) Summary Human Development Report, pp.17-18. <http://www.undp.org/content/dam/rbas/img/reports/HDR2013%20Summary-En.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

タジキスタンの HDI の各指標を見ると、出生時平均余命は、1980 年から 2012 年までに 5.4 歳伸長した。予測就学年数はわずかに 0.4 年伸び、平均就学年数は 2.5 年伸びた。一人当たり GNI は、1985 年から 2012 年までに 33%減少している。

図表 25 タジキスタンの HDI の各指標の推移 (2012 年)

Table A: Tajikistan's HDI trends based on consistent time series data, new component indicators and new methodology

	Life expectancy at birth	Expected years of schooling	Mean years of schooling	GNI per capita (2005 PPP\$)	HDI value
1980	62.4		7.3		
1985	63.4		8.3	3,183	
1990	62.9	11.9	9	2,963	0.615
1995	62.3	10.4	9.6	0,996	0.532
2000	63.6	9.8	9.9	0,924	0.529
2005	65.4	11	10	1,450	0.582
2010	67.2	11.5	9.8	1,910	0.612
2011	67.5	11.5	9.8	2,026	0.618
2012	67.8	11.5	9.8	2,119	0.622

(出所) UNDP (2013), *Explanatory note on 2013 composite indices*

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/TJK.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

人口規模及び順位の要素からタジキスタンの HDI に近い国は、キルギス共和国、ウズベキスタンである。キルギス共和国はタジキスタンと HDI 順位が同じであるが、ウズベキスタンは 114 位とタジキスタンを上回っている。

図表 26 タジキスタンの HDI の地域・国際比較

Table B: Tajikistan's HDI indicators for 2012 relative to selected countries and groups

	HDI value	HDI rank	Life expectancy at birth	Expected years of schooling	Mean years of schooling	GNI per capita (PPP US\$)
Tajikistan	0.622	125	67.8	11.5	9.8	2,119
Kyrgyzstan	0.622	125	68	12.6	9.3	2,009
Uzbekistan	0.654	114	68.6	11.6	10	3,201
Europe and Central Asia	0.771	—	71.5	13.7	10.4	12,243
Medium HDI	0.64	—	69.9	11.4	6.3	5,428

(出所) UNDP (2013), *Explanatory note on 2013 composite indices*

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/TJK.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

健康、教育、生活水準の面での深刻な貧困の度合いを数値化した多次元貧困指数 (MPI) は、貧困状態にある人の数と貧困の程度、双方を考慮に入れた指数である。タジキスタンにおいては、人口の 17.1%が多次元貧困の状況にある。加えて脆弱な複合貧困層の 23%を合わせた 40%が貧困深刻層であり、多次元貧困の状況にある人々の割合である。

図表 27 タジキスタンの多次元貧困率と他国の比較

Table E: The most recent MPI figures for Tajikistan relative to selected countries

	Survey year	MPI value	Headcount (%)	Intensity of deprivation (%)	Population			Contribution to overall poverty of deprivations in		
					Vulnerable to poverty (%)	In severe poverty (%)	Below income poverty line (%)	Health	Education	Living Standards
Tajikistan	2005	0.068	17.1	40	23	3.1	6.6	45	18.7	36.3
Kyrgyzstan	2005/2006	0.019	4.9	38.8	9.2	0.9	6.2	36.9	36.6	26.4
Uzbekistan	2006	0.008	2.3	36.2	8.1	0.1		55.7	23.2	21.1

(出所) UNDP (2013), *Explanatory note on 2013 composite indices*

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/TJK.pdf> (2014年2月17日アクセス)

2. MDGs の達成状況（現状と目標値の比較）

(1) 概況³²

2010 年の MDGs に係る Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report 2010 において、タジキスタンの貧困は、2003 年の 72.4% から 2009 年の 46.7% にまで減少したとして評価している。タジキスタン政府は、2000 年に国連の Millennium Declaration に調印し、2015 年までに MDGs の 8 つの目標全てを達成するために取り組むこととなった。

MDGs 達成に向け、NDS や PRS において貧困対策への取り組みがなされてきたが、その成果は、2010 年時点において不均衡な状態にある。2003 年、2005 年にも MDGs の経過に係る報告がなされたところであるが、2010 年の中間報告においては、例えば、若年層の教育水準の低下、失業率の増加、飲料用水の水質低下、衛生環境の悪化、エネルギー不足、伝染病の蔓延、栄養不良など、新たに指摘されている課題もある。これらの課題は、主に 2008 年から 2009 年に起きた世界経済危機の発生によりロシアへの労働移住者からの送金収入が減少し、顕在化したものである。

2010 年の MDG 中間報告では、MDGs において定められた 2015 年までの目標達成は困難であるとの見通しである。

³² UNDP (2010) *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report 2010*, pp.9-10 <http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

図表 28 MDGs 指標達成状況

Millennium Development Goals	Indicators	Target indicator by 2015	Forecast on achievement of MDG		
			Likely	Potentially	Unlikely
Goal 1. Eradicate extreme poverty and hunger.					
Target 1.A: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than one dollar a day	1.1 Proportion of population below \$1 (PPP) per day	41,5	✓		
Target 1.B: Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people	1.2 Share of poorest quintile in national consumption		✓		
Target 1.C: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people who suffer from hunger	1.3 Employment-to-population ratio				✓
	1.4 Prevalence of underweight children under-five years of age		✓		
Goal 2. Achieve universal primary education.					
Target 2.A: Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a full course of primary schooling	Net enrolment ratio in primary education	100,0		✓	
	Proportion of pupils starting grade 1 who reach last grade of primary	100,0		✓	
	2.3 Literacy rate of 15-24 year-olds, women and men	100,0		✓	
Goal 3. Promote gender equality and empower women.					
Target 3.A: Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005, and in all levels of education no later than 2015	Ratios of girls to boys in				
	- primary (%)	52,0/48,0	✓		
	- secondary (%)	53,0/47,0		✓	
	- and tertiary education (%)	53,1/46,9			✓
	Share of women in wage employment in the non-agricultural sector	50			✓
	3.3 Proportion of seats held by women in national parliament	30			✓
Goal 4. Reduce the child mortality rate.					
Target 4.A: Reduce by two-thirds, between 1990 and 2015, the under-five mortality rate	Under-five mortality rate	39,3	✓		
	Infant mortality rate	29,6	✓		
	4.3 Proportion of 1 year-old children immunised against measles	100,0	✓		
Goal 5. Improve maternal health.					
Target 5.A: Reduce by three quarters, between 1990 and 2015, the maternal mortality ratio	5.1 Maternal mortality ratio	30			✓
	5.2 Proportion of births attended by skilled health personnel	90		✓	
Goal 6. Combat HIV/AIDS, tuberculosis, malaria and other major diseases.					
Target 6.A: Have halted by 2015 and begun to reverse the spread of HIV/AIDS	HIV prevalence among population aged 15	not more 2500		✓	
Target 6.B: Achieve, by 2010, universal access to treatment for HIV/AIDS for all those who need it	Condom use at last high	100		✓	
	Proportion of population aged 15-24 years with comprehensive correct knowledge of HIV/AIDS	100		✓	
	Incidence and death rates associated with malaria	not more 15		✓	
	Proportion of children under 5 sleeping under insecticide-treated bed nets	100		✓	
	Incidence, prevalence and death rates associated with tuberculosis	not more 125		✓	
	Proportion of tuberculosis cases detected and cured under directly observed treatment short course	100		✓	
Goal 7. Ensure environmental sustainability.					
Target 7.A: Integrate the principles of sustainable development into country policies and programmes and reverse the loss of environmental resources	Proportion of land area covered by forest	...*			
	CO2 emissions, total, per capita and per \$1 GDP (PPP)				
	Consumption of ozone-depleting substances				
Target 7.B: Reduce biodiversity loss, achieving, by 2010, a significant reduction in the rate of loss	Proportion of population using an improved drinking water source	97	✓		
Target 7.C: Halve, by 2015, the proportion of people without sustainable access to safe drinking water and basic sanitation	Proportion of population using an improved sanitation facility	74	✓		
Goal 8. Develop a global partnership for development					
Target 8.A: Develop further an open, rule-based, predictable, non-discriminatory trading and financial system	8.1 The unemployment rate among youth				✓
	8.2 The volume of external debt		✓		
	8.3 Debt service as a percentage of exports of goods and services		✓		
Target 8.B: Address the special needs of the least developed countries	Access to computers per 1000 population			✓	
Target 8.C: Achieve debt sustainability in the long term	Telephone and cellular subscribers per 1000 population		✓		
Target 8.D: In cooperation with the private sector, make available the benefits of new technologies, especially information and communications					

*No indicators in the National Development Strategy (NDS) for the period until 2015.

(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, pp.6-7.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

(2) 目標 1：極度の貧困と飢餓の撲滅³³

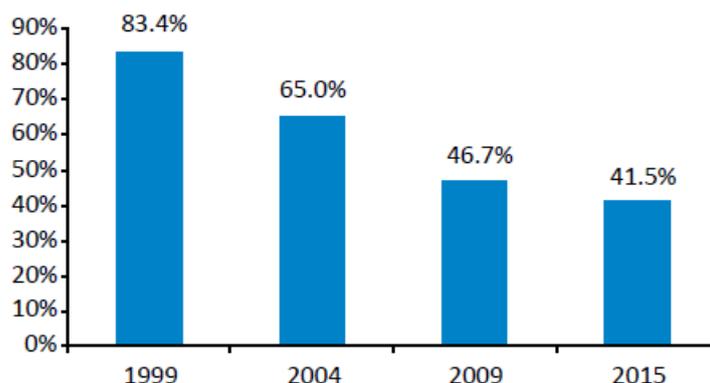
貧困率（相対貧困及び絶対貧困）は徐々に減少傾向にはある。しかしながら、都市部と農村部で格差が存在し、農村部の方がより貧困率が高く、深刻である。

タジキスタンは、海外への労働移住者からの送金に依存する社会であり、その送金額は、2008年には77億USDを超えていたが、経済危機後の2009年には18億USDまで減少した。

貧困削減のための今後の課題として、投資環境整備及び海外からの投資家誘致、移住労働のプロセス改善（移住労働が想定される者の各種スキルの向上、移住労働の合法化、移住労働者に対する搾取の防止など）、不正や汚職の防止、低廉な価格でのエネルギーや水資源の供給、などを挙げている。エネルギーや水資源の供給については、自作農や零細事業主など貧困に陥りやすい脆弱な層に対する支援として有効であることを指摘している。

図表 29 貧困削減のトレンド

Figure 1. Trend of poverty reduction



(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p13.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

図表 30 男女・居住地域別貧困率

Table 1. The main indicators of poverty among the population, %

	Total	Women	Men	Urban areas	Rural areas
Rate of relative poverty	53.6	53.9%	53.1%	49.4	55.0
Rate of extreme or absolute poverty	17.1	22.9	16.0	18.9	16.4

(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p13..

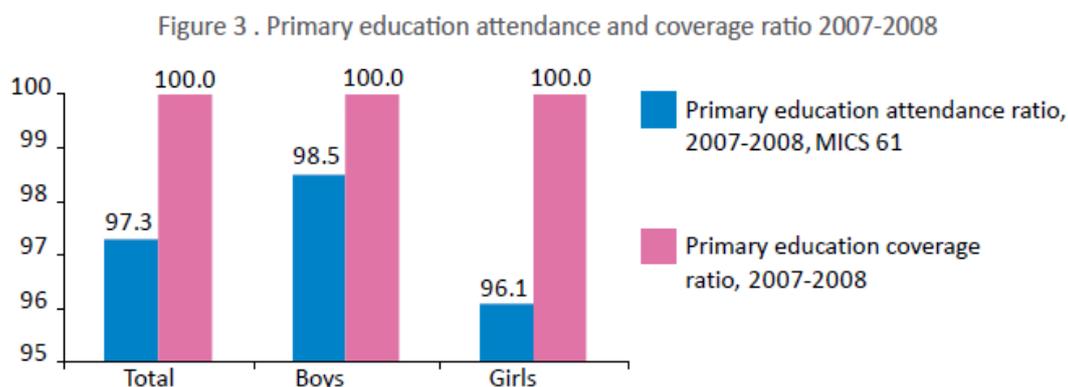
<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

³³ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report 2010*, pp.20-21. <http://www.undp.org/content/tajikistan/en/home/library/mdg/tajikistan-progress-report-2010/> (2014年2月17日アクセス)

(3) 目標 2 : 初等教育の完全普及の達成

2007-2008 年の調査報告によると、目標 2 に掲げられている初等教育の完全普及は達成の見込みである。15-24 歳の識字率は男性がおおよそ 99%、女性が 98%であり、国全体では 98.4%となっている³⁴。

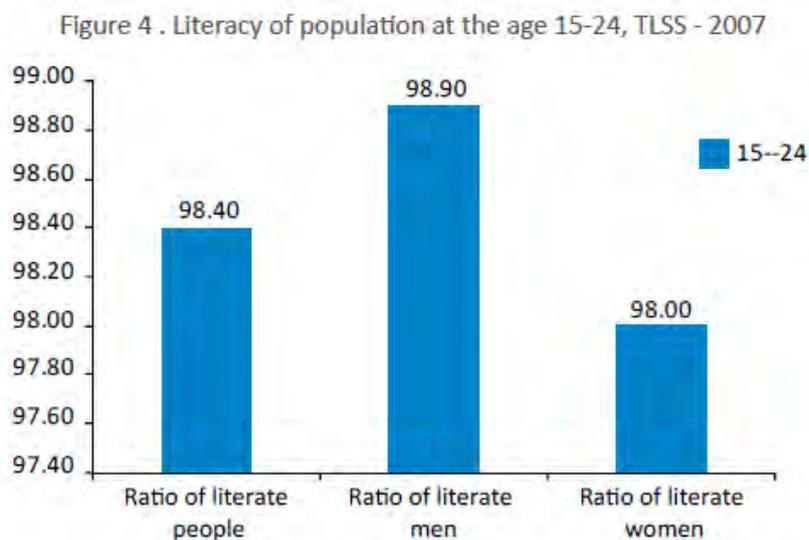
図表 31 初等教育普及率（2007-2008 年）



(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p23.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

図表 32 15-24 歳の識字率（2007）



(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p16.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

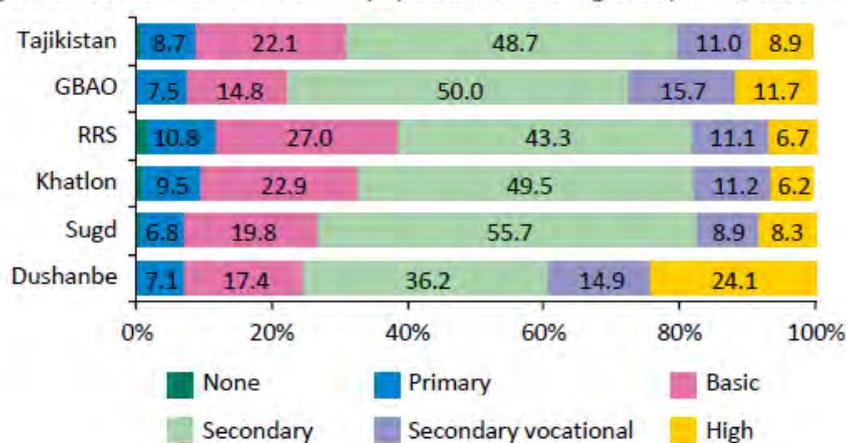
³⁴ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.24.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

タジキスタンにおける初等・中等教育の就学率は中央アジアで最も低く、また独立前と比較しても低くなっている。教育の質に問題があり、教師の量的・質的な不足、教科書の陳腐化、教育インフラの未整備などがその理由として挙げられている。また、学校は一般に、3部制で運営されている³⁵。タジキスタンの教育水準を地域別に見ると、以下の通りである。

図表 33 地域別の教育水準（2007）

Figure 6. Level of education of the population in the regional profile, TLSS - 2007



（出所）UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.26.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf>（2014年2月17日アクセス）

地域別の教育水準について、初等教育のみ修了した者が最も多いのはハトロン州と DRS である。タジキスタンは国土の 93%が山岳地帯であり、へき地に居住する者は特に冬期に交通手段を限定されるため教育へのアクセスが妨げられている。不安定な電力供給は、コンピューター・IT 等を活用した教育を困難にし、教育分野の低賃金は教師不足を招いている。エネルギー環境を整えることは、教育における課題改善の上で必須である³⁶。

Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report においては、ハトロン州内の教育関係者のインタビューから、ハトロン州では農村社会の価値観が子どもの教育に影響しており、農村部では綿摘みなどの農業労働のため通学できない子どもも多いこと、女子は早期(14歳から15歳)に結婚することが望ましいとされる価値観なども存在することから、中等教育での女子の出席率が下がることが指摘されている³⁷。

³⁵ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.26.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf>（2014年2月17日アクセス）

³⁶ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, pp.24-27.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf>（2014年2月17日アクセス）

³⁷ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, pp.46-47.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf>（2014年2月17日アクセス）

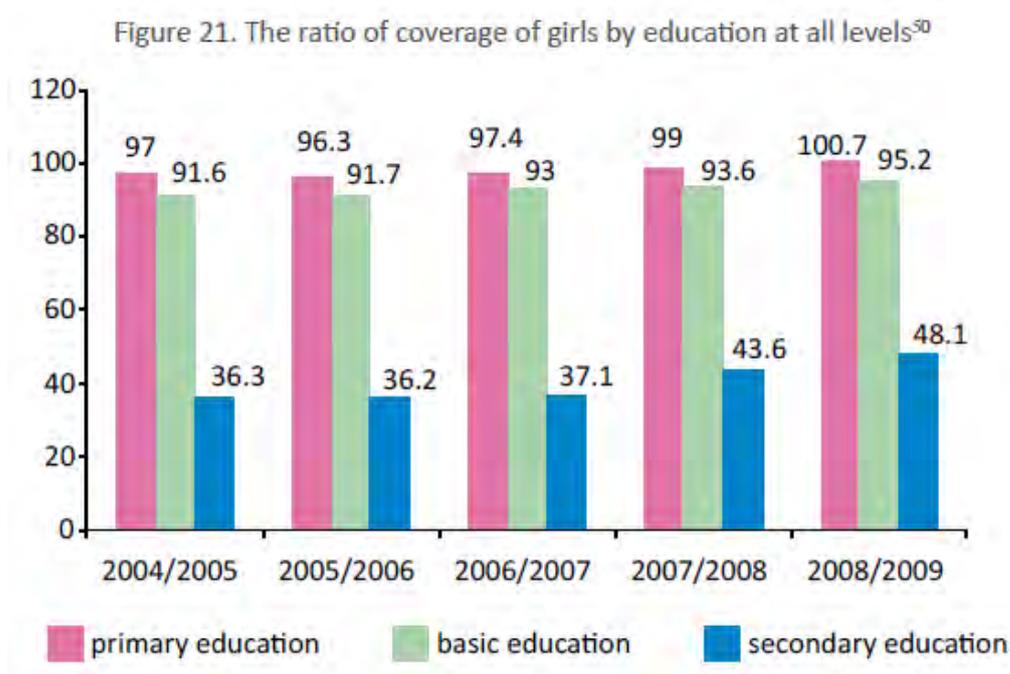
(4) 目標 3 : ジェンダーの平等推進と女性の地位向上

農村部の女性や女子が、社会的、経済的活動、及び教育の場に参加する機会は限られている。それは彼女達が家事労働や自作農の農作業に従事しているためである。農村部女性の 86%以上が農業部門で雇用されているが、そのうちの 53%以上が個人農場（Personal subsidiary plots）での農作業に従事している³⁸。

こうした女性達は家庭を支えるため、生活必需品と引き換えに自らの労働（裁縫、洗濯、野菜や果物の缶詰め作業等）を提供している。こうした形態の労働の増加により、女性が社会生活を営み、有給の職業に就業することが困難となっている³⁹。

政府による女性の教育水準向上政策は、十分な結果を出せておらず、2015年までに初等・中等教育におけるジェンダー格差を取り除くことはできないものと予測されている⁴⁰。

図表 34 女子の教育レベル比率



(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.51.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

³⁸ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2013年12月30日アクセス)

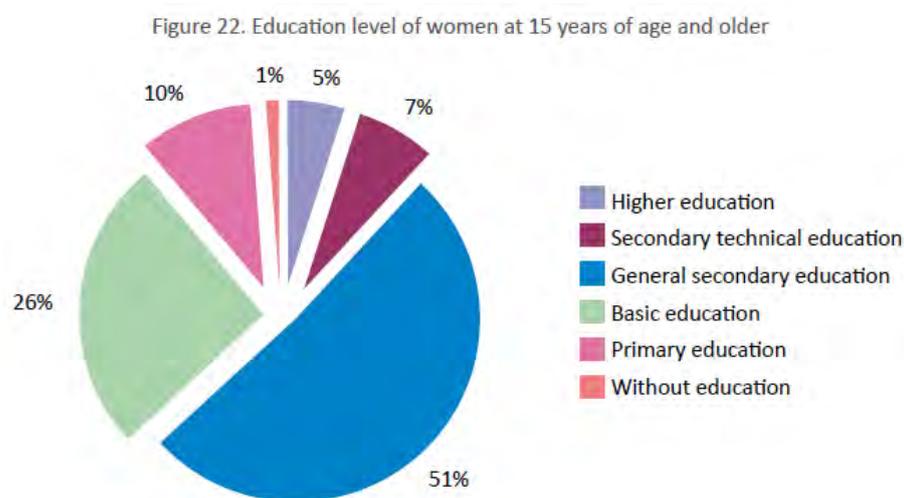
³⁹ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2013年12月30日アクセス)

⁴⁰ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.57.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2013年12月30日アクセス)

図表 35 15歳以上の女子の教育レベル



(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.55.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

農村部の女性の教育水準は、彼女達の経済的活動や雇用環境に大きく影響する。下記の表では農村部男性のみならず、都市部女性との格差も示されている。農村部女性の被雇用者の6.2%が初等教育のみを修了しており、1.2%はいかなる教育も受けていない。また、農村部の女性被雇用者のうち、高等教育を修了しているのはわずか3%のみである⁴¹。

図表 36 被雇用者の教育水準

Table 7. Education level of employed population (in %)

Education	Urban areas		Ural areas	
	Male	Female	Male	Female
Higher	29.0	20.9	10.6	3.0
Incomplete higher education	2.9	0.5	1.4	0.4
Specialized secondary education	9.1	16.9	8.3	5.1
Primary professional education	12.8	3.5	11.2	1.3
General secondary education	38.2	44.7	48.5	59.2
General basic education	7.1	9.7	15.7	23.6
General primary education	0.8	3.3	3.8	6.2
No general primary education	0.2	0.5	0.5	1.2
Total	100	100	100	100

(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁴¹ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2013年12月30日アクセス)

(5) 目標 4 : 児童死亡率の削減

タジキスタンの医療をめぐる状況について、不十分な医療インフラ、保健に対する国民の意識の低さ、医療サービスの質に関する適切な分析の不足など、様々な課題が存在する⁴²。

タジキスタンの乳幼児及び児童死亡率は高く、保健医療分野における重要な問題となっている。統計手法による要因も含まれるものの、近年においては多少の進歩・改善も見られ、乳幼児及び児童死亡率は減少傾向にある。しかしながら、乳幼児死亡率は依然高い状況にある⁴³。

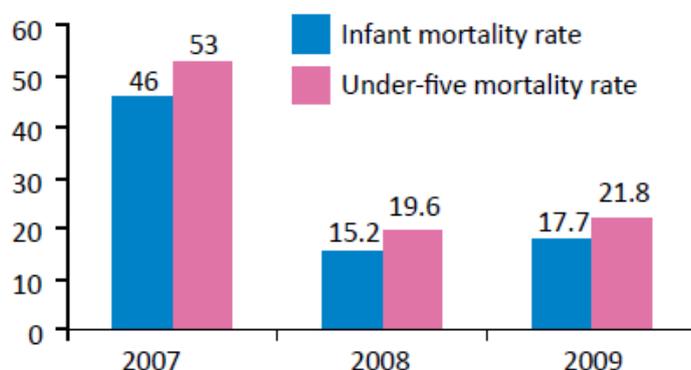
乳幼児の 70%以上は新生児期に死亡しており、主な死因は出生時の低体重や発達未熟である。タジキスタンにおいて、出生時に低体重で生まれる子どもの割合は 15%と高く、妊娠中の母体の栄養不足、妊娠中の不適切な医療、鉄欠乏性貧血、感染症等がその原因として挙げられている。また、感染症及び栄養不良は乳幼児死亡の主原因であり、感染症による死亡は 58%、栄養不良は 42%とそれぞれ高い値を示している⁴⁴。

(i) 5 歳未満児死亡率

2008 年には 5 歳未満児の死亡率（1,000 出生中）は 19.6 に減少し、2015 年までの目標の 3 分の 2 を達成したことになる⁴⁵。

図表 37 5 歳未満児死亡率及び乳幼児死亡率の推移（2000-2008 年）

Figure 30. Progress in reducing child mortality rate (per 1,000 live-births)



(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.69.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁴² UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.69.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁴³ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.72.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁴⁴ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.73.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

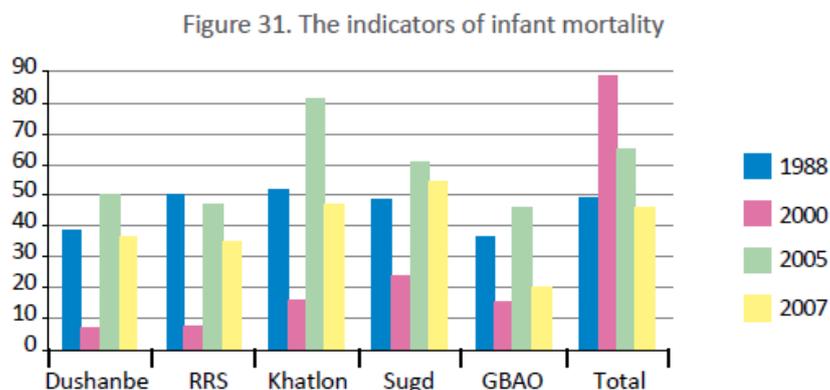
⁴⁵ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.69.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

(ii) 乳幼児死亡率

乳幼児死亡率は減少傾向にあるが、2005年調査で、乳幼児死亡率は1,000出生中65人であり、2000年の89人より減少しているものの、依然高い水準にある⁴⁶。

図表 38 地域別乳幼児死亡率（1,000出生中）（1988-2007年）



Source: MICS-2005, 2008 and the Tajikistan Living Standard Survey 2007

(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.72.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

この他に保健分野における問題のひとつとして蠕虫が挙げられる。年間2万例以上が報告されるが、その80%以上が15歳未満の子どもである。専門家や専門機関・設備設備が乏しく、当該分野に係る医療は特に農村部において不十分な状況にある⁴⁷。

(iii) 1歳未満児の予防接種率

2008年には、1歳未満児の94%が基本的な予防接種（麻疹、ジフテリア、ポリオ）を受けており、2015年までに100%の接種率を達成できると見込まれている⁴⁸。

⁴⁶ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.72.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁴⁷ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.72.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁴⁸ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.69.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

(6) 目標 5：妊産婦の健康の改善

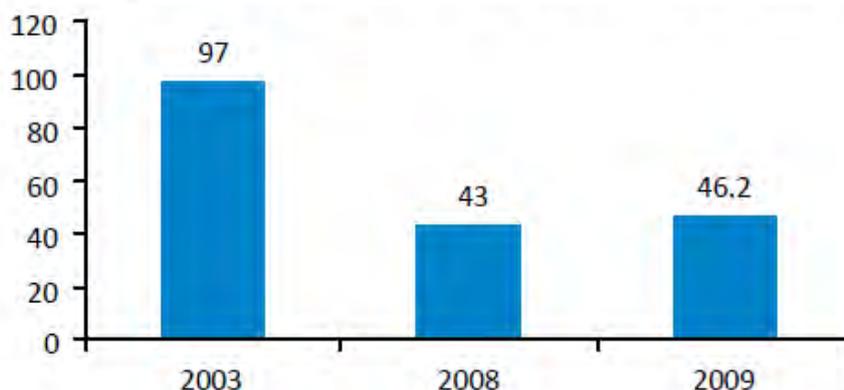
タジキスタン保健省によると、妊産婦死亡率は 10 万出生中 1990 年の 97.7 人から、2005 年の 33.2 人へと減少したものの、2009 年には 46.2 人と再度増加した。現状の妊産婦死亡率に関して問題視されているのは、危険を伴う自宅出産率の高さ（40-60%）である。妊産婦の出産前後の死亡については、不完全なリファールシステム、乏しい搬送手段（特に農村部）、救急産科医療（Emergency Obstetric Care (EOC)）への不十分なアクセスなどが要因として挙げられる。また、医療設備不足と合わせて、医療人材のキャパシティ、医療従事者の教育やスキル不足などの地域間格差も大きな原因である⁴⁹。

妊産婦の主たる死因は、産科的出血（32%）、高血圧障害（19.8%）、子宮破裂（6.2%）及び他の生殖器官疾患（23.4%）であり、これは専門家の立ち会いが行われておらず、また適切な医療設備が不足していることに起因しているが、これらは本来、事前の準備によって予防・対処可能な疾病である⁵⁰。

2005 年においてタジキスタン国内の婦人科医・産婦人科医 1,288 人のうち 231 人が産科病棟で医療従事していたが、地域によりその従事者数は大きく異なる。タジキスタン国内での患者数と婦人科・産婦人科医数の割合は 1 万人に対し 1.9 人であるが、ドゥシャンベでは 1 万人に対し 6.9 人、ハトロン州では最も少なく 1 万人に対し 0.8 人となっている⁵¹。

図表 39 妊産婦の死亡率の推移（10 万件中）

Figure 32. The progress of maternal mortality rate reduction (per 100,000 live-born)



(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.75.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁴⁹ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.76.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁵⁰ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.77.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁵¹ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, pp.77-78.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

(7) 目標 6 : HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延防止

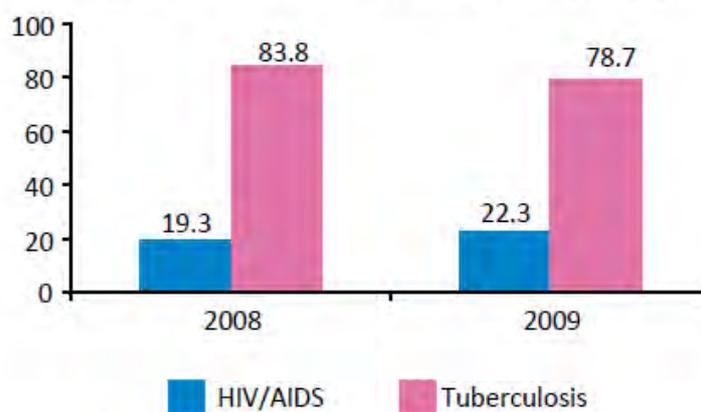
(i) HIV/AIDS⁵²

2010年6月1日時点のHIV感染者数は10万人当たり26.6人である。2008年には19.3人、2009年には22.3人で、罹患率は上昇傾向にある。しかしこれは登録者数の反映であり、実際にはタジキスタン国内の感染者は1万人程度と推定されている。主な感染経路は注射針によるもので、全体の55.2%を占め、そのうちの54.3%が麻薬注射、0.8%が輸血時の注射による感染である。性交による感染は28.1%である。妊婦のHIV感染者が初めて報告されたのは2005年で、2010年6月1日時点では137件報告されている。

政府は、特定のハイリスクを抱えるグループ(麻薬常用者(IDU)、男性間性交渉者(MSM)など)の間にHIV/AIDS感染が拡大しているとし、MDGsにおけるこの目標達成は困難であると見込んでいる。近年益々拡大している移住労働が、タジキスタン国内のHIV/AIDS感染者数増大の原因のひとつであるとされている。

図表 40 HIV/AIDS と結核の罹患率の推移 (10万人中)

Figure 33. HIV/AIDS and TB morbidity trends (per 100,000 population)



(出所) UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.81.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

(ii) 結核

結核に関連する状況はタジキスタン国内における健康問題のうち最も切迫した問題のひとつであり、国民の生活水準の低下とそれに伴う国内外への労働移住、そして高い水準の薬物耐性疾患等に関係しているとされている。政府は2010-2015年にかけて国家プログラムを組み、結核感染蔓延の抑制を試みているが、結核撲滅は困難な状況にある。特に刑務所内での状況は深刻であり、一般の水準と比較して15倍の罹患率、30倍の死亡率となっている。

⁵² UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, pp.81-86.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

いる⁵³。

(8) 目標 7 : 環境保護と開発

(i) 燃料資源と開発

タジキスタンの 2010 年の Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report は、タジキスタンの燃料資源を、比較的安全で再生可能であり、環境保護にも適しているとしている。主たるエネルギー源は水力である。現在の水力によるエネルギーシステムを基盤に石炭・石油製品を使用しても、今後環境破壊につながる懸念はほとんどないと見られている⁵⁴。タジキスタンには水力発電所としての使用に適している 2 つの河川があり、219 の小規模水力発電設備が既に稼働中で、更に 50 の施設が現在整備段階にある⁵⁵。

タジキスタン科学アカデミーは 2008 年、政府の認可のもとに再生可能燃料資源開発研究センター (Centre for Reseach and Use of Renewable Energy) を開設した。同センターは再生可能エネルギー (河川、太陽光、風力、バイオマス等) の研究に取り組んでいる⁵⁶。

図表 41 タジキスタン国内の再生可能な燃料資源 (mln.t/年)

Table 9. Renewable energy resources in Tajikistan, mln. t. in a year

Resources	Gross capacity	Technical capacity	Economic capacity
Hydro energy, total	179.2	107.4	107.4
Including small	62.7	20.3	20.3
solar energy	4790.6	3.92	1.49
biomass energy	4.25	4.25	1.12
wind energy	163	10.12	5.06
geothermal energy	0.045	0.045	0.045
Total (excluding large HPP)	5,020.595	38.635	27.955

Source: Centre for research and use of renewable energy sources, Academy of Sciences of the Republic of Tajikistan. 2010.

(出所) UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.98.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁵³ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, pp.86-89.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁵⁴ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.98.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁵⁵ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.98.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁵⁶ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.98.

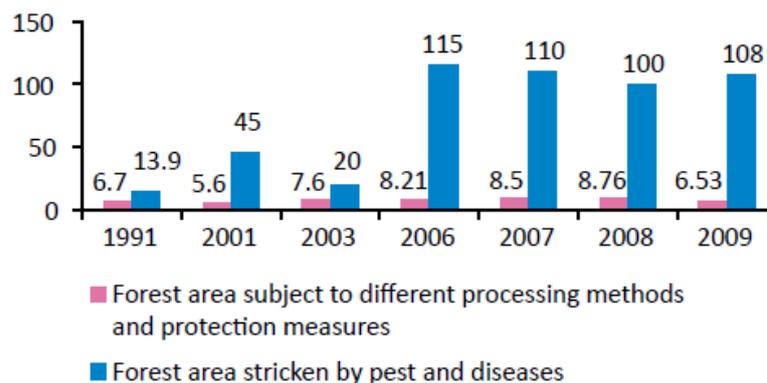
<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

(ii) 森林破壊・土壌の劣化

タジキスタンは近年、森林破壊の問題に直面している。水災害等による林道破壊の他、厳しい寒気とエネルギー不足により、燃料確保を目的とする森林伐採が進んだこともその原因である⁵⁷。

図表 42 破壊された森林面積と森林保護対象地帯（1000ヘクタール当り）

Figure 38. Forest area stricken by pests and diseases and subject to forest protection (thousand ha)



* According to data of the Committee for Environmental Protection under the Government of the Republic of Tajikistan, the dynamics of changing the area covered by forest is: 2007 – 411,000.ha; 2008 – 411,500 .ha; and 2009 – 412,000 ha.

(出所) UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.104.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

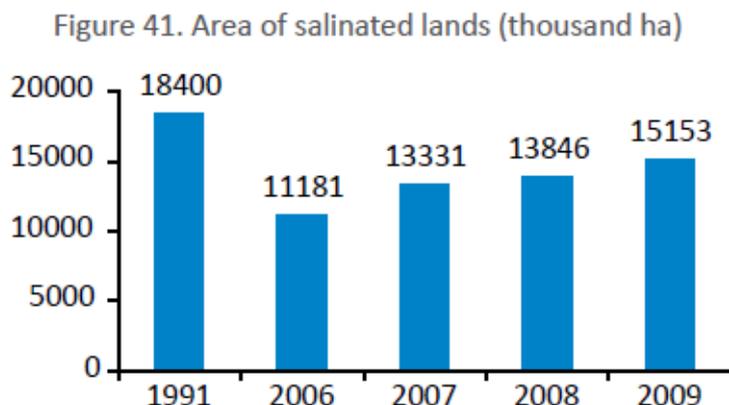
⁵⁷ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.104.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

タジキスタンにおける農業分野の停滞の原因として、農地が痩せていることが挙げられ、土壌の生産性低下、破壊、有機物の減少につながっている。

また、灌漑地の浸水や塩害が広がっている⁵⁸。

図表 43 塩分を含む土地の面積（千ヘクタール）



(出所) UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.106.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

その他、土壌の劣化の要因として、過度の放牧も挙げられ、牧草地の生産性も低下している⁵⁹。

(iii) 水資源

タジキスタンの2010年のMillenium Development Goals Tajikistan Progress Reportによると、タジキスタン保健省調査において、人口の58.1%が安全で飲料可能な水にアクセスできているが、そのうちの95.3%は主要都市の人口であり、農村部で安全かつ飲料可能な水にアクセスできている割合は32.1%と低くなっていることを指摘している。水道水を使用しているのは国民の約60%で、残りの40%の国民は、河川や運河、灌漑用水路からの水を直接使用しており、衛生上問題がある。62の都市、地域中心部や村落のうち、52の都市・村落に集中型上水設備があり、32の都市・村落に下水システムがある。ほぼ全ての上下水道のインフラ設備が老朽化しており、更新が必要な状態である⁶⁰。

⁵⁸ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.106.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁵⁹ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.106.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁶⁰ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*, pp.111-112

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

(9) 目標 8：開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

(i) 対外債務

他の旧ソ連諸国のように投資環境が十分に整っていないタジキスタンにとって、対外債務は非常に重要かつ必要な開発資金源である⁶¹。多国間対外債務ドナー、二国間対外債務ドナーではその援助性質も異なる。例えば小規模な多国間対外債務ドナーの場合、実際的な経済分野への投資というより、政治的・制度的改革に投じられる場合が多い⁶²。

図表 44 対外債務の構造（USD ベース）（1995-2008）

Table 11. External debt structure of the Republic of Tajikistan by type of creditor (in US\$)⁶²

(%)	1995	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
Multi-lateral debts	79.1	133.0	315.0	365.6	378.5	387.4	459.6	591.5	643.7	629.7	684.8	686.2
	10.4	15.9	32.0	36.0	37.0	39.0	45.0	68.0	72.0	73.0	61.0	50.
Bilateral debts	537.7	574.8	542.0	533.7	529.8	492.4	474.2	217.3	200.7	185.3	385.9	638.4
	70.4	68.8	55.0	52.0	52.0	50.0	46.0	25.0	22.0	21.0	35.0	47.0
Other debts	147.4	128.0	119.7	127.8	110.2	104.7	96.9	62.2	51.2	51.4	49.2	46.9
	19.2	15.3	12.0	12.0	11.0	11.0	9.0	7.0	6.0	6.0	4.0	3.0
Total	764.2	835.8	976.7	1027.1	1018.5	984.5	1030.7	871.4	894.9	866.3	1119.9	1371.4
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(出所) UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report* p.123.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

上記の表は、過去 15 年間のタジキスタンにおける多国間・二国間の対外債務の推移を示している。1995 年から 2008 年までの間に多国間債務の額は 8.7 倍、二国間債務額は 18.8% 増加した。二国間対外債務額は中国からの借入により 2006 年から 2008 年で 3.4 倍と著しく増加した。1995 年から 2008 年にかけて、タジキスタンの中国からの借入額は 530 万 USD から 4 億 9400 万 USD にまで増加した。さらに 2009 年から 2010 年のデータによると、中国からの借入額は 10 億 USD にまで達したとのことである。中国からの債務は、主要な幹線道路の建設、送電線設置、トンネル建設等のインフラ開発費用に充てられている。こうした融資は経済開発に極めて重要であるが、世界銀行や IMF、ADB 等の機関が行うような債務免除措置が取ることがないため、個別の国からの債務には注意が必要である⁶³。

⁶¹ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report* p.121. <http://www.undp.tj/files/WEB-MD-G-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

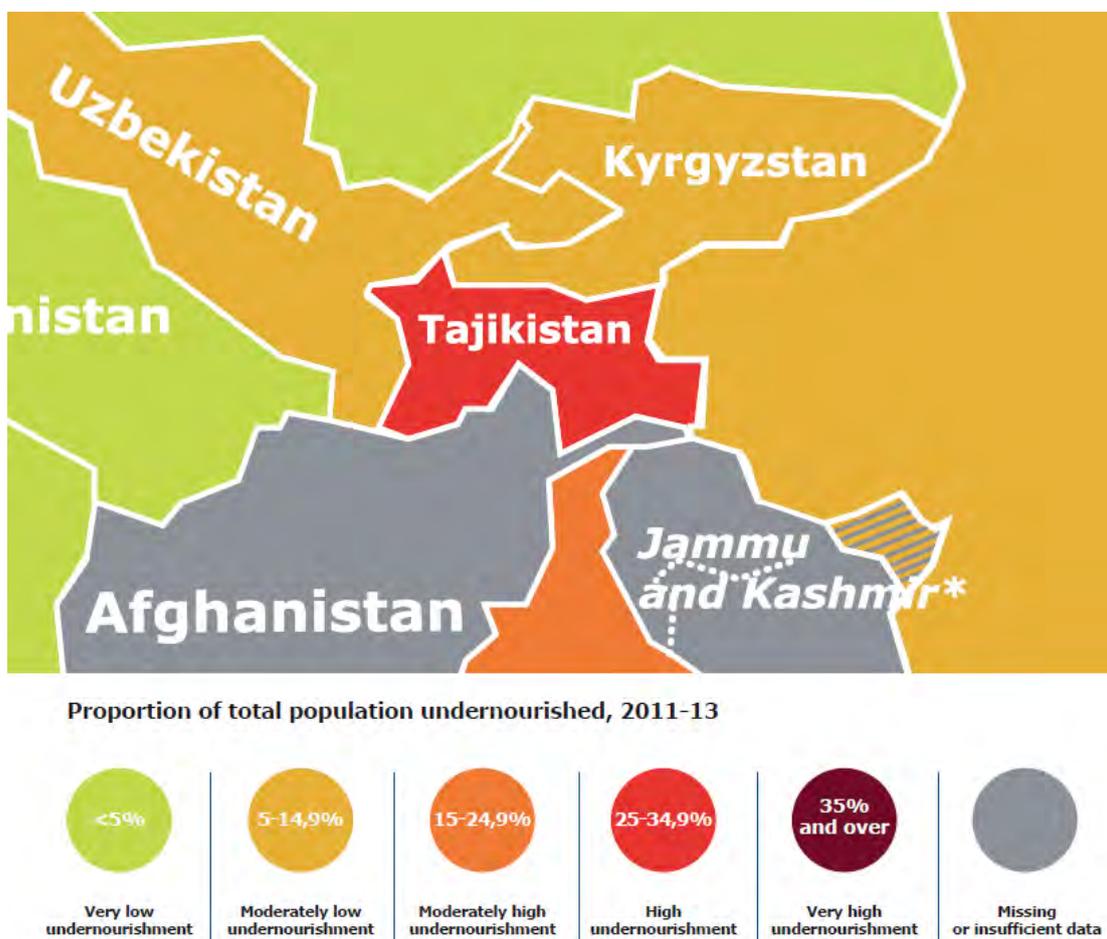
⁶² UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report* p.122. <http://www.undp.tj/files/WEB-MD-G-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁶³ UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report* pp.121-125. <http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

3. 食糧安全保障・脆弱性による分析

WFP の世界飢餓マップでは、タジキスタンは国民の 25%から 34.9%という高い水準で栄養不良にあるとしている⁶⁴。

図表 45 世界飢餓マップ (2013 年)



(出所) WFP (2013), *Hunger Map 2013*.

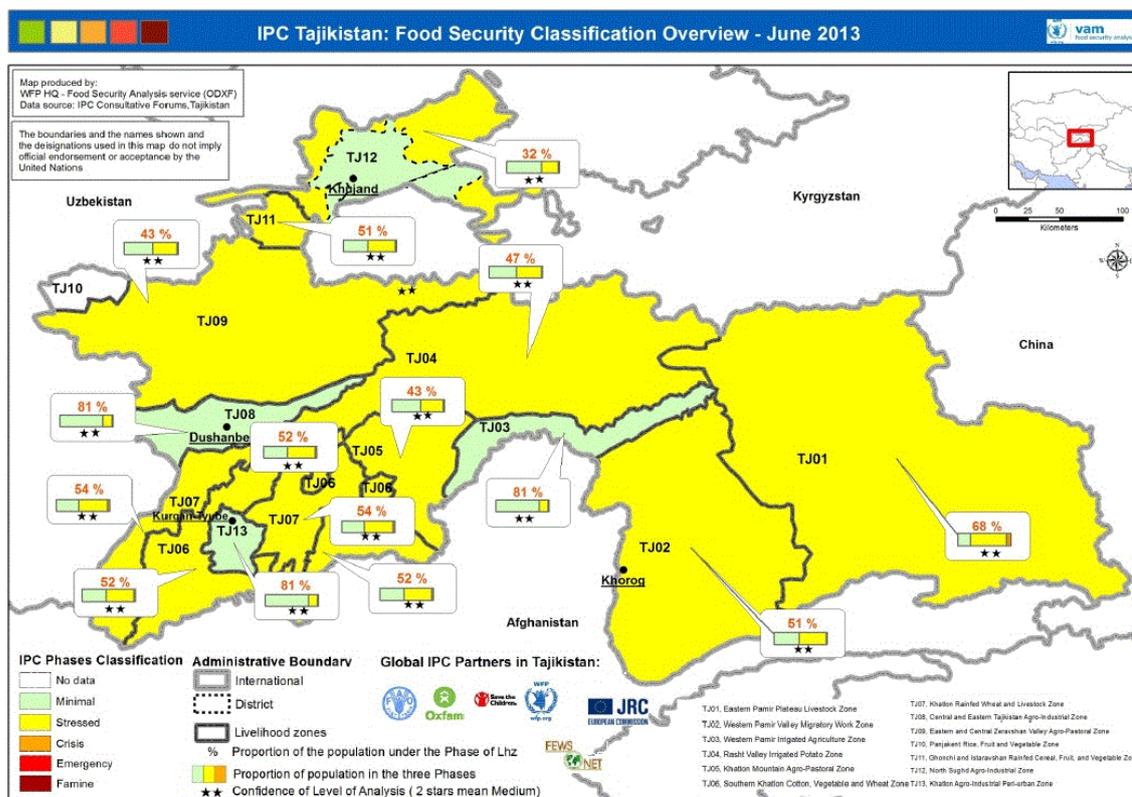
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/communications/wfp260272.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

WFP は 2013 年 1 月から 5 月にかけてタジキスタン国内の 11 地域を対象に、食糧安全保障に関する調査を実施した。調査では、食糧安全保障の観点から、最低限の食糧が確保されている最も軽微な第 1 段階の状態 (Minimal) から、最も深刻な第 5 段階の飢餓状態 (Famine) まで、5 つの段階に分類した。この結果、農村部居住人口の 3% (約 152,000 人) が第 3 段階 (Crisis)、39% (約 2,285,000 人) が第 2 段階 (Stressed)、残りの 58% (約

⁶⁴ WFP (2013), *Hunger Map 2013*, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/communications/wfp260272.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

3,371,000 人) が第 1 段階 (Minimal) の状況にあると分類された⁶⁵。

図表 46 タジキスタン食糧安全保障の概観 (2013 年 6 月)



(出所) WFP (2013), *IPC Tajikistan: Food Security Classification Overview-June 2013*, p.1.

<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp258721.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

概して、食糧安全保障の状況は 2012 年秋の前回調査より改善が見られ、食糧安全保障が脅かされている第 3 段階 (Crisis) から、食糧安全保障がやや脅かされている状態の第 2 段階 (Stressed) へと移行している。改善の要因になったのは、移住労働者の送金額の増加、適切な春季の降雨量、臨時雇用機会の創出等とされている⁶⁶。

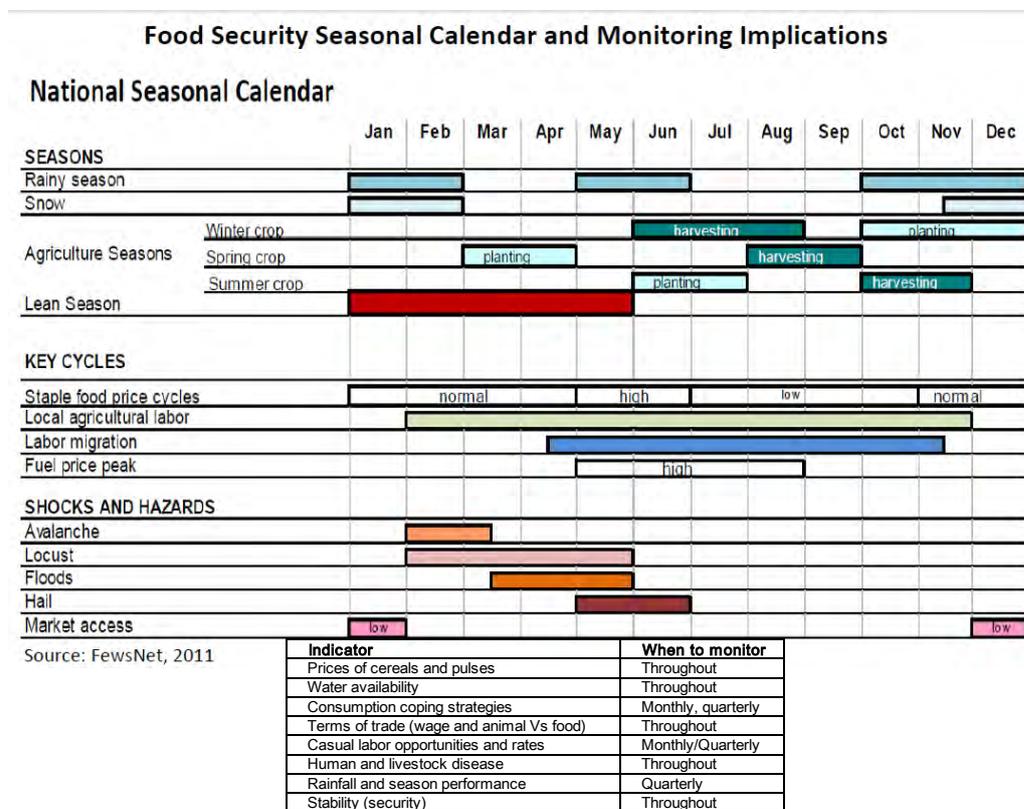
しかし、全般的なマクロ経済の発展にも関わらず、農村部に居住する貧困層の多くは、不安定な食糧事情や栄養不良の問題を抱えている。清潔な水や医療サービスへのアクセス困難、食料品などの物価高や燃料高、豪雨による青果物の生産高への影響、灌漑用水不足、肥料の不足又は高価な肥料に対する購買力不足等は、農村部の脆弱な貧困層の生活を困難にしている。移住労働者の送金はタジキスタン経済の成長に寄与しているが、送金収入以

⁶⁵ WFP (2013), *IPC Tajikistan: Food Security Classification Overview-June 2013*, p.2.
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp258721.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁶⁶ WFP (2013), *IPC Tajikistan: Food Security Classification Overview-June 2013*, p.2.
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp258721.pdf> (2014 年 2 月 17 日アクセス)

外に安定的な生計を立てることが困難な状態である⁶⁷。

図表 47 食糧安全保障の年間カレンダー及びモニタリング結果



(出所) WFP (2013), *IPC Tajikistan: Food Security Classification Overview-June 2013*, p.3.

<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp258721.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁶⁷ WFP (2013), *IPC Tajikistan: Food Security Classification Overview-June 2013*, p2
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp258721.pdf> (2014年2月17日アクセス)

タジキスタンの世帯の家計消費における食糧消費の割合は、多くの地域で 50%を超えている⁶⁸。

図表 48 世帯の家計消費における食糧消費の割合（2012 年上期-2013 年上期）

Table 10: Share of consumer expenditures for food
in the total structure of household expenditures (in %)

	1 st half of 2012	1 st half of 2013
Republic of Tajikistan	58,9	57,4
Urban	59,0	57,6
Rural	58,8	57,2
Regions		
Dushanbe	62,7	58,5
GBAO	65,2	63,9
Soghd oblast	47,0	49,8
Khatlon oblast	66,4	62,6
RRS	65,2	62,2
Vulnerable groups of population		
Households having 3 and more children	59,8	59,3
Pensioners	68,0	68,1

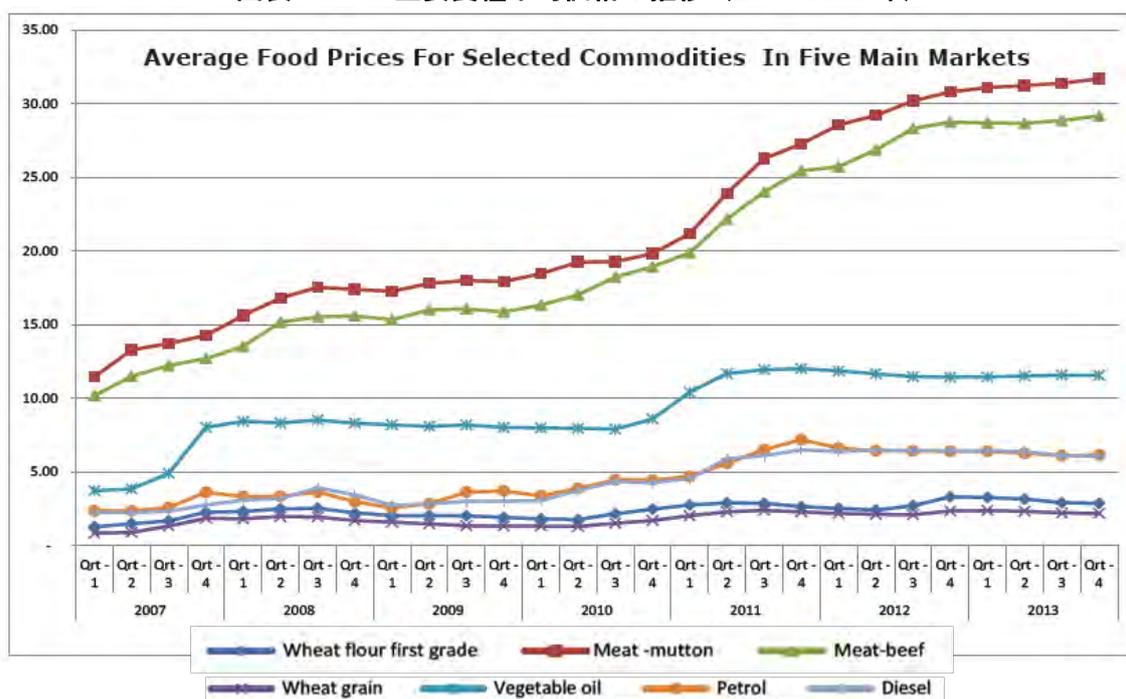
(出所) TAJSTAT (2013), *Food Security and Poverty No 2*, p.164.

http://www.stat.tj/en/img/c32cd2ad52fa0b4ef6f0ae632496f2cd_1380629116.pdf (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁶⁸ TAJSTAT (2013), *Food Security and Poverty No 2*, p.164. http://www.stat.tj/en/img/c32cd2ad52fa0b4ef6f0ae632496f2cd_1380629116.pdf (2014 年 2 月 17 日アクセス)

小麦粒や小麦粉の価格は2013年に入って安定はしたものの、依然高騰したままである。4月には前年同月の価格に比べ、小麦粉は31%、小麦粒は11%上昇した。地元産の小麦粉は、2012年4月の価格に比べ32%上昇、肉類は10%上昇している。こうした食糧価格の上昇は、移住労働者からの送金がなく、また農産物の生産を行っておらず市場からの食料品を購入せざるを得ない世帯にとって、特に厳しいものとなっている⁶⁹。

図表 49 5 主要食糧平均価格の推移 (2007-2013 年)



(出所) WFP (2013) Tajikistan Market Price Report November 2013, p.1.

<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp261413.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁶⁹ WFP (2013) *IPC Tajikistan: Food Security Classification Overview-June 2013*, p.1-3.
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp258721.pdf> (2014年2月17日アクセス)

V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析

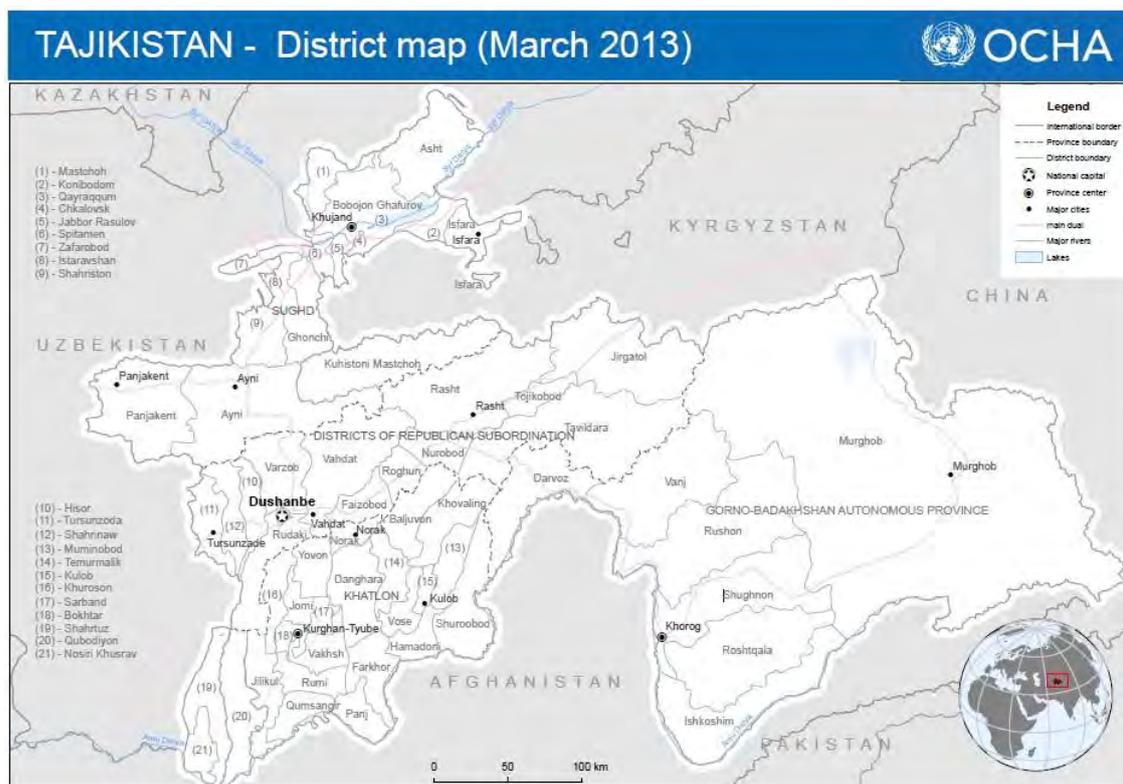
1. 社会的排除グループの存在と貧困指標の関係性

(1) 農村部・農民

2009年のタジキスタン統計局の調査においてタジキスタン政府は、国民の46.7%が貧困状態（poverty）にあり、13.8%が極度の貧困状態にあると発表している。つまり貧困状態にある層の3人に1人が深刻な貧困状態に置かれているということになる⁷⁰。

国土の約7%のみが経済活動に適した用地とされる中、タジキスタンの国民の約3分の2が農村部に居住し、農業にその生計を依存している。また、環境問題も持続可能な農業活動を脅かす要因であり、生物多様性の破壊や土壌の劣化は、農産物の生産高の減少をもたらし、結果、収入の減少につながるという図式である⁷¹。

図表 50 タジキスタン全土地図（再掲）



(出所) UNOCHA <http://reliefweb.int/map/tajikistan/tajikistan-reference-map-district-map-march-2013>

(2014年2月17日アクセス)

⁷⁰ TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), p.2. http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

⁷¹ UNDP and UNEP (2013), *Poverty and Environment Initiative (PEI) PHASE1 (May 2010-December 2012)*, p.1. <http://www.unpei.org/sites/default/files/PDF/TajikistanPEIProDoc-final-3May2010.pdf> (2014年2月17日アクセス)

タジキスタンには3つの州（ソグド、ハトロン、ゴルノ・バダフシャン自治州）と1つの政府直轄州（DRS）から成り、さらに首都ドゥシャンベは州と同じ行政的位置づけで直轄市である。

都市部と農村部では貧困の状況が異なっており、農村部で絶対貧困率が高くなっている。

図表 51 地域別の絶対貧困率（2009年）

**The poverty level in regions of the Tajikistan,
(based on household survey in 2009)**

	Total	Urban	Rural
In country	46.7	36.7	50.8
Dushanbe	19.1	19.1	-
Sughd	52.5	44.7	57.0
Khatlon	50.2	50.7	50.1
DRS	44.2	26.4	48.0
GBAO	34.5	38.0	33.5

(出所) TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan (based on research conducted in 2009)*, p.14.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

図表 52 地域別に見る極度の貧困率（2009年）

	全体	都市部	農村部
タジキスタン全体	13.8	9.5	15.6
ドゥシャンベ	2.6	2.6	-
ソグド	17.1	12.4	19.8
ハトロン	15.8	16.7	15.5
DRS	10.8	3.2	12.5
GBAO	6.0	5.0	6.3

(出所) TAJSTAT (2009), *Анализ бедности в Республике Таджикиста (на основе проведенного*

обследования уровня жизни 2009 года) http://stat.tj/ru/img/2120319ae55295cdb0738831fc587e0f_1293262109.doc p.16. (2014年2月17日アクセス)

タジキスタン統計局の調査によると、2013年上期の各世帯の家計消費における食糧消費の割合は、2012年上期比で、都市部が1.4%、農村部で1.6%減少した。なお、国全体の家計消費における食糧消費の割合は国全体で57.4%である⁷²。

図表 53 世帯の家計消費における食糧消費の割合（2012年上期-2013年上期）（再掲）

**Table 10: Share of consumer expenditures for food
in the total structure of household expenditures (in %)**

	1 st half of 2012	1 st half of 2013
Republic of Tajikistan	58,9	57,4
Urban	59,0	57,6
Rural	58,8	57,2
Regions		
Dushanbe	62,7	58,5
GBAO	65,2	63,9
Soghd oblast	47,0	49,8
Khatlon oblast	66,4	62,6
RRS	65,2	62,2
Vulnerable groups of population		
Households having 3 and more children	59,8	59,3
Pensioners	68,0	68,1

(出所) TAJSTAT (2013), *Food Security and Poverty No 2*, p.164. http://www.stat.tj/en/img/c32cd2ad52fa0b4ef6f0ae632496f2cd_1380629116.pdf (2014年2月17日アクセス)

注) 上記用語について、oblast は州を、RRS は DRS を意味する。

⁷² TAJSTAT (2013), *Food Security and Poverty No.2 -2013*, p.164. http://www.stat.tj/en/img/c32cd2ad52fa0b4ef6f0ae632496f2cd_1380629116.pdf (2014年2月17日アクセス)

タジキスタン統計局の調査によると、2009年の世帯別の平均月収及び月間の支出は、以下の通りである。全体の平均月収が 235.2TJS、平均月間支出が 240.3TJS と、支出が収入を上回っている。ドゥシャンベは平均月収も支出も高く、ハトロン州やゴルノ・バタフシヤン自治州は平均月収、支出ともに低い。政府直轄州を除くほとんどの地域で、支出が収入を上回っている⁷³。

図表 54 世帯別平均月収（2009年世帯調査）（単位：TJS）

Annex 2.

**Monthly income of every household in average
(based on household survey 2009)**
(in somoni)

Total	235,2
Dushanbe	324,3
Suhgd	236,4
Khatlon	193,1
DRS	263,5
GBAO	210,5

(出所) TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), p.8.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

図表 55 世帯別平均月間消費支出額（2009年世帯調査）（単位：TJS）

Annex 3

**Monthly expenditures of every household in average (based on
household survey in 2009)**
(in somoni)

Total	240,3
Dushanbe	401,3
Sughd	241,0
Khatlon	201,5
DRS	201,3
GBAO	218,0

(出所) TAJSTAT(2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), p.8.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

⁷³ 国民が、収支の差額をどのように補っているかは不明である。なお、UNDPの報告では、タジキスタンの統計について、インフォーマルな経済活動あるいは違法行為によって得る所得が存在しているにもかかわらず、所得の状況を適切に捕捉することが困難なために、過小に見積もられる傾向があることを指摘している。(出所) UNDP (2013), *Social Protection, Growth and Employment (Evidence from India, Kenya, Malawi, Mexico and Tajikistan)* p.191. http://www.undp.org/content/dam/undp/library/Poverty%20Reduction/Inclusive%20development/Social%20protection.%20growth%20and%20employment/Draft8_SPG&E_web.pdf (2014年2月17日アクセス)

図表 56 世帯別月間平均食糧支出額（2009年世帯調査）（単位：TJS）

Monthly expenditures of every member of household for food in average
(based on household survey in 2009)

(in somoni)

Total	149,3
Dushanbe	257,6
Sughd	138,1
Khatlon	132,6
DRS	127,0
GBAO	141,2

(出所) TAJSTAT(2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), p.8.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

図表 57 食糧を除く世帯別平均月間支出額（2009年世帯調査）（単位：TJS）

Monthly expenditures of every member of household for non food items in average
(based on household survey in 2009)

(in somoni)

Total	57,3
Dushanbe	87,4
Sughd	63,1
Khatlon	46,5
DRS	47,0
GBAO	45,0

(出所) TAJSTAT(2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), pp.9-10.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

タジキスタン農村部の特徴として、農村地域での人口の増加と剰余労働力の発生により、いわゆる「オランダ病」が発生していることが挙げられる。農村部では、1世帯当たりの子どもの数が多く、非農業分野で労働に従事するだけの技術を有する者も少ない。「オランダ病」は農村部に端を発しており、国外への移住労働者からの送金をもたらす多額のキャッシュ流入が関係している。タジキスタンからの移住労働者の73%は農村部出身者であると推計されている。農村では、こうした状況に徐々に慣れ、若年層、女性、高齢者などが個人農場等における主要な労働力となっているが、現金があればマーケットで食料品を購入した方が良く考える者も多くなっている。このような考え方は一般に農村部で見られる現象であり、こうして作物の市場性は低下していく⁷⁴。

図表 58 消費支出割合指数（2009年世帯調査）（単位：TJS）

Attachment 5

Consumer expenditure weights (based on household survey in 2009, by percentage)

	Total	Urban	Rural
Expenditure, total	100,0	100,0	100,0
For example:			
Expenditure for food items (including beverages)	62,1	59,5	64,7
Expenditure for non food items	23,8	25,0	22,7
Expenditure for services	14,0	15,5	12,6

(出所) TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), p.11.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

(2) 女性

2010年のMDGsの中間報告において、タジキスタンにおける貧困は女性の問題と密接であることが指摘されている。報告書によると、国外に居住している移住労働者の90%が男性である。このため、国内の失業者の大部分は女性となっている。また、女性は男性に比べ教育水準やスキルが低いため、就業機会を得ても所得が低い。未婚の女性及び子どもを多く抱える女性が世帯主である家庭は、より貧困に陥りやすい⁷⁵。

⁷⁴ UNDP (2010), Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report, p.17. <http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁷⁵ UNDP (2010), Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report, p.16.

図表 59 就労者の教育水準（％）

Table 7. Education level of employed population (in %)

Education	Urban areas		Ural areas	
	Male	Female	Male	Female
Higher	29.0	20.9	10.6	3.0
Incomplete higher education	2.9	0.5	1.4	0.4
Specialized secondary education	9.1	16.9	8.3	5.1
Primary professional education	12.8	3.5	11.2	1.3
General secondary education	38.2	44.7	48.5	59.2
General basic education	7.1	9.7	15.7	23.6
General primary education	0.8	3.3	3.8	6.2
No general primary education	0.2	0.5	0.5	1.2
Total	100	100	100	100

(出所) UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

農村部の女性の教育水準は、その経済活動や就業状況に大きく影響を及ぼしている。上記の表では、男性との比較におけるジェンダーの問題だけではなく、都市部女性との教育レベルの格差も表れている。就業中の農村部の女性 6.2%が初等教育のみを修了し、1.2%はいかなる教育も受けていない。また、高等教育を修了しているのはわずか 3%のみである⁷⁶。

農村部の女性や女子は、教育、社会、経済活動分野に参加する機会が限られている。それは、彼女達が日々の家事労働に追われ、個人農家における農作業に従事しているためである。農村部女性の約 86%以上が農業に従事しているが、そのうちの 53%以上は個人農場での農業に従事している⁷⁷。

農村部の女性は、こうした女性達は家庭を支えるため、自らの労働（裁縫、洗濯、野菜や果物の缶詰め作業等）を提供し、その労働力と引き換えに生活必需品を得て世帯を支えている。これらの労働負荷はますます彼女達を有償就労や社会生活から遠ざける原因となっている⁷⁸。

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁷⁶ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁷⁷ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

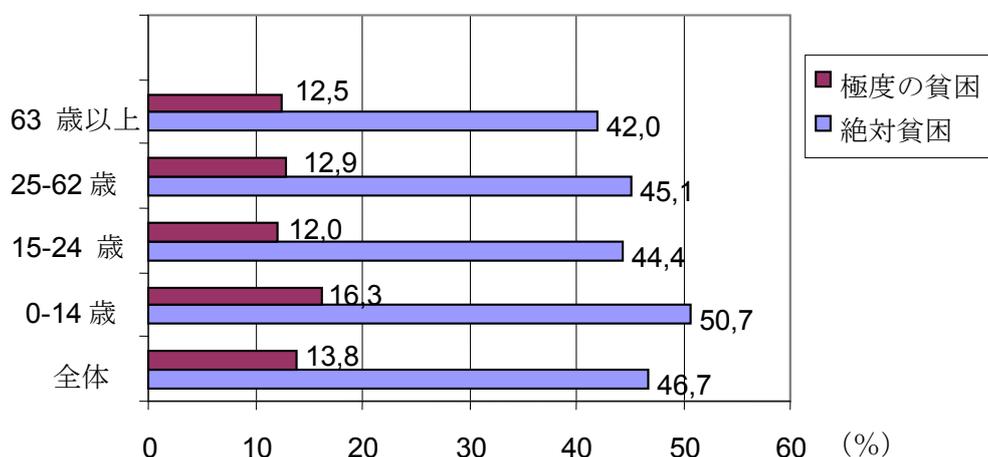
⁷⁸ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.56.

<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

(3) 若年層

Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report によると、タジキスタン統計局の調査において、国全体の子どもの絶対貧困率は 50.7%と高く、都市部より農村部の方が深刻である。農村部では子どもの数が高いが、世帯において資格や技術を有する人材が少ない傾向が見られる。地方の世帯は構成員が多いにもかかわらず、都市部の小規模な世帯よりも収入が少ない状況にある。一方で、極度の貧困については逆のトレンドが見られる。都市部の子どもの方が、農村部よりも極度の貧困状態に陥る割合が高い。極度の貧困にある子どもは国全体で 16.3%、都市部では 21.2%、農村部で 18.6%である。これは、都市部の方が農村部よりも離婚率が高いことに起因するものである。両親の離婚後、収入の少ない母親に引き取られ育てられることにより、子どもが極度の貧困に陥ることによる⁷⁹。

図表 60 世代別に見る貧困ライン以下の人口



(出所) TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan* (based on research conducted in 2009), p.4.

http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf (2014年2月17日アクセス)

MDGs 中間報告によると、若年層の失業率も深刻であり、専門家により諸説あるが、概ね 30%から 59%の若年層が失業していると言われている⁸⁰。

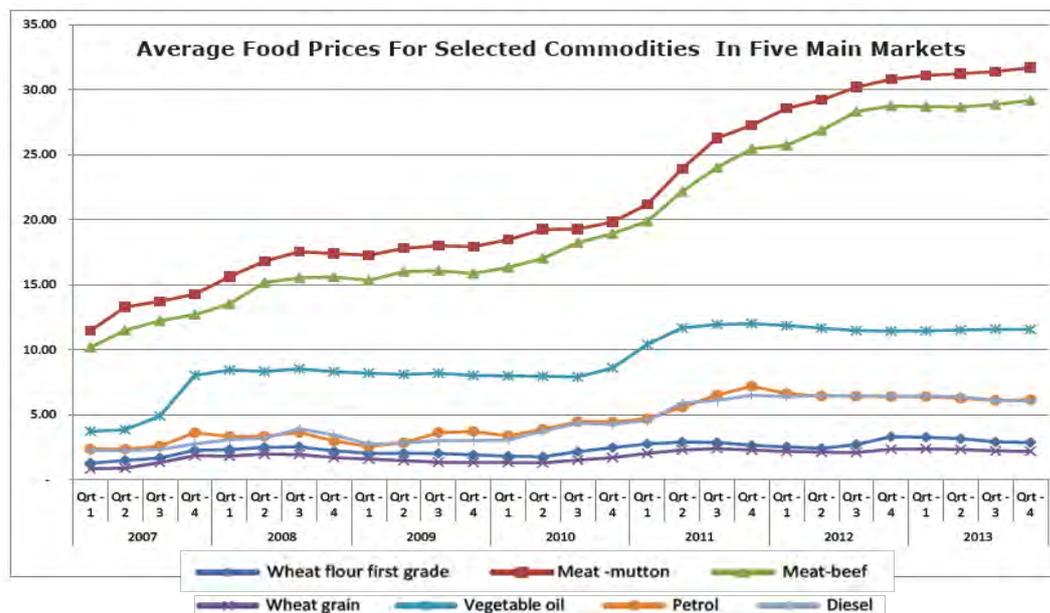
⁷⁹ UNDP (2010), Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report, p.17.
<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁸⁰ UNDP (2010), Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report, p.118.
<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

2. その他の要因と貧困との関連

WFP は、タジキスタン国内の主要5都市（ドゥシャンベ、クルガンチュベ、フジャンド、ガルム、ホログ）において、食糧・燃料価格のモニタリングを毎週実施している⁸¹。

図表 61 5主要食糧平均価格の推移（2007-2013年）（再掲）



（出所）WFP (2013), *Tajikistan Market Price Report November 2013*, p.1. <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp261413.pdf>（2014年2月17日アクセス）

2013年10月の小麦粉の価格は前年同月に比べて値下がり傾向にあり、国内生産とカザフスタンからの比較的安価な輸入小麦があることから、短期的には安定もしくは更なる値下がりが予測されているが、2013年から2014年冬には需要が伸び、価格が上昇すると見込まれている。冬場は特にへき地へのアクセスが困難となり輸送費が上昇し、そうした地域では、小麦粉、食用油、じゃがいも等の市場価格への影響も予想されている⁸²。

燃料に関しては、ロシアの石油の輸出関税が一時的に廃止されたことで、理論上、輸入価格は20%値下がりし、2013年12月から関税廃止後の価格が反映されるものと見込まれている。その場合、1リットルあたり従来の6.20TJS (1.27 USD) から5TJS (1.02 USD) となることが想定されるが、燃料に対する増税を財務省が認めた場合には、関税廃止の小売価格への影響は限定的になるとの見方がされている。2013年11月の調査報告の見解では、市場での食糧調達の需要が増大する冬場は、主食である小麦類の価格は上昇するであろうとの見込みである⁸³。

⁸¹ WFP(2013), *Tajikistan Market Price Report November 2013*, p.1 <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp261413.pdf>（2014年2月17日アクセス）

⁸² WFP(2013), *Tajikistan Market Price Report November 2013*, p.3 <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp261413.pdf>（2014年2月17日アクセス）

⁸³ WFP(2013), *Tajikistan Market Price Report November 2013*, p.3 <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp261413.pdf>（2014年2月17日アクセス）

VI. 貧困に影響を与えている短期的・長期的要因・リスク等

1. 短期的・長期的要因、リスクとショック（経済、社会、環境、紛争等）

(1) 紛争・安全保障

1991年9月のソ連からの独立後、タジキスタンは深刻な社会経済的危機に直面した。国内情勢は民族、地域、政治的緊張により混乱をきたし、さらには分離主義者（世俗主義者）と親イスラム伝統主義者との内戦にまで発展した。その後、反政府主義者の多くは隣接するアフガニスタンへと越境し、タジキスタンとアフガニスタンの国境付近で紛争が続いていた。1993年半ばまでに総人口600万人のうち、5万人もの市民が殺害され、60万人が国内での避難生活を余儀なくされ、6万人が北アフガニスタンへ、その他、多くの国民が近隣のCIS諸国へと避難した⁸⁴。

この内戦はタジキスタン経済発展を更に後退させることとなった。タジキスタン経済は2000年代後半にはソ連時代の水準まで回復し、GDPも上昇したが、貧困は依然深刻で、ヘルスケア、教育、輸送、エネルギー等、各部門の基礎インフラの復旧がタジキスタン政府の喫緊の課題となっている⁸⁵。

この事態解決の為、ロシア、カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタン、そしてタジキスタン政府は、1994年9月に開かれた会議で「タジキスタンにおけるCIS合同平和維持部隊」（CIS Collective Peacekeeping Forces in Tajikistan）⁸⁶の創設を決定した。この部隊の主たる任務は、タジキスタンの国内情勢の安定を目的とした、タジキスタン・アフガニスタン間国境問題の正常化促進及び関係国による対話促進、並びに緊急支援と人道支援、難民の安全な帰還、インフラ設備の保全等である⁸⁷。

⁸⁴ Tajikistan-UNMOT Backgraoud <http://www.un.org/Depts/DPKO/Missions/unmot/UnmotB.htm> (2014年2月17日アクセス)

⁸⁵ CRS:Tajikistan: Recent Development and U.S. Interest pp.1-2. <https://www.fas.org/spp/crs/row/98-594.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁸⁶ Tajikistan-UNMOT Backgraoud <http://www.un.org/Depts/DPKO/Missions/unmot/UnmotB.htm> (2014年2月17日アクセス)

⁸⁷ Tajikistan-UNMOT Backgraoud <http://www.un.org/Depts/DPKO/Missions/unmot/UnmotB.htm> (2014年2月17日アクセス)

(2) 環境問題⁸⁸

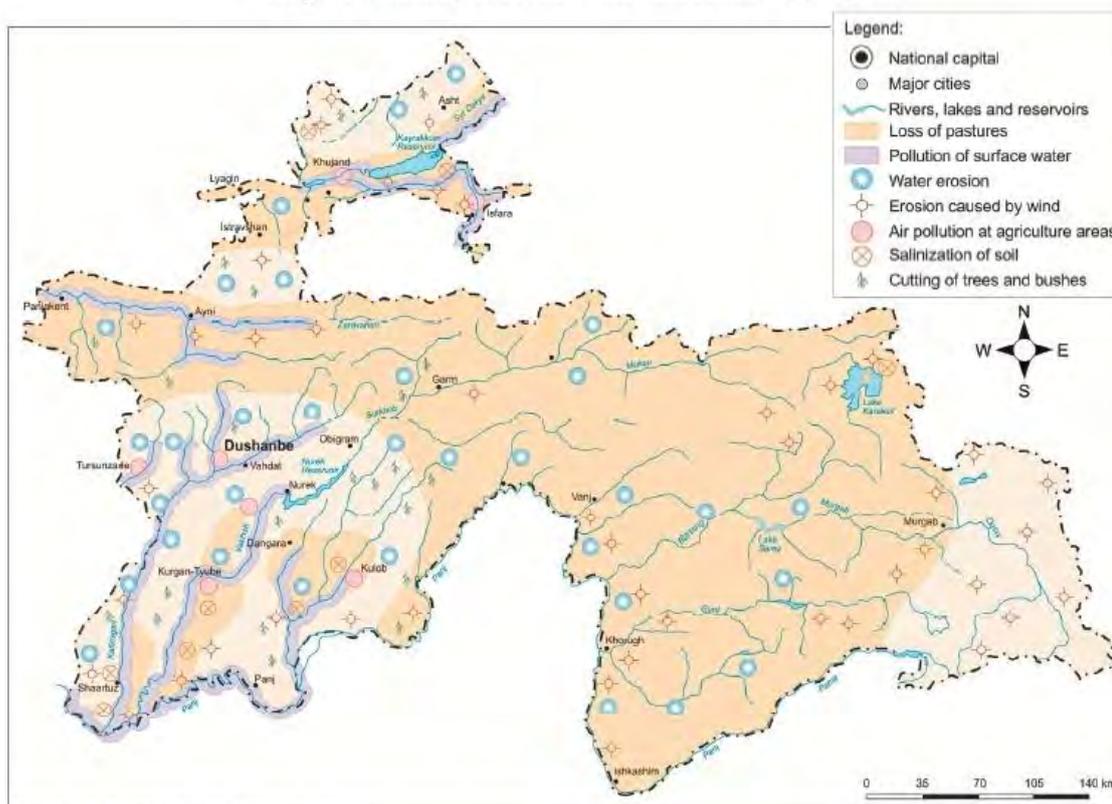
タジキスタンの水資源は豊富であるが、以下に示されているように、自然環境破壊・被害が広がっている。

タジキスタンでは、合法・非合法の森林伐採や、過度の放牧による牧草地の牧草等の減少により、洪水等の災害のリスクが年々高まっている。伐採等を行うことで森林の保水力は弱まり、洪水や干ばつの影響をより受けやすくなる。イスカンドルクル湖は水銀汚染によって魚が住めない状態となっている。こうした汚染の大半は人為的なものによる。洪水による浸食により濁度が上昇し、汚染物質は水源に蓄積することになる。

また地域の灌漑用水路においても、家庭からの一般廃棄物や排水が流れ込み、水質汚濁の原因になっている。その他、農業や工業の環境や気候の変化に伴って生じた土壌の侵食や塩害等も問題となっている。

図表 62 水質汚染と関連分野の活動マップ

Map 7.1: Pollution of surface water and related activities



Source: School Atlas Tajikistan, 2004.

Note: The boundaries and names shown on this map do not imply official endorsement or acceptance by the United Nations.

(出所) UNECE (2012), *Tajikistan Environmental Performance Reviews, Second Review*, pp109-113.

http://www.unece.org/fileadmin/DAM/env/epr/epr_studies/TajikistanII.pdf (2014年2月17日アクセス)

⁸⁸ UNECE (2012), *Tajikistan Environmental Performance Reviews, Second Review*, pp109-113. http://www.unece.org/fileadmin/DAM/env/epr/epr_studies/TajikistanII.pdf (2014年2月17日アクセス)

VII. 重点支援分野と貧困の関わり

1. 地方開発

タジキスタンには山岳地帯の内陸部に位置し、自然災害や国外の経済情勢に非常に影響されやすく、CIS 諸国中でも最貧国である。洪水や地滑り、地震や干ばつなどの影響を受けやすく、また耕作可能面積はわずかに国土の約 7% である⁸⁹。

タジキスタンの農村部の農家は、近年農業や畜産を営む上で、天候不順による不作や、収穫高の減少に伴う種子不足など、困難に直面している。一般に流通し店舗で販売される物品は高額であるため、購入することも困難である。特にハトロン州で深刻な状況にある⁹⁰。

(1) 農業と農村開発

(i) 移住労働と世帯の概況

タジキスタンにおいて移住労働は、独立後に発生した比較的新しい現象である。急速な人口増加や、労働市場の限界により、国内または国外への移住労働が行われている。海外への移住労働が大規模に行われる要因として、労働市場における賃金が国内と国外とで著しくかい離していることが挙げられるが、この背景には、若年世代の失業と貧困が深刻な状況にあること、経済構造の変化により既存の雇用が崩壊していること、貧困層と富裕層とに両極化し社会が階層化していることなどの現象が存在する⁹¹。

タジキスタンにおける移住労働は、プラスとマイナスの両面の影響をもたらしており、プラスの要因として、余剰となっている労働者が国外へ移住労働によって、国内の労働者の失業率の減少や、海外送金を受け取る世帯による消費や貯蓄の増加に寄与している。一方で、マイナス要因として、海外送金による外貨の大幅な流通によって生活必需品の安定的な国内生産が困難になるという課題が挙げられている⁹²。その他、世界金融危機などの外部の要因の影響を受けやすく、送金の減少により食糧・燃料等の確保が困難となることも指摘されている⁹³。

タジキスタンの女性は、夫の移住による不在が心理面及び移住後の責任の増大（例えば子育ての負担の増大、高齢の家族の扶養及び世帯の生活の維持など）といった面で困難であるにも関わらず、前向きに夫の移住労働を受け止めている。移住労働者の家族である多くの女性は、夫の仕送りなしでの生活は極めて困難である。また、女性が低賃金重労働の農業労働以外のまともな仕事に就くのは非常に難しい。このため、零細事業・個人事業主

⁸⁹ World Bank, *Tajikistan: Investing in People to Reduce Poverty and Raise Living Standards*, <http://www.worldbank.org/en/results/2013/04/08/tajikistan-investing-in-people-reduce-poverty-raise-living-standards> (2014年2月17日アクセス)

⁹⁰ World Bank, *In Tajikistan: Empowering Rural Households to Farm Sustainably*, http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/ECAEXT/0,,contentMDK:23311650~pagePK:146736~piPK:146830~theSitePK:258599_0.html (2014年2月17日アクセス)

⁹¹ TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.1. <http://www.stat.tj/img/en/EngGender/migration.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁹² TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.1. <http://www.stat.tj/img/en/EngGender/migration.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁹³ UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report*, p.10. <http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf> (2014年2月17日アクセス)

として働くことを選択する女性が多い⁹⁴。

タジキスタン政府移民局によると、2012年の移住者数は877,335人で、そのうち女性は124,007人（14.1%）である。移住先はロシアが808,664人と最も多く、その数は移住労働者全体の約92.1%である⁹⁵。

図表 63 移住労働者の主な移住国

Countries	Total migrants	Of them women
Russia	808664	101557
Kazakhstan	6899	2057
Kirgizia	9330	2391
Ukraine	1127	415
Uzbekistan	11027	7352
Afghanistan	5556	1028
Iran	6198	881
Turkey	6354	1958
China	14076	3733
Germany	1378	440
Arab Countries	6726	2195

(出所) TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.1.

<http://www.stat.tj/img/en/EngGendermigration.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁹⁴TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.1. <http://www.stat.tj/img/en/EngGendermigration.pdf> (2014年2月17日アクセス)

⁹⁵TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.2. <http://www.stat.tj/img/en/EngGendermigration.pdf> (2014年2月17日アクセス)

タジキスタン統計局によると、2009年の世帯調査（3,133世帯を対象とする標本調査）では、2007年以降、国内外に移住した者のうち、9割以上が労働を目的にしている⁹⁶。

図表 64 移住者の移住目的（国内外）（％）

Reason for being away	All	External	Internal
Earn (more) money	93.9	96.3	59.8
Better use of own competence	0.3	0.2	1.7
Study	2.9	1.7	20.5
Marriage	0.3	0.3	0.4
Vacation or family matters	0.7	0.7	0
Other	1.9	0.7	17.6
Total	100.0	100.0	100.0

（出所）TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*, p.8. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc（2014年2月17日アクセス）

一般的な移住労働者の教育水準は、中等教育終了程度である。移住労働者は、タジキスタン国内に留まる者に比べると、比較的教育水準の高い傾向が見られる。移住労働者は、男性は建設労働者、左官、ペンキ塗り職人、女性は家政婦、店舗販売員、ウェイトレスとして就業するのが一般的である⁹⁷。

図表 65 移住労働者及びそうでない者の教育水準（％）

Highest educational level	Labour migrants	Others
No completed education	0	15
Primary education	1	17
Basic general, incomplete	12	17
Secondary general, complete	62	28
Primary vocational	8	7
Secondary vocational	7	7
Higher professional	11	10
Post-higher education	0,2	0,3
Total	100	100

（出所）TAJSTAT, *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*, p.20. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc（2014年2月17日アクセス）

⁹⁶TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.8. http://www.stat.tj/img/en/EngGender_migration.pdf（2014年2月17日アクセス）

⁹⁷TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*, pp.11-20. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc（2014年2月17日アクセス）

また、仕送りを受けている世帯の 68%が 1 人の移住労働者から、26%が 2 人から、6%が 3 人以上の移住労働者からの仕送りを受けている。仕送りの大部分は日常生活必需品への支出に充てられている⁹⁸。

図表 66 仕送りの使途

Use	%
Daily consumption	94
Special occasions (marriage, funeral, etc.)	13
Durable goods (car, TV, etc.)	7
Buy house, apartment or land for dwelling	3
Investment in agriculture	1
Investment in business	0
Education/studies	11
Repayments of loan	7
Saving	2
Other use	2

(出所) TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*, p.14. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc (2014 年 2 月 17 日アクセス)

図表 67 仕送りの頻度 (2009 年)

	%
Once	10
2-4 times	59
5-9 times	27
10+	4
Investment in agriculture	100

(出所) TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*, p.15. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc (2014 年 2 月 17 日アクセス)

⁹⁸ TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*, p.14. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc (2014 年 2 月 17 日アクセス)

同調査において、世帯の69%が海外への移住労働者を抱え、63%が移住労働者から仕送りを受け取っている。なお、家族以外の親戚からの仕送りを含めると全世界帯の66%となる。15歳以上の移住労働者を家族に含む世帯の収入は、移住労働者を含まない世帯よりも収入が28%高い傾向にあり、その世帯収入の57%が海外に労働移住している家族からの仕送りである。労働移住者を抱える世帯の収入の57%以上が、海外送金収入である。労働移住者がタジキスタン国内に残り就労したとしても、その収入は海外で得られるほどの収入よりもはるかに少なく、また厳しい雇用競争にさらされることが想像される⁹⁹。

図表 68 15歳以上の世帯内の労働移住者の有無別の平均収入（TJS）及び割合（%）
(2009年)

Type of income	(TJS) Income/person in		% distribution	
	Labour migrant households	Non-migr. house-holds	Labour migrant households	Non-migr. house-holds
Regular cash wages	418	966	14	41
Self-employment (not agr or bus.)	113	247	4	11
Inc from irregular work	117	239	4	10
Business income	64	285	2	12
Income from agric activities	331	254	11	11
Pensions	140	158	5	7
Cash from hh-members abroad	1 733	35	57	1
Cash from others abroad	21	40	1	2
Other	78	124	2	5
Total	3 015	2 348	100	100

(出所) TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan Results from a sample survey in August 2010*, p.16. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc (2014年2月17日アクセス)

移住労働はタジキスタンにおいて、国家及び世帯の視点のいずれにおいても、非常に重要である。移住労働者には大家族に属する者が多く、彼らは家を出ることで家族の経済的負担を軽減し、また海外で自ら雇用の機会を得るとともに、国内に留まる者の雇用機会を提供する点でも貢献している。移住労働者からの送金収入は、世帯の貴重な収入源であるが、移住労働者の世帯の生活は、移住労働者を持たない世帯より必ずしも著しく豊かというわけではないようである。しかし、移住労働なくしては、生活は極めて困窮するものと思われる。国外への移住労働は、乏しい労働市場の中で行われるようになったが、国民の生活水準の向上の為に、国内労働市場の拡大と安定化が解決されるべき問題と考えられ

⁹⁹ TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*, pp.15-16. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc (2014年2月17日アクセス)

ている¹⁰⁰。

(ii) 移住労働と「見捨てられた妻たち (Abandoned Wives)」の問題

タジキスタンにおいては、多くの男性労働者は、本国の家族に送金を行う一方で（2006年政府系の研究機関の調査においては97%とされていた）、送金を行わない男性労働者もいる。IOMの調査において、一部のタジキスタン人男性は、移住後に新生活を謳歌し新しい家族を得て、妻を捨てる、もしくは十分な金額の送金を行わなくなる、といった現象が指摘されている。この場合、ロシアに移住した多くのタジキスタン男性は、現代的なライフスタイルになじみ、ロシア人女性と交流を持つなかで、本国に戻らず移住先に留まることを考えるようになるという。伝統的な、見合い結婚もこうした現象に影響していると言える。例えば、見合い結婚した夫が妻と親密でない場合には、移住は夫にとって妻と実質的に別れる機会となる。その他方で、移住先で送金できるだけの十分な報酬を得られずに、他の大勢の移住労働者と悪条件の居住環境の下で暮らし、本国の家族ともコミュニケーションが取れない者もいることも報告されている¹⁰¹。

IOMが2009年にこうした女性を対象として実施した調査では、夫が移住労働で国外に出国したまま本国に戻らず送金が途絶えている状態にある妻 (Abandoned wives) の出身地、学歴などは様々であるが、これらの女性のうち、半数近く (48%) は子どもが小さい、疾病、又は失業などの理由により就業していない。半数以上 (52%) は、農場の季節労働者、バザールの販売員、レストラン従業員、清掃員、などで一時的又は恒常的に働いている。これらの女性の子どもは1人～7人であり、平均して約3人程度抱えている。これらの女性は、前述の労働以外では、実家又は義理の家族からの支援 (同居したり、食糧や現金による支援) によって、生活費の不足を補い、生計を立てている。バザールで新たなビジネスを開始するために銀行から借入れを行うケースも見られたが、これらはすべてゴルノ・バダフシャン自治州在住の女性であった¹⁰²。

図表 69 「見捨てられた妻たち (Abandoned Wives)」の経済的支援の財源

Figure 11. Sources of financial aid

Benefit from elderly pension	Receive some government benefits	Received credit	Received help from family	Received help from local community	Received help from organizations	Receive more than one help
No (83%)	No (96%)	No (90%)	No (41%)	No (99%)	No (99%)	No (86%)
Yes (17%)	Yes (4%)	Yes (10%)	Yes (59%)	Yes (1%)	Yes (1%)	Yes (14%)

Data from own survey of abandoned wives conducted in May-June 2009.

¹⁰⁰ TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan* (Results from a Sample Survey in August 2010), p.24. http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc (2014年2月17日アクセス)

¹⁰¹ IOM(2009), *Abandoned Wives of Tajik Labor Migrants*, http://www.iom.tj/pubs/abandoned_wives_English.pdf p.18. (2014年2月17日アクセス)

¹⁰² IOM(2009), *Abandoned Wives of Tajik Labor Migrants*, http://www.iom.tj/pubs/abandoned_wives_English.pdf pp.22-31. (2014年2月17日アクセス)

(出所) IOM(2009), *Abandoned Wives of Tajik Labor Migrants*, http://www.iom.tj/pubs/abandoned_wives_English.pdf pp.22-31. (2014年2月17日アクセス)

IOM は、女性の貧困が深刻化することで、鬱病、自殺、犯罪、暴力、一夫多妻制、売春などに至る可能性があることを指摘している。なお、これら全ての事象について、調査段階で直接的に確認されたわけではない。しかしながら回答者の中には、合法的な婚姻に基づかない一夫多妻制の **Religious Marriage** として 2 番目以降の妻となる人もいた。こうした形態の結婚は、経済難にあえぐ女性の保護という名目と合わせて選択されることが多く、社会的にも容認され、生活していく上で合理的な選択として親族からそのような提案がなされることもある。しかしながらタジキスタンにおいて一夫多妻制は合法ではないため、財産分与や離婚時の扶養料など配偶者としての法律的な地位が保証されていないという課題が存在する¹⁰³。

(iii) 農業における労働力としての女性と農村開発

移住労働はその家族や女性に様々な問題をもたらすことから、UNHCR は、「すべての移住労働者とその家族の権利の保護に関する国際条約」(International Convention on the Protection of the Rights of All Migrant Workers and Members of Their Families)¹⁰⁴において、移住先での移住労働者とその家族の人権と自由に関する条項を規定した¹⁰⁵。

国内で世帯を守る女性は、夫の移住労働に対しては肯定的な姿勢であるが、世帯主としての彼女達の責任は重く、物理的及び精神的な負担は重い¹⁰⁶。農村部に居住する女性の多くは、低賃金の農業、教育、健康分野に従事している。これらの分野においては女性が **85.5%** を占めており、そのうちの **75.1%** は農業に従事している。社会経済状況の悪化が女性の農業分野の就労増加の要因である。2009 年の経済危機における食糧や物価の値上がりも、2009 年から 2012 年にかけての農業分野における女性従事者数の増加に影響している¹⁰⁷。

¹⁰³ IOM(2009), *Abandoned Wives of Tajik Labor Migrants*, http://www.iom.tj/pubs/abandoned_wives_English.pdf pp. 22-31. (2014年2月17日アクセス)

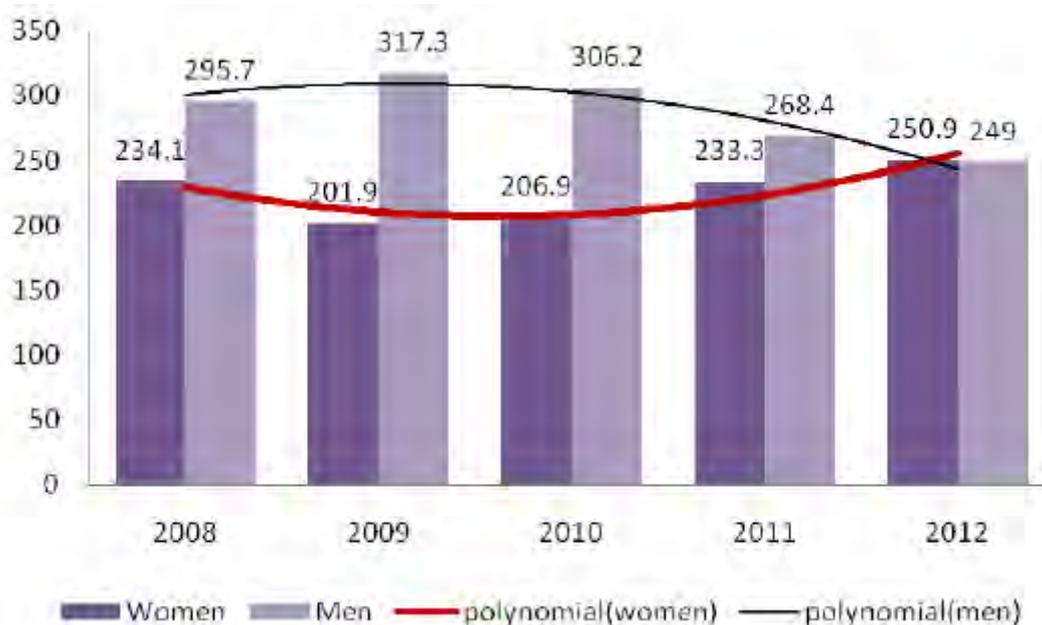
¹⁰⁴ UNHCR website, International Convention on the Protection of the Rights of All Migrant Workers and Members of Their Families, Part III: Human Rights of All Migrant Workers and Members of their Families, *Article 8*, <http://www2.ohchr.org/english/bodies/cmw/cmw.htm> (2014年2月17日アクセス)

¹⁰⁵ TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.1. http://www.stat.tj/img/en/EngGend_ermigration.pdf (2014年2月17日アクセス)

¹⁰⁶ TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*, p.1. http://www.stat.tj/img/en/EngGend_ermigration.pdf (2014年2月17日アクセス)

¹⁰⁷ TAJSTAT (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.1. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

図表 70 農業従事者数（2008-2012年）



(出所) TAJSTAT, (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.1. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

女性の農業従事者数の増加の背景には、男性従事者数の減少がある。減少理由として、農業が低賃金であること、また、稼ぎの良い仕事、すなわち国外への移住労働が挙げられている¹⁰⁸。

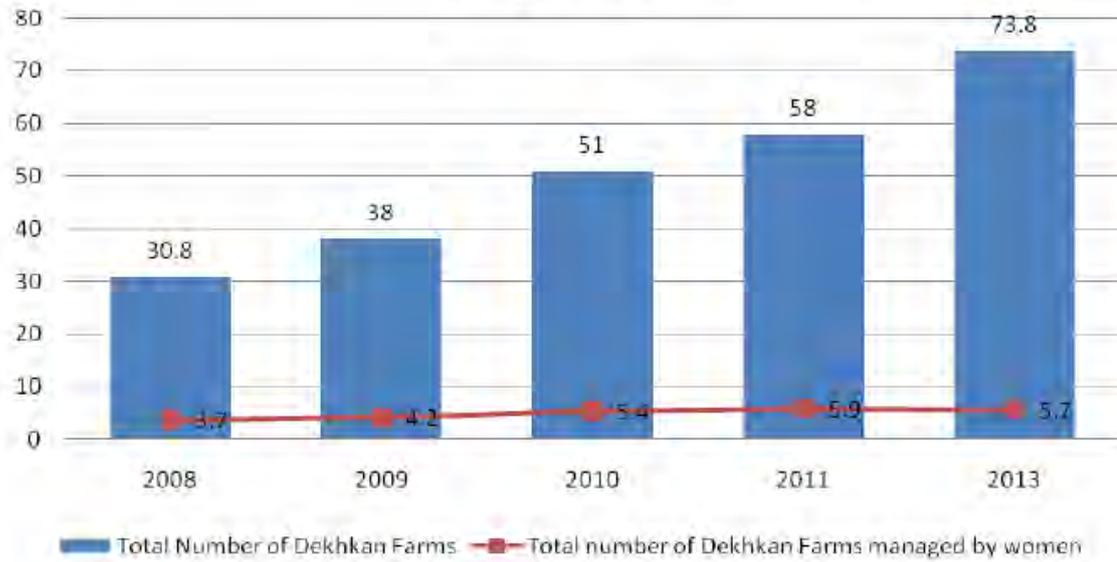
労働に対する知識不足から、農村部の女性が低賃金での労働を強いられているという現実もある。政府はその問題を解決すべく様々な改革を推進し、社会における女性の地位の向上、男女の平等、生産性向上の観点から、女性に農業用地に対する権限を与えるという政策に取り組んでいる。それら農業分野の改革が進んだ結果、集団農場から個人の農場が増加している。また女性が管理をする個人農場（Dekhan farm）の数は、2012年には2008年の1.5倍増加した。しかしながら、2012年には女性の個人農場への参入は、タジク通貨下落や燃料・食糧・肥料や農薬などの物価高騰により0.9%減少した¹⁰⁹。

¹⁰⁸ TAJSTAT (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.1. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

¹⁰⁹ TAJSTAT (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.2. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

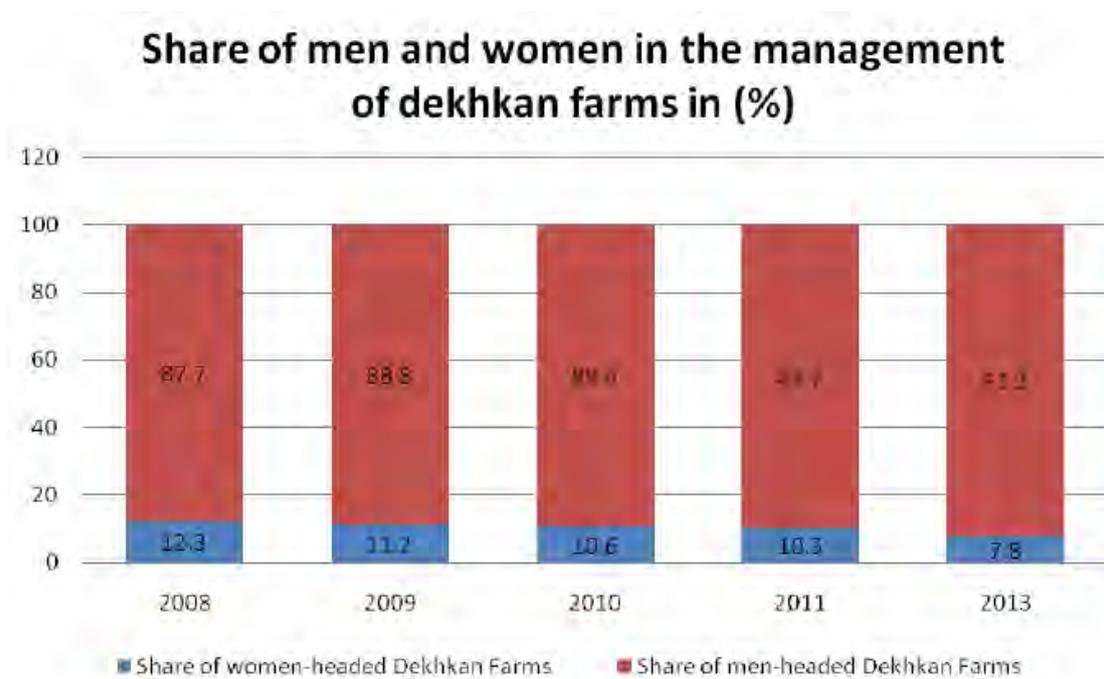
図表 71 個人農場 (Dekhkan Farm) の所有数 (2008-2013 年)

Trends in number of Dehkan Farms (thousands of units).



(出所) TAJSTAT, (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.2. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

図表 72 個人農場（Dekhkan Farm）管理者の男女比率



(出所) TAJSTAT, (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.2. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

近年、女性が管理する個人農場のシェアは減少傾向にある。それは単純に男性所有の個人農場の増加に起因する側面もあるが、低収入の割に複雑な食物栽培に対する女性の参画意欲が減退しているという側面もある。農業分野で失業した女性事業主は、商取引などの分野へと転向するケースが多い。しかしながら、穀物、じゃがいも、メロン、ぶどうなど、野菜や果実の生産高は伸びており、女性の農業への参入は、タジキスタンの食糧安全保障に貢献している¹¹⁰。

¹¹⁰ TAJSTAT (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.2. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

女性が管理する個人農場における2008年に対する2012年の野菜・果実などの生産性は、高くなっている。農業分野における女性の能力は、タジキスタンの社会・経済開発に多大な貢献をしており、さらなる可能性も見込まれている。この観点から、タジキスタン政府は女性企業家向けの無利子ローンによる支援のための予算を組み、女性の農業参画に向けた支援を行っている¹¹¹。

図表 73 女性管理者による個人農場 (Dekhkan Farm) の穀物生産高 (2008-2012)

Table 1. Production and crop yields in dekhkan farms headed by women in 2008-2012.

(ton; hundredweight from 1 hectare)

Name of products	Year					2012 in % compared to 2008
	2008	2009	2010	2011	2012	
Cereals:						
-production	31183	65152	57196	36647	31396	107,0
-productivity	21,2	25,5	24,4	23,6	24,7	116,5
Wheat:						
-production	26245	55929	41325	31395	26057	99,3
-productivity	18,3	26,5	24,9	24,8	28,1	153,6
Raw cotton:						
-production	23088	24840	23774	20958	17800	77,1
-productivity	16,9	18,4	19,8	20,0	22,0	130,2
Potatoes:						
-production	6322	5905	3081	8339	8381	132,6
-productivity	212,0	154,0	179,2	187,8	204,4	96,4
Vegetables:						
-production	12865	20855	13768	22119	22115	171,9
-productivity	167,0	184,0	177,0	177,4	192,4	115,2
Fruits:						
-production	2655	2416	8646	3378	3292	124,0
-productivity	18,8	12,5	7,7	11,3	28,5	151,6
Grapes:						
-production	2910	2662	3562	2334	3441	118,2
-productivity	28,2	27,4	10,7	25,7	38,6	136,9

(出所) TAJSTAT, (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, p.4. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

¹¹¹ TAJSTAT (2013), *Gender Aspect of Agriculture*, pp.4-5. <http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf> (2014年2月17日アクセス)

(2) 母子保健

(i) タジキスタンの医療概観¹¹²

タジキスタン政府は、保健医療サービスの改善に取り組んでいる。政府の優先課題は、母子保健、リプロダクティブ・ヘルス、非感染性疾患、マラリア、結核、HIV/AIDS、及びその他の性感染症である。

2012年時点でタジキスタンには3,748以上の医療機関が存在し、それらのほとんどが国営である。しかしながら、医療財政は地方分権化されている。予算の配分そのものはタジキスタン財務省が担い、同省は州へ配分する。地方は与えられた予算に対してその用途を決定する。こうした予算に対する保健省の権限は、医療機器のスペックの決定に留まる。国立病院、国立大学病院、公的医療サービスについては、保健省の所掌となるが、地方の医療機関の管理運営は、地方自治体の所掌となる。なお、2007年以降、私立病院や診療所などの開設が都市部で相次いでいる。

タジキスタンにおいて、救急医療、1歳児未満の小児科医療、最初の検査及び診療は、無償と定められている。2009年には出来高払い（fee for services）に基づく医療プログラムが導入された。

2012年現在、医師16,268人及び中級医療職（midlevel health professionals）38,635人がタジキスタン国内で勤務しており、10,000人当たりで見ると、医師20.4人、中級医療職は48.4人である。しかし、医療従事者の配置には地域間格差が存在し、ほとんどが都市部やドゥシャンベにおいて勤務している。ほとんどの医療従事者には公務員としての賃金が支払われるが、その賃金が低いために、患者に規定外のインフォーマルな形での支払いが求められることがある。

(ii) 属性別に見る母子保健の状況

農村部では、産前ケア（Antenatal Care: ANC）は、保健センターなどの助産婦又は医師によって提供される。都市部では、家庭医又は保健センターの医師などによって提供されるのが一般的であるが、最初の検査は産婦人科医によって行われる。家庭医1人の受け持ち区域内の人口は、約1,500人である¹¹³。

2012年時点で、過去5年間の産前ケアにおいて、女性の79%が専門の医療従事者（医師、看護師、助産婦、医療助手等）による検診を受けている。この値は、国の目標数値とする80%に近接している。しかし、その受診率は女性の置かれた状況によっても異なっている。産前ケアを受けるのは、年齢と出産回数が上がるほど減少する。例えば、20歳未満の女性のうち86%は検診を受けるが、35歳以上の女性の場合65%となる。また、第一子の出産時では84%が受診するのに対して、第六子以上の出産の場合では61%となる。都市部と農村部でも異なっており、都市部の女性は83%が受診するのに対し、農村部では78%となっ

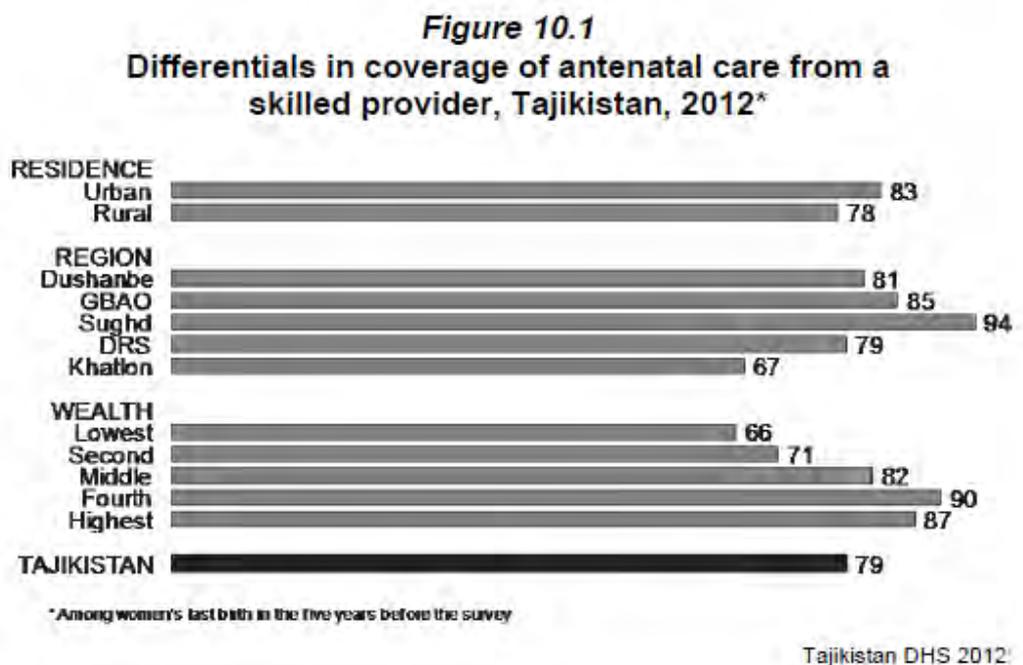
¹¹²TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, pp.3-4. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

¹¹³TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.6. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

ている¹¹⁴。

地方格差も見られ、ソグド州が 94%、ゴルノ・バタフシャン自治州が 85%と高いのに対し、ハトロン州の女性は 67%と最も低くなっている。教育水準や所得水準によっても差異が見られ、教育水準の高い女性、所得水準の高い女性ほど、そうでない層よりも受診率の高い傾向が見られる¹¹⁵。

図表 74 産前ケアの受診状況（地域・教育水準・所得階層別）



(出所) TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.113.

http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

タジキスタンの女性が一生に産む子供の平均数である合計特殊出生率は 3.8 人であるが、地域間格差があり、ゴルノ・バタフシャン自治州及びソグド州の 3.3 人に対して、ハトロン州で 4.2 人、政府直轄州で 3.9 人と高くなっている。また、女性の教育水準も出生数に影響しており、教育を受けていない、又は初等教育までの女性の合計特殊出生率 4.2 人に対し、高等教育まで受けた女性は 2.7 人と、教育水準が上がるほど減少している。また、所得状況も影響しており、所得階層を五分位階層別に見た場合、所得の低い層と高い層の間に、約 1 人程度の差が生じている¹¹⁶。

¹¹⁴TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.58. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

¹¹⁵TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.58. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

¹¹⁶TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.58. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

図表 75 出生率比較表（地域・教育水準・所得階層別）

Background characteristic	Total fertility rate	Percentage of women age 15-49 currently pregnant	Mean number of children ever born to women age 40-49
Residence			
Urban	3.3	6.3	3.8
Rural	3.9	8.0	4.8
Region			
Dushanbe	3.4	5.5	3.6
GBAO	3.3	6.0	4.0
Sughd	3.3	6.8	3.7
DRS	3.9	8.0	4.8
Khatlon	4.2	8.6	5.4
Education			
None/primary	4.2	9.9	(5.2)
General basic	4.1	9.4	5.0
General secondary	3.8	6.2	4.7
Professional primary/middle	3.1	7.3	3.8
Higher	2.7	6.2	3.2
Wealth quintile			
Lowest	4.1	6.5	5.5
Second	4.1	9.2	5.1
Middle	3.9	8.0	4.5
Fourth	3.5	8.5	4.2
Highest	3.2	5.9	3.6
Total	3.8	7.6	4.5

Note: Total fertility rates are for the period 1-36 months prior to interview. Numbers in parentheses are based on 25-49 unweighted cases.

(出所) TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.54.

http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

タジキスタンの女性の出産間隔 (birth interval) の中央値は、適度に長い傾向があり、31カ月である。しかしながら、3件に1件は、前回の出産より24カ月未満と短い傾向も見られる。出生間隔は、女性が前回出産時に出産した子どもの生存状況と深く関係しており、前回の出産時の子どもが死亡してしまっている場合 (22カ月) は、生存している場合 (31カ月) よりも、9カ月短い傾向が見られる。前回出産時の子どもの死亡によって授乳期間が短縮し、生存している場合より早期に妊娠が可能となること、母親が次の子どもを望むことによって避妊を抑制することなどの要因が想定される。出産間隔は地域により異なっ

おり、ドゥシャンベで 35 カ月と長く、政府直轄州及びハトロン州で 30 カ月と短い傾向が見られる¹¹⁷。

図表 76 出産間隔（地域・教育水準・所得階層別）

Table 5.5 Birth intervals

Percent distribution of non-first births in the five years preceding the survey by number of months since preceding birth, and median number of months since preceding birth, according to background characteristics, Tajikistan 2012

Background characteristic	Months since preceding birth						Total	Number of non-first births	Median number of months since preceding birth
	7-17	18-23	24-35	36-47	48-59	60+			
Age									
15-19	*	*	*	*	*	*	100.0	4	*
20-29	21.2	26.1	31.8	12.7	5.2	3.0	100.0	1,848	24.6
30-39	6.9	11.3	22.4	19.6	12.5	27.2	100.0	1,387	41.1
40-49	4.3	2.7	12.8	11.5	14.6	54.2	100.0	229	63.5
Sex of preceding birth									
Male	14.0	18.3	25.6	15.1	9.1	17.8	100.0	1,733	31.5
Female	14.9	18.9	27.9	15.7	8.3	14.4	100.0	1,735	29.9
Survival of preceding birth									
Living	13.2	18.6	27.2	15.6	8.9	16.5	100.0	3,300	31.3
Dead	39.1	18.2	17.7	11.2	5.7	8.1	100.0	167	22.1
Birth order									
2-3	18.4	21.8	29.2	13.5	6.8	10.3	100.0	2,256	26.8
4-6	7.3	13.4	22.8	18.4	12.2	25.8	100.0	1,044	40.5
7+	6.2	7.3	17.9	21.6	13.4	33.5	100.0	167	46.2
Residence									
Urban	14.5	17.5	23.2	13.1	11.9	19.8	100.0	723	33.0
Rural	14.5	18.9	27.7	16.0	7.9	15.1	100.0	2,745	30.1
Region									
Dushanbe	16.6	13.3	23.2	12.4	13.1	21.4	100.0	279	35.1
GBAO	14.4	16.3	21.1	11.9	11.6	24.7	100.0	55	34.5
Sughd	10.9	19.6	28.3	16.3	8.6	16.3	100.0	879	31.3
DRS	16.3	18.7	28.0	15.0	7.1	14.9	100.0	885	29.8
Khatlon	15.2	19.0	25.9	15.8	8.9	15.2	100.0	1,371	30.1
Education									
None/primary	19.1	26.6	29.6	11.3	5.4	8.0	100.0	277	24.8
General basic	15.8	19.1	28.7	15.6	7.9	13.0	100.0	1,332	29.1
General secondary	12.3	16.8	25.1	16.6	9.6	19.5	100.0	1,501	33.8
Professional primary/middle	11.9	17.8	25.6	15.3	8.5	20.9	100.0	200	31.3
Higher	18.7	18.6	22.7	9.4	13.3	17.4	100.0	157	29.9
Wealth quintile									
Lowest	13.4	20.3	24.5	16.5	8.9	16.4	100.0	754	31.2
Second	13.4	18.5	28.9	15.2	7.4	16.6	100.0	757	30.3
Middle	16.9	17.5	26.8	17.0	8.5	13.3	100.0	711	30.7
Fourth	13.9	18.6	29.8	14.8	7.9	15.2	100.0	652	30.1
Highest	15.0	18.1	23.4	12.8	11.4	19.3	100.0	594	32.4
Total	14.5	18.6	26.7	15.4	8.7	16.1	100.0	3,468	30.8

Note: First-order births are excluded. The interval for multiple births is the number of months since the preceding pregnancy that ended in a live birth. An asterisk denotes a figure based on fewer than 25 unweighted cases that has been suppressed.

(出所) TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.62.

http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

¹¹⁷TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, pp.62-63. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

乳幼児死亡率は、都市部よりも農村部の方が高い傾向が見られる。例えば、1,000 出生における都市部の乳幼児死亡率が 35 人であるのに対し、農村部では 39 人である。州別に見ると、最も低いドゥシャンベの乳幼児死亡率 22 人に対し、ハトロン州は 48 人と最も高く、20 人に 1 人が 1 歳の誕生日を迎えるまでに死亡している。5 歳未満児死亡率について、ドゥシャンベでは 29 人であるのに対し、最も死亡率の高いハトロン州では 61 人となっており、15 人に 1 人が 5 歳までに死亡している。ハトロン州の乳児死亡率及び 5 歳未満児死亡率は、ドゥシャンベの 2 倍となっている¹¹⁸。

図表 77 乳幼児等死亡率（地域・教育水準・所得階層別）

Table 9.2 Early childhood mortality rates by socioeconomic characteristics

Neonatal, postneonatal, infant, child, and under-5 mortality rates for the 10-year period preceding the survey, by background characteristics, Tajikistan 2012

Background characteristic	Neonatal mortality (NN)	Postneonatal mortality (PNN) ¹	Infant mortality (1q0)	Child mortality (4q1)	Under-5 mortality (5q0)
Residence					
Urban	18	17	35	8	42
Rural	20	19	39	11	50
Region					
Dushanbe	11	11	22	7	29
GBAO	13	16	29	8	36
Sughd	18	13	31	9	40
DRS	20	18	38	8	46
Khatlon	23	25	48	13	61
Mother's education					
None/primary	17	(19)	(36)	(20)	(55)
General basic	22	18	40	11	50
General secondary	19	20	39	9	47
Higher/professional primary/middle	18	18	34	10	44
Wealth quintile					
Lowest	18	27	45	13	58
Second	25	19	43	13	56
Middle	22	18	40	11	50
Fourth	18	12	30	6	36
Highest	15	16	30	8	38

Note: Rates in parentheses are based on 250-499 unweighted person-years of exposure.
¹ Computed as the difference between the infant and neonatal mortality rates.

(出所) TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.105.

http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014 年 2 月 17 日アクセス)

¹¹⁸TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.104. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf 及び *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012 Atlas of Key Indicators*, p.8. http://www.stat.tj/en/img/e7604507b29876e47b1dd85df4640df4_1385546959.pdf (2014 年 2 月 17 日アクセス)

女性の保健医療へのアクセスが困難な理由は、「医療費の調達」「医療施設までの距離」等が主であり、タジキスタン国内の約 45%の女性が「医療費の調達」と回答している。ハトロン州では約 55%が「医療費の調達」を理由として挙げているほか、アクセスが困難な理由をひとつ以上挙げた人の割合が高くなっている¹¹⁹。

図表 78 女性の保健医療へのアクセスが困難な理由（地域・教育水準・所得階層別）

Background characteristic	Problems in accessing health care					Number of women
	Getting permission to go for treatment	Getting money for treatment	Distance to health facility	Not wanting to go alone	At least one problem accessing health care	
Age						
15-19	18.1	40.6	27.7	33.5	54.0	2,013
20-34	18.9	44.9	30.2	27.3	55.6	4,747
35-49	13.5	46.4	28.4	18.6	54.4	2,896
Number of living children						
0	18.8	43.4	30.4	32.5	55.8	3,483
1-2	17.5	41.8	25.6	23.6	52.0	2,588
3-4	13.9	45.2	27.2	19.4	53.8	2,385
5+	18.0	51.9	36.7	25.1	60.8	1,200
Marital status						
Never married	18.4	43.8	29.6	33.2	56.3	2,648
Married or living together	16.5	43.8	28.7	23.4	53.8	6,504
Divorced/separated/widowed	18.0	56.8	32.2	20.9	62.3	504
Employed last 12 months						
Not employed	17.3	42.2	27.6	27.1	53.7	6,529
Employed for cash	14.3	48.1	27.8	20.8	55.2	2,295
Employed not for cash	23.4	52.0	44.8	30.8	63.6	823
Residence						
Urban	9.6	36.5	12.4	17.4	44.7	2,413
Rural	19.7	47.1	34.7	28.8	58.3	7,243
Region						
Dushanbe	9.5	45.1	10.6	22.7	55.2	881
GBAO	24.6	47.0	32.6	28.7	60.3	220
Sughd	11.7	37.1	23.4	19.8	47.6	2,872
DRS	16.2	37.7	25.7	22.2	46.9	2,240
Khatlon	23.8	54.6	40.6	34.2	65.8	3,444
Education						
None/primary	25.4	59.3	45.4	38.9	72.3	567
General basic	20.4	47.0	33.1	32.8	59.4	3,349
General secondary	16.3	44.8	28.3	23.6	54.7	4,474
Professional primary/middle	9.4	35.5	17.1	12.4	40.6	645
Higher	5.7	23.8	10.9	8.3	31.5	620
Wealth quintile						
Lowest	32.3	69.1	55.6	42.6	77.9	1,878
Second	21.0	51.6	38.3	31.1	63.1	1,913
Middle	14.1	40.8	26.7	24.0	52.0	1,904
Fourth	11.8	31.4	17.5	18.8	44.1	1,971
Highest	7.2	30.8	9.1	14.3	38.9	1,989
Total	17.1	44.5	29.1	26.0	54.9	9,656

Note: Table excludes eight women for whom information on employment is missing.

(出所) TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.130.

http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

¹¹⁹TAJSTAT (2013), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*, p.129. http://www.stat.tj/en/img/a5684ec3ff5fd3951b93a3e5c528e84f_1386576221.pdf (2014年2月17日アクセス)

添付 1. 参考文献リスト

- Center for Strategic and International Studies Tit-for-Tat: *The Evolution of Non-Cooperation over the Rogun Dam*
<http://csis.org/print/34959>
- CASA-1000
<http://www.casa-1000.org/MainPages/CASAAbout.php#vision>
- CRS (2013), Tajikistan: *Recent Developments and U.S. Interests*
<https://www.fas.org/sqp/crs/row/98-594.pdf>
- EURASIANET ORG. *Uzbekistan and Tajikistan: Souring Political Relations Damaging Human Ties* <http://www.eurasianet.org/node/65994>
- IOM(2009), *Abandoned Wives of Tajik Labor Migrants*, http://www.iom.tj/pubs/abandoned_wives_English.pdf
- Library of the European Parliament (2013), Library Briefing Library of the European Parliament, *Transboundary Water Management, The Rogun Dam in Tajikistan*
[http://www.europarl.europa.eu/RegData/bibliotheque/briefing/2013/130621/LDM_BRI\(2013\)130621_REV1_EN.pdf](http://www.europarl.europa.eu/RegData/bibliotheque/briefing/2013/130621/LDM_BRI(2013)130621_REV1_EN.pdf)
- Republic of Tajikistan (2007), *National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period to 2015*
<http://www.carecprogram.org/uploads/docs/TAJ-National-Development-Strategy-en.pdf>
- Republic of Tajikistan (2012), *Living Standards Improvement Strategy of Tajikistan for 2013-2015*
http://www.undp.tj/files/reports/LIS_2013-2015_ENG.pdf
- Tajikistan UNDP and UNEP, *Poverty and Environment Initiative(PEI) PHASE 1(May 2010-December 2012)*
<http://www.undp.tj/files/TajikPEIProDocfinal2010.pdf>
- TAJSTAT (2009), *Poverty Statistics in Tajikistan (based on research conducted in 2009)*
http://stat.tj/en/img/3c84a1e52802aa92da81f492ad5a13ae_1290676000.pdf
- TAJSTAT(2009), Анализ бедности в Республике Таджикиста (на основе проведенного обследования уровня жизни 2009 года) Статистика бедности в Таджикистане (по результатам обследования уровня жизни в Таджикистане в 2009 году) http://stat.tj/ru/img/2120319ae55295cdb0738831fc587e0f_1293262109.doc
- TAJSTAT (2010), *The Impact of Migration and Remittances on Welfare in Tajikistan (Results from a Sample Survey in August 2010)*
http://www.stat.tj/img/en/turaev_report_eng.doc

- TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012*
<http://measuredhs.com/pubs/pdf/FR279/FR279.pdf>
- TAJSTAT and the Ministry of Health (2012), *Tajikistan Demographic and Health Survey 2012 Atlas of Key Indicators*
http://www.stat.tj/en/img/e7604507b29876e47b1dd85df4640df4_1385546959.pdf
- TAJSTAT (2013), *Food Security and Poverty No.2 -2013*,
http://www.stat.tj/en/img/c32cd2ad52fa0b4ef6f0ae632496f2cd_1380629116.pdf
- TAJSTAT (2013), *Gender Aspect of Agriculture*
<http://www.stat.tj/img/en/EngGENDERSel.pdf>
- TAJSTAT, *Gender Shape of Labor Migration in the Republic of Tajikistan*
<http://www.stat.tj/img/en/EngGendermigration.pdf>
- UNDP (2010), *Millennium Development Goals Tajikistan Progress Report 2010*
<http://www.undp.org/content/tajikistan/en/home/library/mdg/tajikistan-progress-report-2010/>
- UNDP (2010), *Millenium Development Goals Tajikistan Progress Report*
<http://www.undp.tj/files/WEB-MDG-Tajikistan-2010-Eng.pdf>
- UNDP (2013) Summary Human Development Report, pp.17-18.
<http://www.undp.org/content/dam/rbas/img/reports/HDR2013%20Summary-En.pdf>
- UNDP, *Information and Communication Technologies in Tajikistan: Dialogue for Development*
<http://web.undp.sk/files/bookstore/89/tajikistan.pdf>
- UNDP and UNEP (2013), *Poverty and Environment Initiative(PEI)PHASE1(May 2010-December 2012)*
<http://www.unpei.org/sites/default/files/PDF/TajikistanPEIProDoc-final-3May2010.pdf>
- UNECE (2012), *Tajikistan Environmental Performance Reviews, Second Review*
http://www.unece.org/fileadmin/DAM/env/epr/epr_studies/TajikistanII.pdf
- UNHCR website, *International Convention on the Protection of the Rights of All Migrant Workers and Members of Their Families, Part III: Human Rights of All Migrant Workers and Members of their Families, Article 8*
<http://www2.ohchr.org/english/bodies/cmw/cmw.htm>
- UNMOT, *Tajikistan-Backgraoud*
<http://www.un.org/Depts/DPKO/Missions/unmot/UnmotB.htm>
- UNOCHA
<http://reliefweb.int/map/tajikistan/tajikistan-reference-map-district-map-march-2013>
-

- World Bank, *Tajikistan: Investing in People to Reduce Poverty and Raise Living Standards*
<http://www.worldbank.org/en/results/2013/04/08/tajikistan-investing-in-people-reduce-poverty-raise-living-standards>
- World Bank, *In Tajikistan: Empowering Rural Households to Farm Sustainably*
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/ECAEXT/0,,contentMDK:23311650~pagePK:146736~piPK:146830~theSitePK:258599,00.html>
- WFP website, World Food Programme, *Fighting Hunger Worldwide: Tajikistan*, <http://www.wfp.org/countries/tajikistan/overview>
- WFP (2013), *Hunger Map 2013*
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/communications/wfp260272.pdf>
- WFP (2013), IPC Tajikistan: *Food Security Classification Overview-June 2013*, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp258721.pdf>
- World Food Programme, *Tajikistan Market Price Report November 2013*
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp261413.pdf>

添付 2. 主要な情報源リスト

JICA 研究所

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/Index/CentralAsiaCaucasus/Tajikistan.pdf>

タジキスタン国官庁

- ・ タジキスタン政府 <http://www.president.tj/en>
- ・ 外務省 <http://mfa.tj/index.php?lang=english>
- ・ 保健省 <http://www.health.tj/en>
- ・ 統計局 (TAJSTAT) <http://www.stat.tj/en/>

国際機関

- ・ 国連開発グループ 国別チーム タジキスタン共和国
<http://www.undg.org/unct.cfm?module=CoordinationProfile&page=Country&CountryID=TAJ&fuseaction=UN%20Country%20Coordination%20Profile%20for%20Tajikistan>
- ・ 世界銀行(WB) タジキスタン共和国 <http://www.worldbank.org/en/country/tajikistan>
- ・ 国連開発計画(UNDP) タジキスタン共和国 <http://www.undp.tj/site/>
- ・ 欧州復興開発銀行 (EBRD) タジキスタン共和国
<http://www.ebrd.com/pages/country/tajikistan.shtml>
- ・ アジア開発銀行(ADB) タジキスタン共和国
<http://www.adb.org/countries/tajikistan/main>
- ・ 国際移住機構(IOM) タジキスタン共和国
<http://www.iom.int/cms/en/sites/iom/home/where-we-work/europa/south-eastern-europe/e-eastern-eur.html>
- ・ 国際連合食糧農業機関(FAO) Food Security and Safety Tajikistan
<http://www.fao.org/countryprofiles/index/en/?iso3=TJK>
- ・ 国連世界食糧計画(WFP) タジキスタン共和国
<http://www.wfp.org/countries/tajikistan>
- ・ 国連欧州経済委員会(UNECE) タジキスタン共和国
<http://www.unece.org/env/water/npd/countrydialogues/tj.html>

貧困データ

- ・ 世界銀行データ <http://www.worldbank.org/en/country/tajikistan>
- ・ 国連公式 MDG データ タジキスタン共和国
<http://www.undp.org/content/tajikistan/en/home/mdgoverview/>

- UNDP 人間開発指標 タジキスタン共和国
<http://hdr.undp.org/en/countries/profiles/TJK>